参考資料１

町田市市民意識調査報告書

2019年12月

町　田　市

目次

Ⅰ 調査の概要 1

１．調査の目的----------1
２．調査の実施方法・期間----------1
（１）調査の対象者----------1
（２）調査の実施方法----------1
（３）調査の実施期間----------1
（４）回収状況----------1
３．設問の構成----------1
４．報告書を読む際の留意点----------1
（１）集計方法----------1
（２）集計結果の端数処理----------2
（３）その他----------2

Ⅱ 調査結果の要旨 3

１．「市がこれまで取り組んできた施策」に対する現在の満足度と今後の重要度と
今後、特に力を入れてほしい取組みについての要旨----------3
（１）全体の要旨----------3
（２）施策ごとの要旨----------3
２．現在のまちのイメージと今後あるべきまちのイメージについての要旨----------4
３．結婚、子どもの数についての要旨----------4

Ⅲ 調査の結果 5

１．回答者の属性----------5
２．「市がこれまで取り組んできた施策」に対する現在の満足度と今後の重要度と
今後、特に力を入れてほしい取組み----------8
（１）相対的に見た現在の満足度----------8
（２）相対的に見た今後の重要度----------10
（３）現在の満足度と今後の重要度の２軸分析----------12
（４）施策ごとの現在の満足度と今後の重要度
今後、特に力を入れてほしい取組み----------15
＜図表の解説＞----------15
子育て・教育----------18
①子育て支援----------18
②学校教育----------21
③青少年育成----------24
保健・福祉----------27

④健康・医療----27
⑤高齢者福祉----30
⑥障がい者福祉----33
⑦地域福祉----36
市民生活----39
⑧地域コミュニティ----39
⑨防災----42
⑩防犯----45
経済・観光----48
⑪産業振興----48
⑫中心市街地の活性化----51
⑬農業振興----54
⑭観光振興----57
文化・スポーツ----60
⑮文化芸術振興----60
⑯スポーツ振興----63
基盤整備・環境----66
⑰道路整備----66
⑱公共交通の整備・自転車対策----69
⑲住環境の整備----72
⑳公園・緑地等の整備----75
㉑環境の保全----78
㉒ごみ処理----81
３．「現在のまちのイメージ」と「今後あるべきまちのイメージ」----84
（１）順位別で見たまちのイメージ----84
（２）相対的に見たまちのイメージ----85
４．結婚、子どもの数----88
（１）結婚の状況----88
（２）結婚の意向----88
（３）現在の子ども数----89
（４）理想の子ども数----90
（５）希望出生率----91
５．自由回答の件数まとめ----93

Ⅳ 資料（アンケート調査票） 94

Ⅰ 調査の概要

１ 調査の目的

本調査は、市民に対し、町田市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度や、今後、特に力を入れてほしい取組みなどについて質問し、新たな基本構想・基本計画の策定検討における重要な基礎情報とすることを目的に実施したものです。

２ 調査の実施方法・期間

（１）調査の対象者

住民基本台帳から無作為抽出した、町田市在住の満 15 歳以上の男女 5,000 人

（２）調査の実施方法

アンケート調査票の配布・回収ともに郵送

（３）調査の実施期間

2019 年６月 24 日～７月８日

（４）回収状況

配布数 5,000 票、有効回収数 1,791 件、有効回収率 35.8%

３ 設問の構成

【問１～22】町田市がこれまで取り組んできた施策の満足度・重要度
【問 23】現在のまちのイメージと今後あるべきまちのイメージ
【問 24～30】回答者の属性
【問 31～32】結婚、子どもの数
【その他】まちづくり全般に対する自由意見

４ 報告書を読む際の留意点

（１）集計方法

○ 回答全体をまとめて集計した「単純集計」と、性別や年代等の属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。

○ 本調査の問 25 で「10 歳代」を選択することができますが、「10 歳代」は回答者の人数が少ないため、本集計においては「20 歳代」に合算し「20 歳代以下」として集計しています。

（２）集計結果の端数処理

○　回答率は、小数点第２位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、数値の合計が 100%にならない場合があります。

○　図表中にある「ｎ」は、設問の回答数を示しています。また、有効でない回答については回答総数から除いているため、「ｎ」と有効回収数（1,791 件）は必ずしも一致しません。

○　回答率は、その設問の回答数を母数として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100%を超えています。

（３）その他

○　一般的に母集団が２万人以上の場合、統計上は無限母集団として捉えるため、2,000 人程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映しているといわれています。本調査は２万人以上の無限母集団であり、対象者数 5,000 人（回収数 1,791 人）は、統計上有効な数値であると考えられます。

○　本文及び図表において、回答選択肢の表記が長いものに関しては、適宜、表記を一部簡略化しています。

Ⅱ 調査結果の要旨

１.「市がこれまで取り組んできた施策」に対する現在の満足度と今後の重要度と今後、特に力を入れてほしい取組みについて

（１）全体の要旨

○ 「市がこれまで取り組んできた施策」に対する現在の満足度と今後の重要度の２軸分析結果によると、「道路整備」や「公共交通の整備・自転車対策」のような道路・交通環境に関する施策と、「防犯」、「高齢者福祉」に関する施策は相対的に満足度が低く、重要度が高い施策となっています。

（２）施策ごとの要旨

子育て・教育（①子育て支援、②学校教育、③青少年教育）【Ｐ18～Ｐ26】

○ 「子育て支援」では、全体で満足（「満足」＋「まあ満足」）の割合が不満（「やや不満」＋「不満」）の割合を大きく上回っており、特に「30 歳代」や「40 歳代」で満足の割合が高くなっています。また、今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「児童虐待の防止」と「育児に対する経済的負担の軽減」の回答数が特に多くなっています。

○ 「子育て支援」、「学校教育」、「青少年教育」では、いずれの年代でも重要（「重要」＋「まあ重要」）が 70～80％台と割合が高くなっています。

保健・福祉（④健康・医療、⑤高齢者福祉、⑥障がい者福祉、⑦地域福祉）【Ｐ27～Ｐ38】

○ 「健康・医療」では、満足（「満足」＋「まあ満足」）及び重要（「重要」＋「まあ重要」）の割合が、不満（「やや不満」＋「不満」）及び重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）の割合を大きく上回っています。また、今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「緊急時の救急医療体制」、「市民病院の機能強化」の回答数が特に多くなっています。

○ 今後、特に力を入れてほしい取組みについて、「高齢者福祉」、「障がい者福祉」、「地域福祉」では、それぞれ「支援が必要な高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援体制」、「障がい者の就労支援」、「地域での見守り・声掛け活動の支援」の回答数が特に多くなっています。

市民生活（⑧地域コミュニティ、⑨防災、⑩防犯）【Ｐ39～Ｐ47】

○ 「地域コミュニティ」では、いずれの年代でも重要（「重要」＋「まあ重要」）の割合が 60％を超えています。今後、特に力を入れてほしい取組みについては、「若い世代が市民活動に参加するためのきっかけづくり」、「市民活動に関する情報提供の充実」の回答数が特に多くなっています。

○ 「防災」、「防犯」では、重要（「重要」＋「まあ重要」）の割合がいずれも 90％を超えています。今後、特に力を入れてほしい取組みについて、「防災」では「道路や下水道などのインフラの耐震化」と「防災拠点、避難場所などの整備」、「防犯」では「犯罪カメラの設置などによる犯罪が起こりにくい環境づくり」と「犯罪発生に関する迅速な情報提供」の回答数が特に多くなっています。

経済・観光（⑪産業振興、⑫中心市街地の活性化、⑬農業振興、⑭観光振興）【Ｐ48～Ｐ59】

○　「中心市街地の活性化」では、「30 歳代」以下の満足（「満足」＋「まあ満足」）の割合が、他の年代に比べて高くなっています。また、今後、特に力を入れてほしい取組みでは、いずれの満足度においても、「歩きやすく快適な歩行空間の整備」の回答数が多い傾向にあります。

○　今後、特に力を入れてほしい取組みについて、「観光振興」では、「町田ならではの観光資源の発掘・活用」と「地域商品のブランド化・販路拡大」の回答数が特に多くなっています。

文化・スポーツ（⑮文化芸術振興、⑯スポーツ振興）【Ｐ60～Ｐ65】

○　今後、特に力を入れてほしい取組みについて、「文化芸術振興」では、「多様な文化芸術にふれる機会・場の提供」と「子どもの感性や創造性を育む機会・場の提供」の回答数が特に多くなっています。

○　今後、特に力を入れてほしい取組みについて、「スポーツ振興」では、「身近な地区での日常的なスポーツ活動の場」と「既存のスポーツ施設・設備の改修や整備」の回答数が特に多くなっています。

基盤整備・環境（⑰道路整備、⑱公共交通の整備、自転車対策、⑲住環境の整備、⑳公園・緑地等の整備、㉑環境の保全、㉒ごみ処理【Ｐ66～Ｐ83】

○　「道路整備」、「公共交通の整備・自転車対策」は、いずれも重要（「重要」＋「まあ重要」）の割合が 90%を超えています。

○　今後、特に力を入れてほしい取組みについて、「公園・緑地等の整備」では、「日常生活で利用する身近な公園・緑地の整備」と「良好な自然環境の保全・再生」の回答数が特に多くなっています。

○　「ごみ処理」は、満足（「満足」＋「まあ満足」）及び重要（「重要」＋「まあ重要」）がいずれも割合が高く、また、今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「ごみの減量や資源化に関する市民への啓発活動」と「分別方法や排出方法の見直し」の回答数が特に多くなっています。

２．現在のまちのイメージと今後あるべきまちのイメージについての要旨

○　「現在のまちのイメージと今後あるべきまちのイメージ」について、現在のまちのイメージでは「商業環境が充実した買い物が便利なまち」、「緑豊かな住環境に恵まれたまち」、「高齢者や障がい者（児）にやさしいまち」などを挙げる回答者が多かったのに対し、今後あるべきまちのイメージでは「医療体制が充実しているまち」、「防災・防犯体制が整ったまち」、「子育て施設・サービスが充実しているまち」などを挙げる回答者が多くなっています。

３．結婚、子どもの数についての要旨

○　現在の子どもの数と理想の子どもの数との差について質問した結果、「理想より少ない」が 54.4%で、「理想どおり」の 42.9%を 11.5 ポイント上回っています。

○　今回のアンケート調査の結果に基づき算出した希望出生率（結婚、子どもの数の希望がかなうとした場合に想定される出生率）は、1.91 となっています。

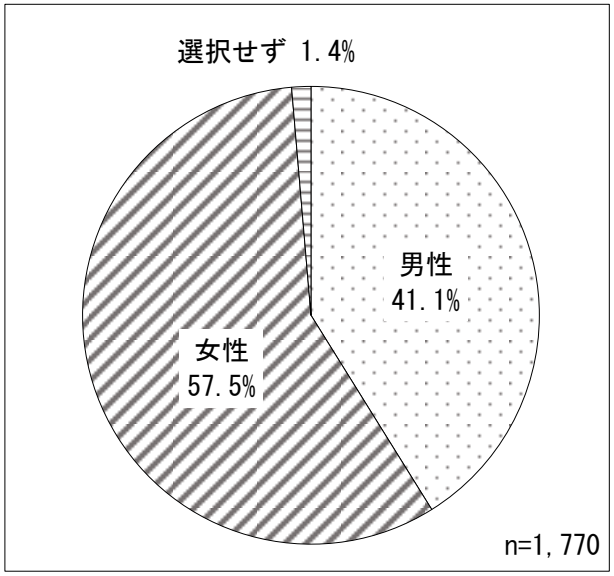
Ⅲ 調査の結果

1 回答者の属性【問 24～30】

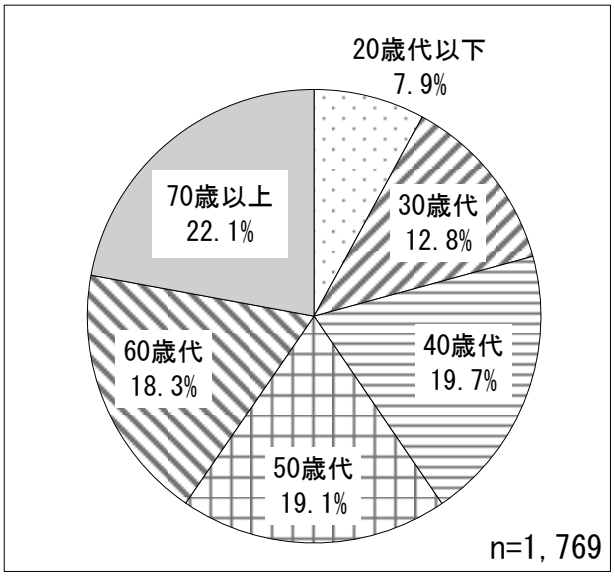
○ 性別では「女性」が 57.5%で、「男性」の 41.1%より 16.4 ポイント高くなっています。

○ 年代では「70 歳以上」が 22.1%で最も高く、次いで「40 歳代」の 19.7%となっています。

図表Ⅲ－１－１ 性別



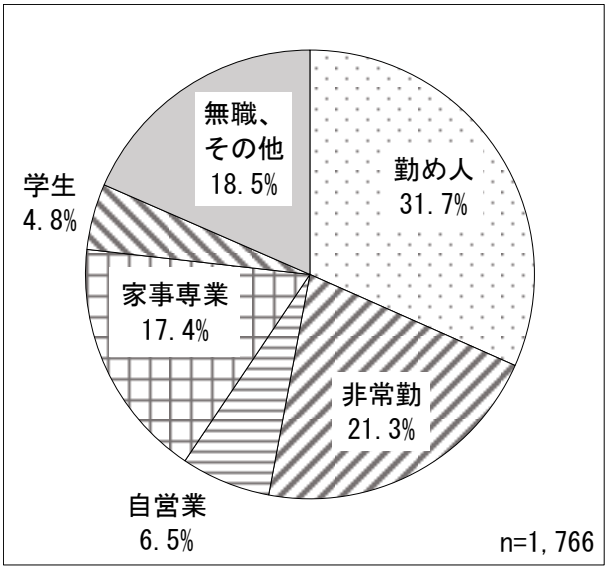
図表Ⅲ－１－２ 年代



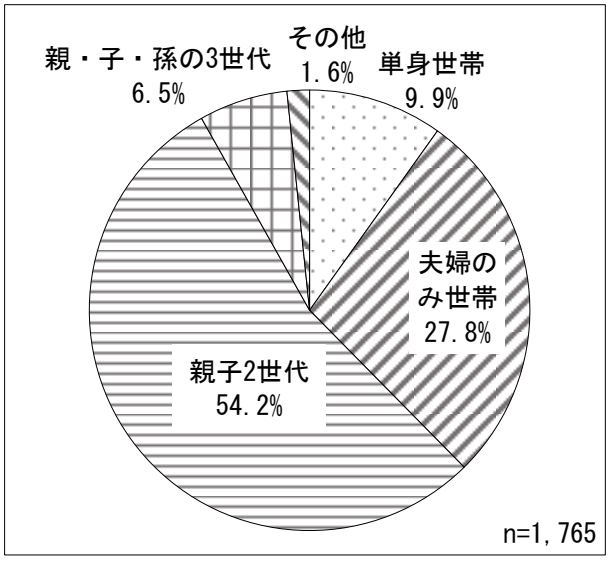
○ 職業では「勤め人」が 31.7%で最も高く、次いで「非常勤」の 21.3%となっています。

○ 世帯構成では「親子２世代」が 54.2%で最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」の 27.8%となっています。

図表Ⅲ－１－３ 職業

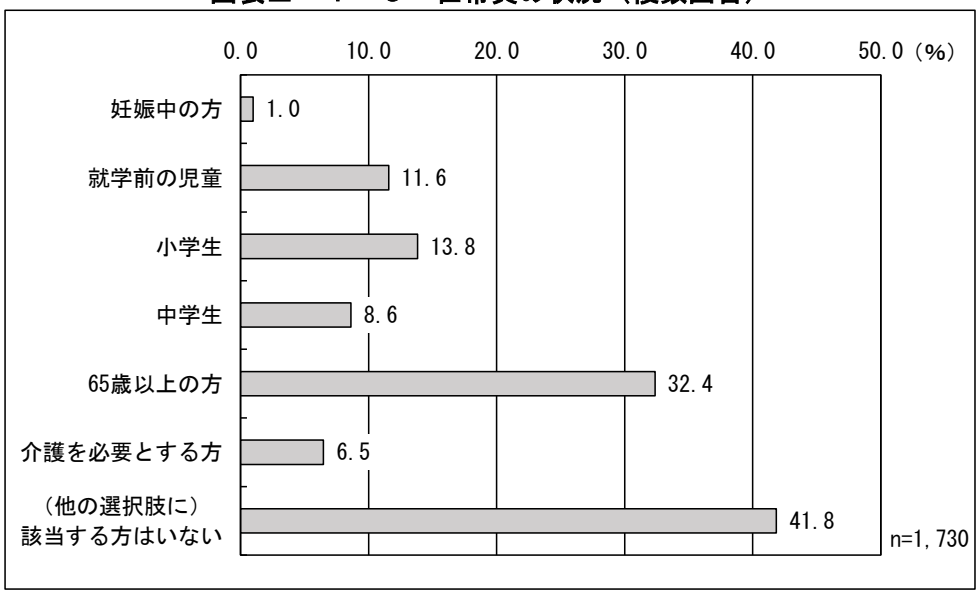


図表Ⅲ－１－４ 世帯構成



○　世帯員の状況では「(他の選択肢に) 該当する方はいない」が 41.8%で最も高く、次いで「65歳以上の方」の 32.4%となっています。

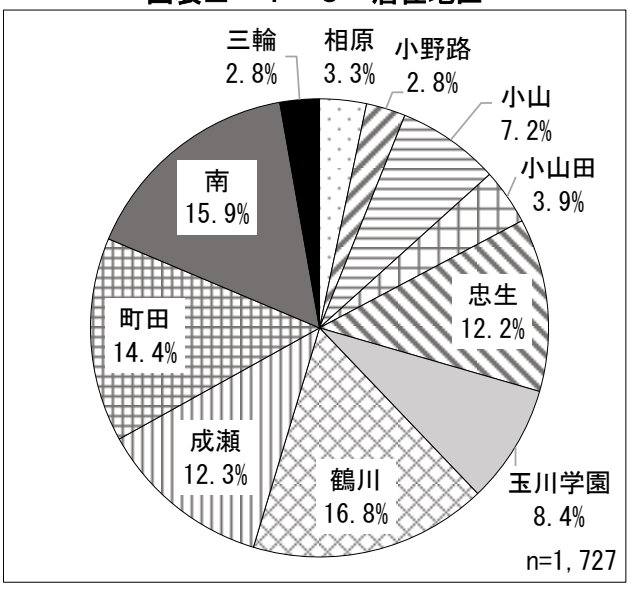
図表Ⅲ－１－５　世帯員の状況（複数回答）



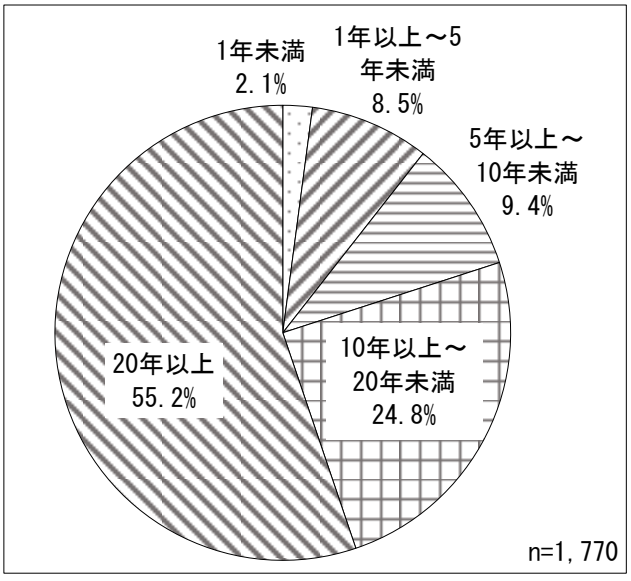
○　居住地区では「鶴川」が 16.8%で最も高く、次いで「南」の 15.9%となっています。

○　居住年数では「20 年以上」が 55.2%で最も高く、次いで「10 年以上～20 年未満」の 24.8%となっています。

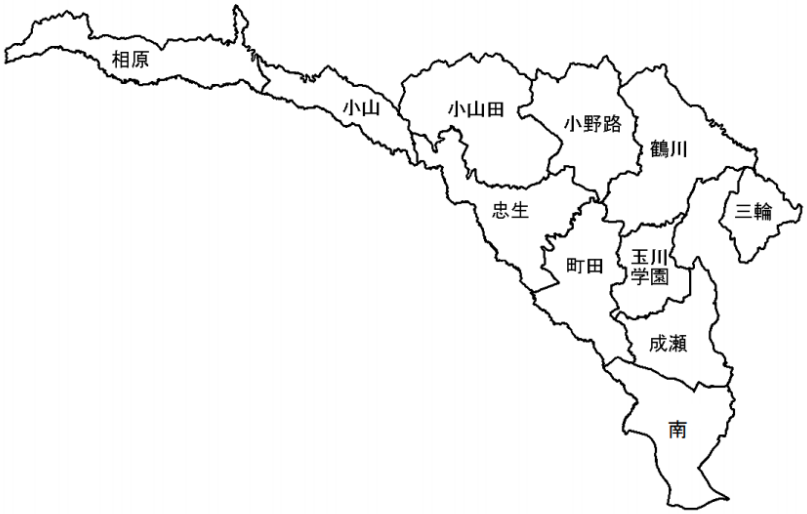
図表Ⅲ－１－６　居住地区



図表Ⅲ－１－７　居住年数



図表Ⅲ－１－８　居住地区と町名の対照表



地区	町名
相原	相原町
小野路	野津田町、小野路町
小山	小山町、小山ヶ丘
小山田	上小山田町、下小山田町、図師町
忠生	木曽町、根岸町、根岸、忠生、木曽東、木曽西、小山田桜台、常磐町、矢部町、山崎町、山崎
玉川学園	南大谷、玉川学園、東玉川学園
鶴川	真光寺町、真光寺、広袴町、広袴、能ヶ谷、鶴川、大蔵町、金井町、金井、薬師台
成瀬	成瀬が丘、高ヶ坂、成瀬台、成瀬、南成瀬、西成瀬
町田	原町田、中町、森野、旭町、本町田
南	つくし野、南つくし野、小川、鶴間、南町田、金森、金森東
三輪	三輪町、三輪緑山

2 「市がこれまで取り組んできた施策」に対する現在の満足度と今後の重要度と今後、特に力を入れてほしい取組み【問１～22】

（１）あなたの「現在の満足度」と「今後の重要度」は次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）
（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は３つまで）

（１）相対的に見た現在の満足度

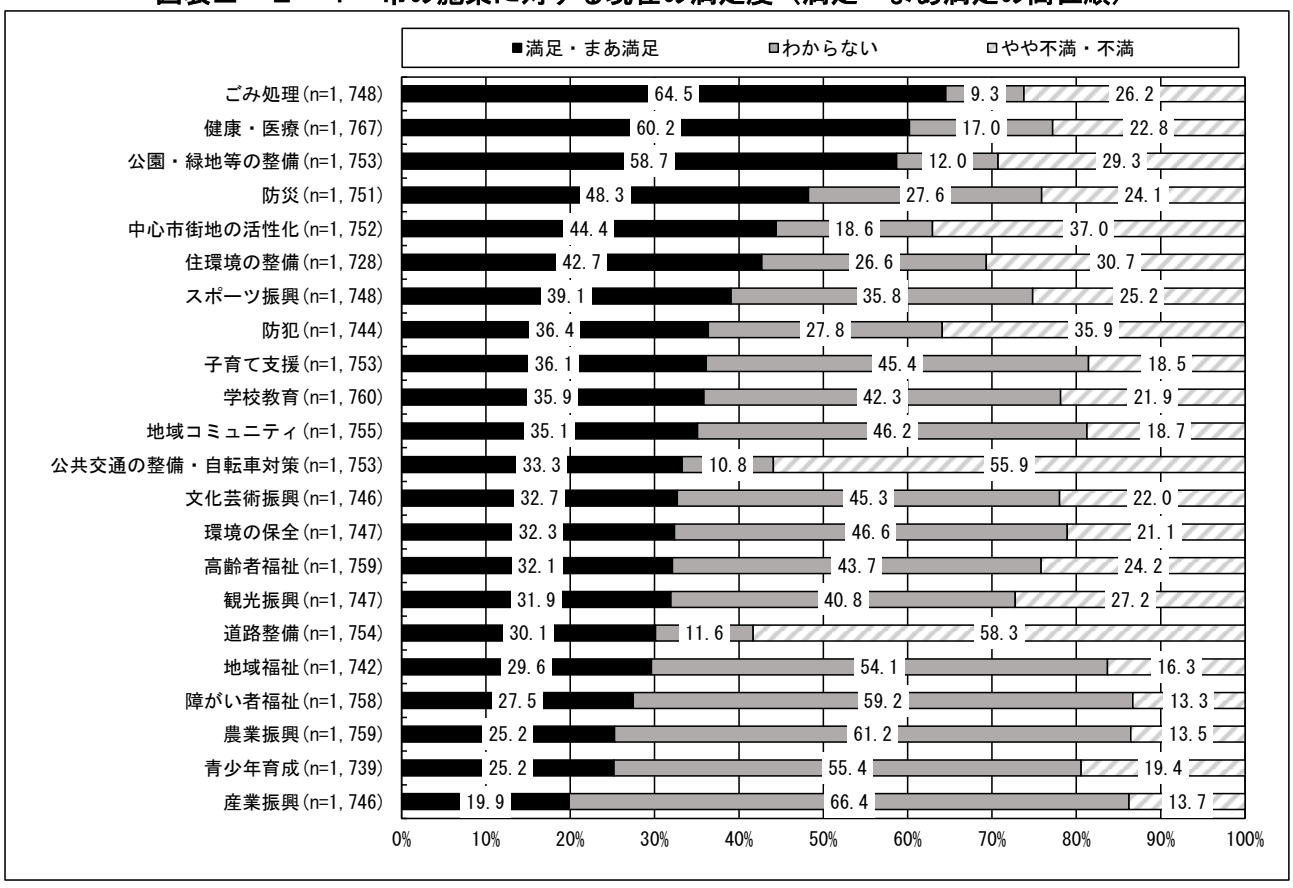
－満足度は「ごみ処理」「健康・医療」など、不満足度では「道路整備」「公共交通の整備・自転車対策」など多くの市民の生活に密接に関わる施策の割合が高くなっている－

○ 市の施策に対して満足（「満足」＋「やや満足」）と回答した割合は、「ごみ処理」が 64.5%で最も高く、次いで「健康・医療」の 60.2%、「公園・緑地等の整備」の 58.7%となっています。

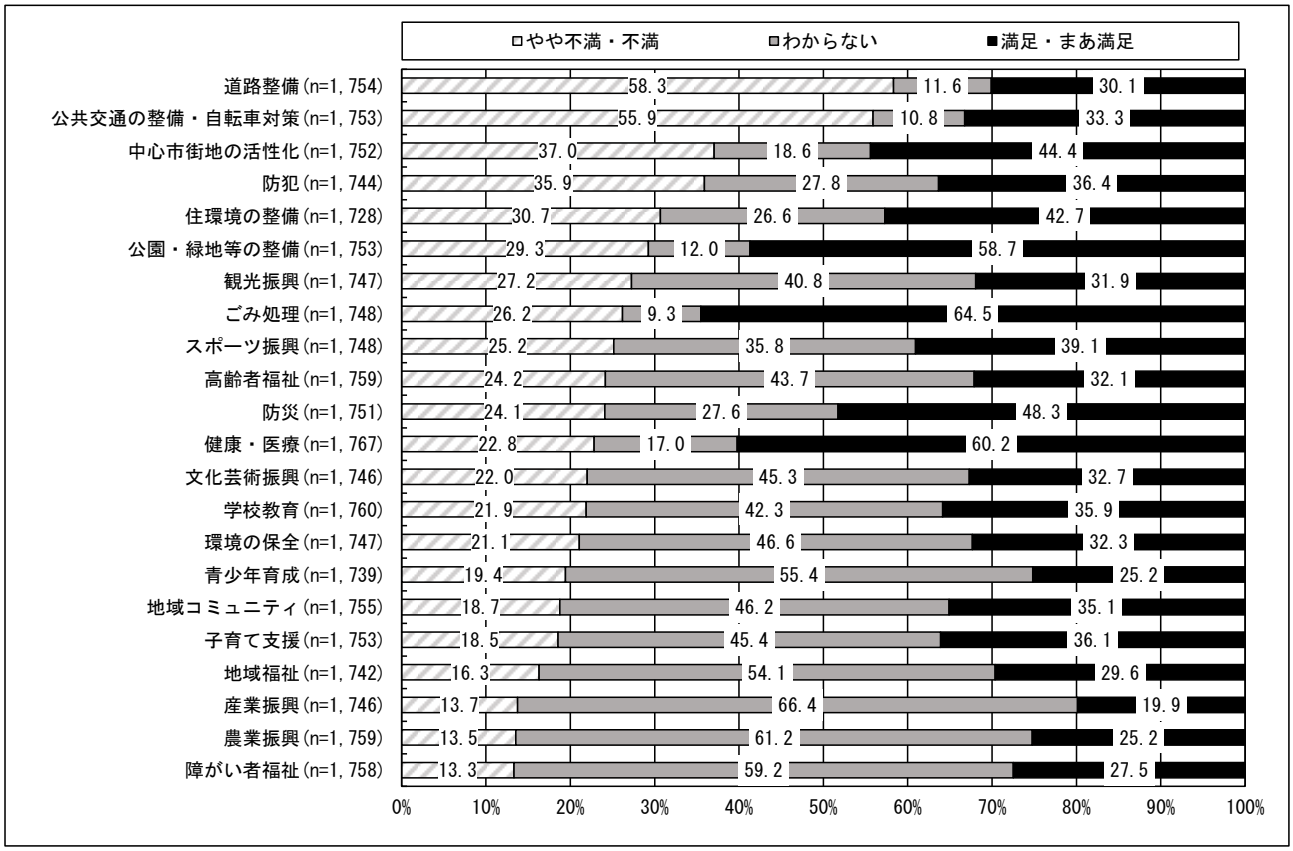
○ 市の施策に対して不満（「やや不満」＋「不満」）と回答した割合は、「道路整備」が 58.3%で最も高く、次いで「公共交通の整備・自転車対策」が 55.9%、「中心市街地の活性化」が 37.0%となっています。

○ 市の施策に対して「わからない」と回答した割合は、「産業振興」が 66.4%で最も高く、次いで「農業振興」の 61.2%、「障がい者福祉」の 59.2%となっています。

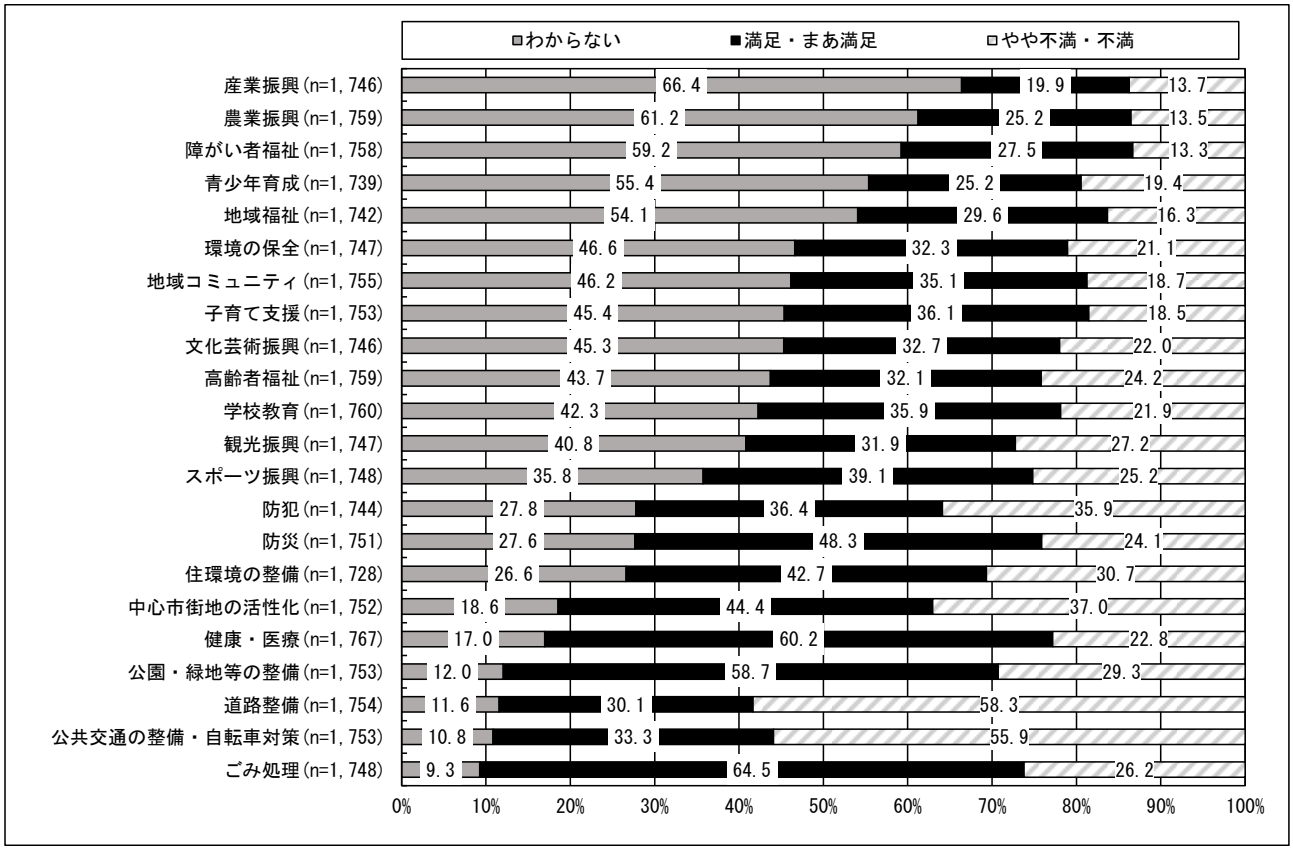
図表Ⅲ－２－１　市の施策に対する現在の満足度（満足・まあ満足の高位順）



図表Ⅲ－２－２　市の施策に対する現在の満足度（やや不満・不満の高位順）



図表Ⅲ－２－３　市の施策に対する現在の満足度（満足度がわからないの高位順）



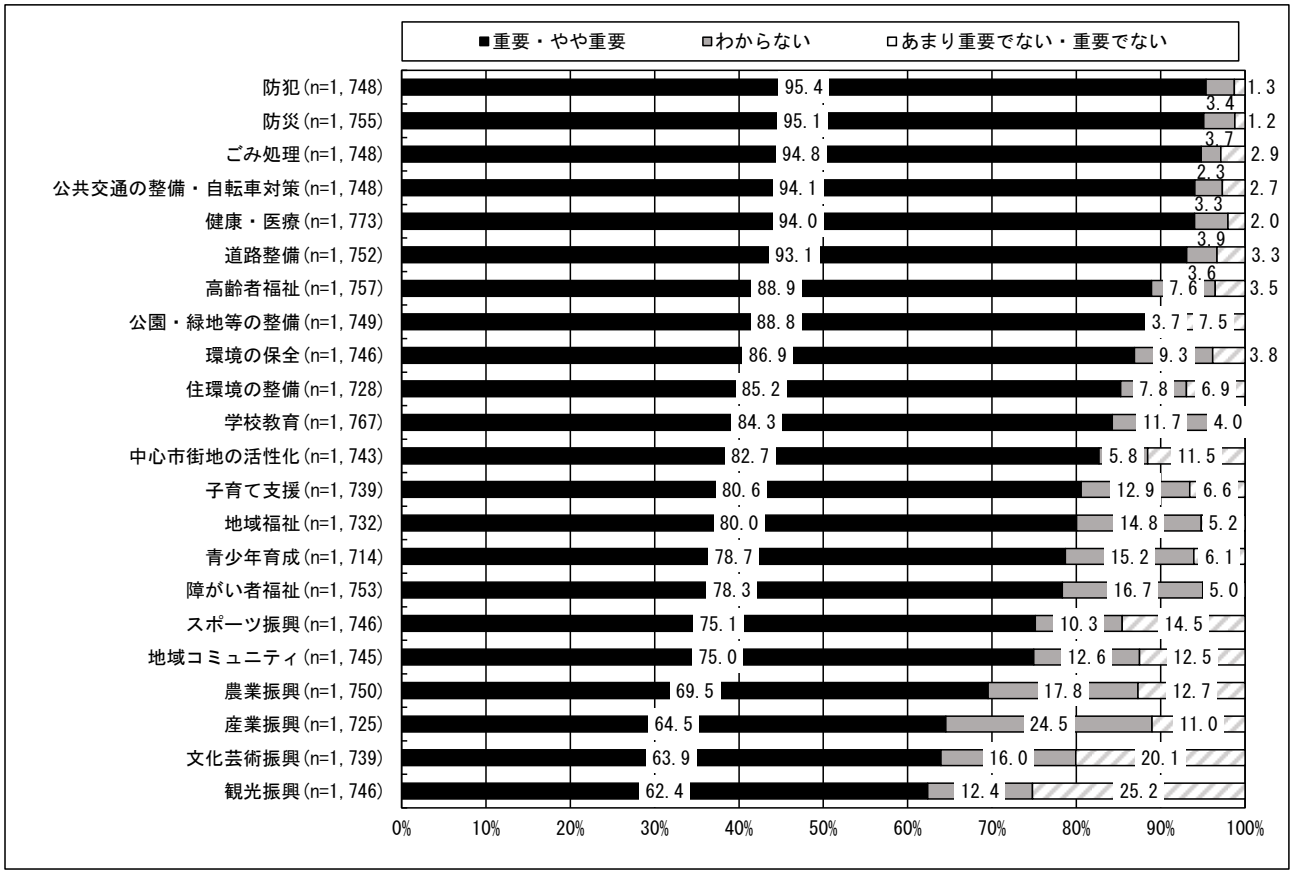
（２）相対的に見た今後の重要度

－いずれの施策においても、重要度が高いと考えている回答者の割合が60%を超えている－

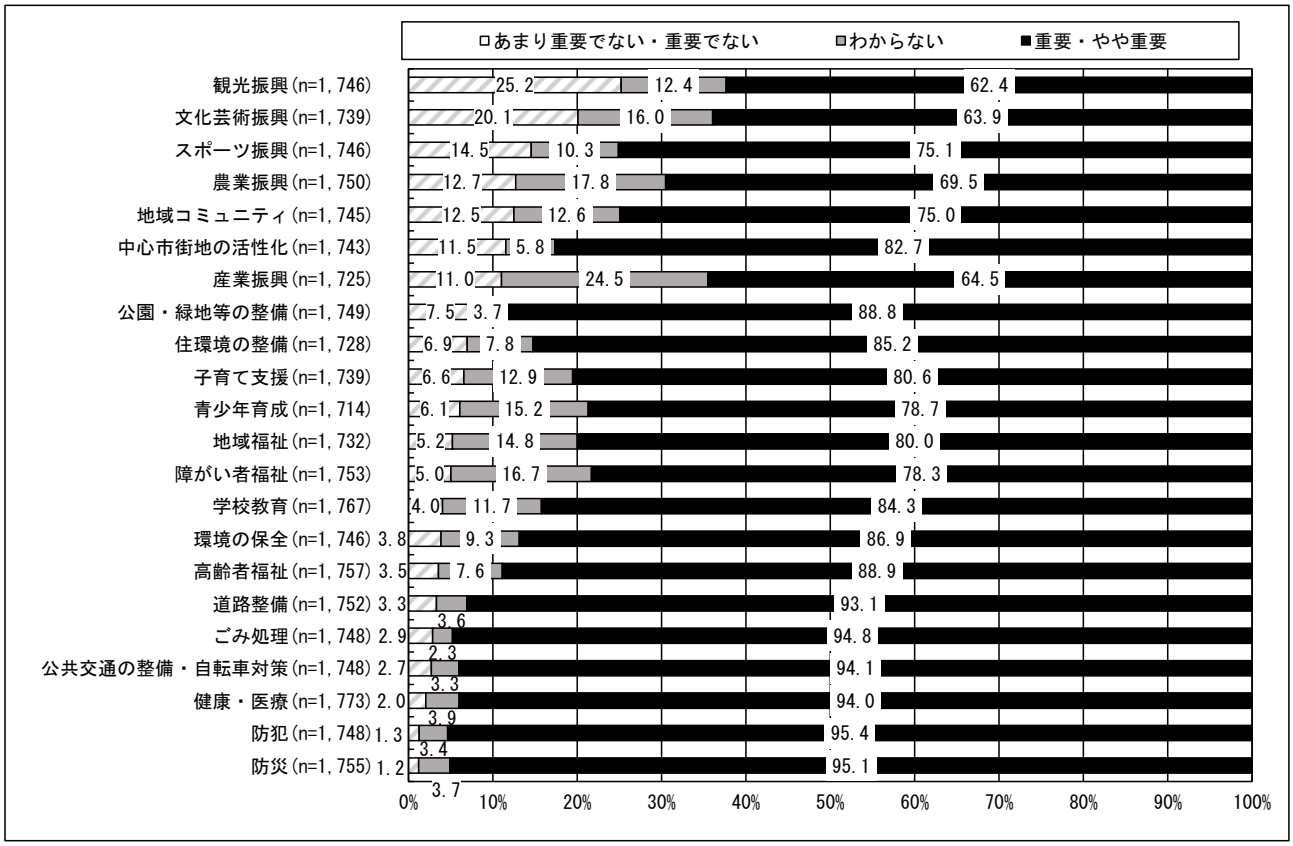
○　市の施策に対して重要（「重要」＋「やや重要」）と回答した割合は、「防犯」が 95.4%で最も高く、「防災」が 95.1%でこれに次いでいるほか、「ごみ処理」、「公共交通の整備・自転車対策」、「健康・医療」及び「道路整備」で 90%台となっており、市民の日常生活との関連性が深い施策で、割合が特に高い傾向にあります。

○　市の施策に対して「わからない」と回答した割合は、「産業振興」が 24.5%で最も高く、次いで「農業振興」の 17.8%、「障がい者福祉」の 16.7%となっています。

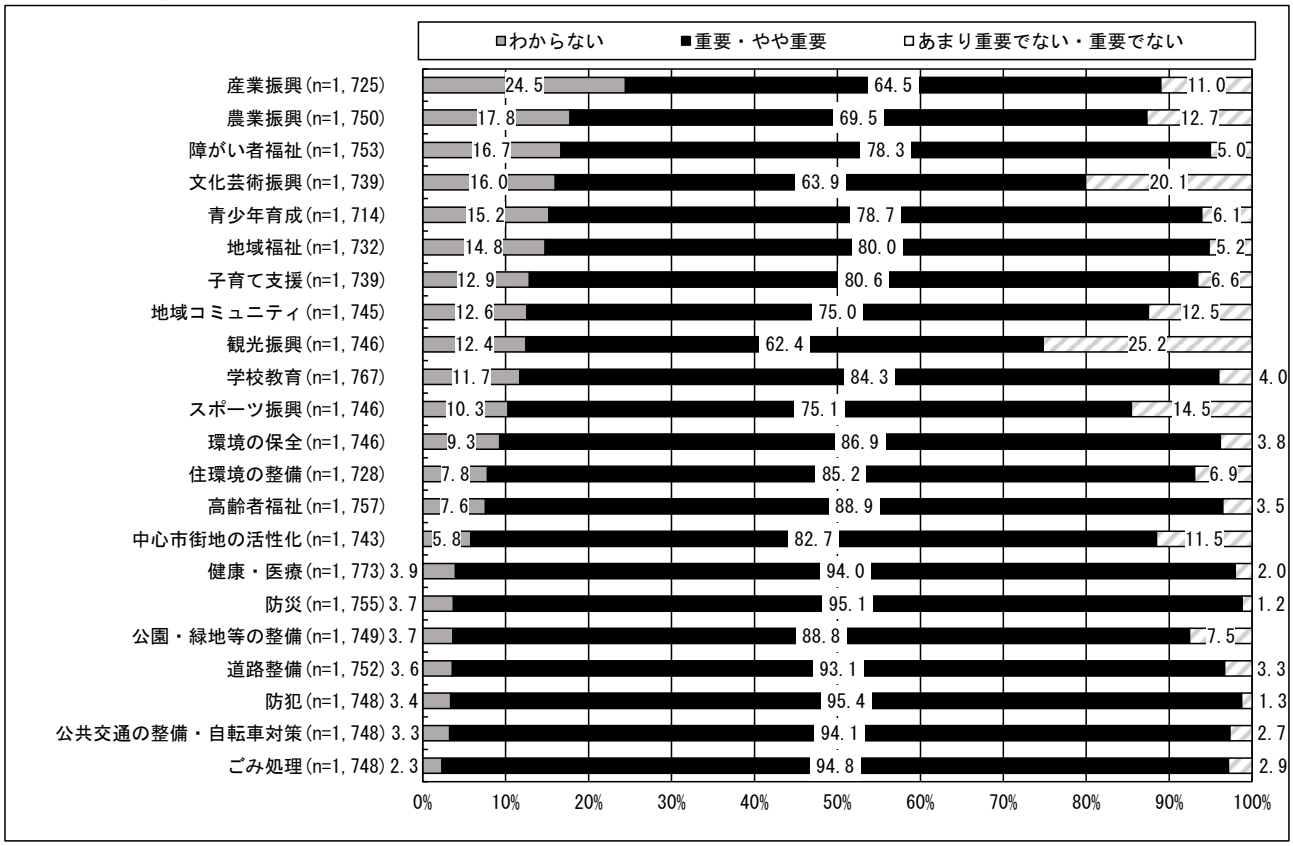
図表Ⅲ－２－ ４　市の施策に対する今後の重要度（重要度の高位順）



図表Ⅲ－２－５　市の施策に対する今後の重要度（重要でないの高位順）



図表Ⅲ－２－６　市の施策に対する今後の重要度（重要度がわからないの高位順）



（３）現在の満足度と今後の重要度の２軸分析

ー現在の満足度が低く、今後の重要度が高い施策は、「道路整備」「公共交通の整備・自転車対策」といった道路・交通環境に関する施策が目立つー

○　本項の「加重平均値」とは、全 22 施策を対象に、満足度と重要度の水準を相対的に可視化するため、満足度・重要度の各々の段階に一定の重み（得点）を設定し、重みを考慮した平均値を算出したものです。

○　具体的には、次表に示すように満足度・重要度の５段階に各々２点、１点、０点、－１点、－２点という得点を設定します。例えば、５段階各々に回答した人数がw_1、w_2、w_3、w_4、w_5であった場合、加重平均値は以下の式で算出できます。

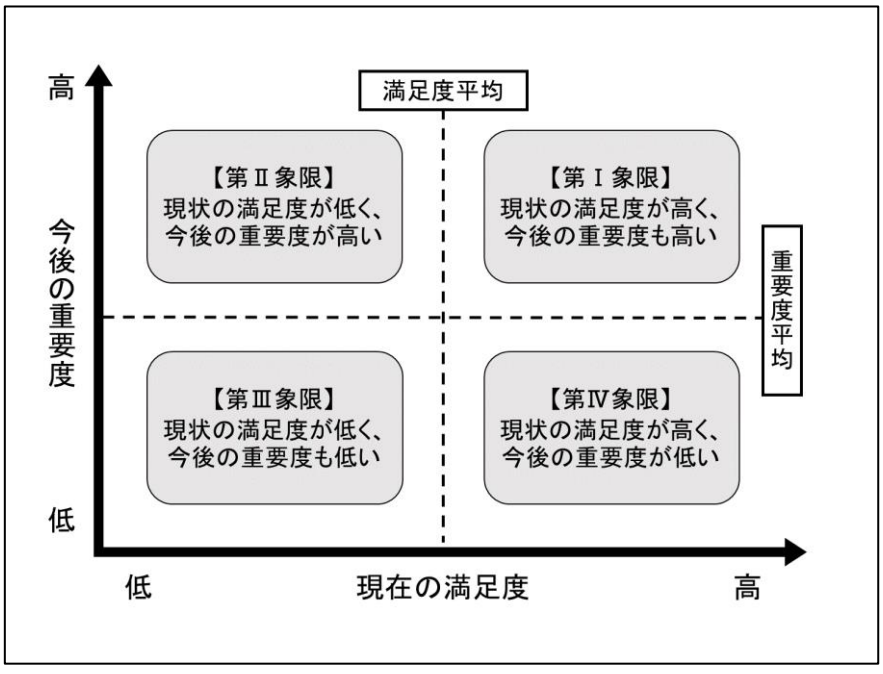
$$\text{加重平均値}=\frac{2\text{点}\times w_1+1\text{点}\times w_2+0\text{点}\times w_3+(-1\text{点})\times w_4+(-2\text{点})\times w_5}{w_1+w_2+w_3+w_4+w_5}$$

図表Ⅲ－２－７　現在の満足度・今後の重要度に対する加重平均の得点

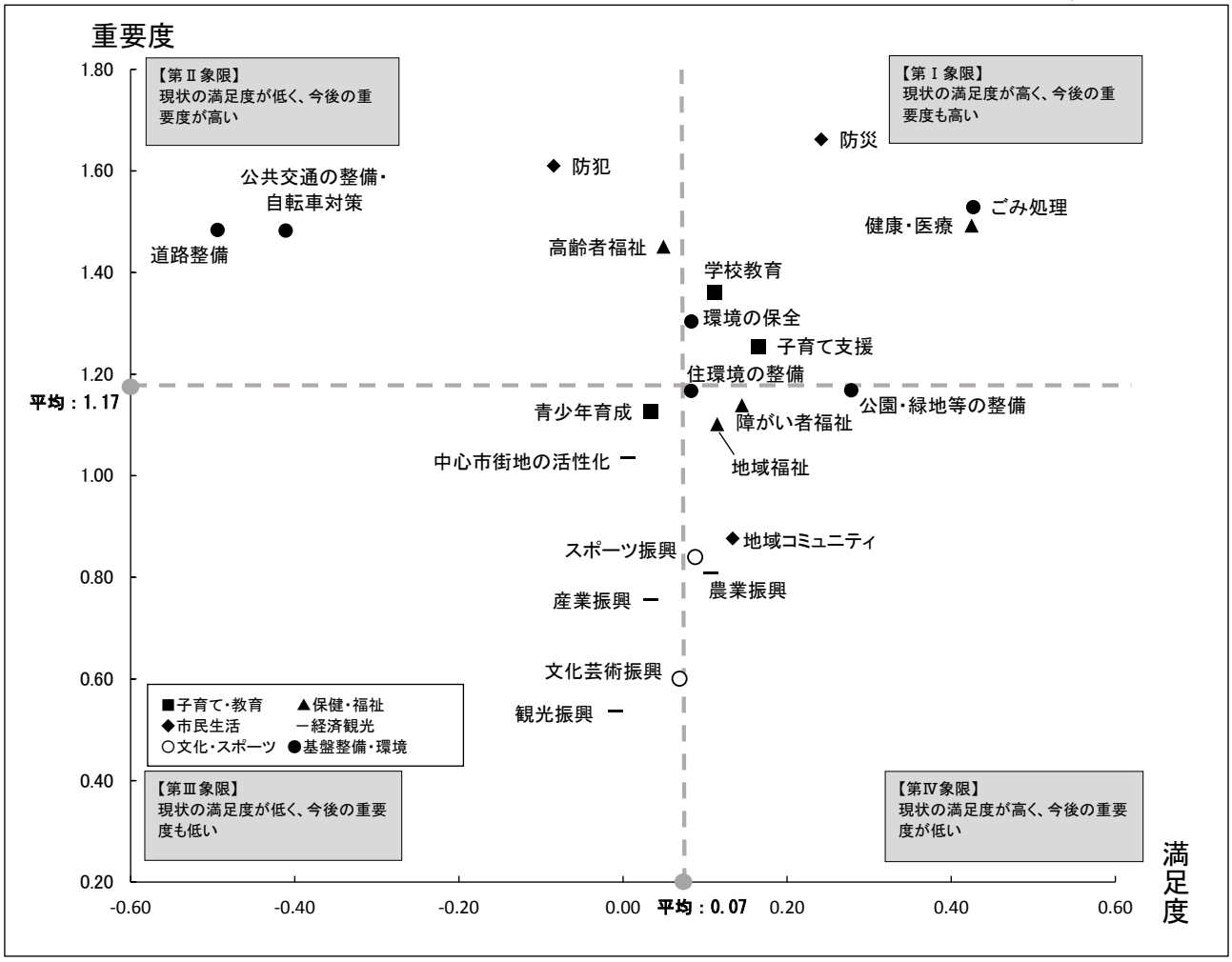
現在の満足度		今後の重要度	
回答の選択肢	加重平均の得点	回答の選択肢	加重平均の得点
満足	２点	重要	２点
まあ満足	１点	まあ重要	１点
わからない	０点	わからない	０点
やや不満	－１点	あまり重要でない	－１点
不満	－２点	重要でない	－２点

○　さらに、図表Ⅲ－２－８、Ⅲ－２－９では、横軸に「現在の満足度」の加重平均値、縦軸に「今後の重要度」の加重平均値を配置した２軸分析により、市の施策に対する市民の意識を相対的に可視化しています。

図表Ⅲ－２－８　「現在の満足度」と「今後の重要度」の２軸分析のイメージ



図表Ⅲ－２－９　「現在の満足度」と「今後の重要度」の２軸分析のまとめ①



図表Ⅲ－２－10　「現在の満足度」と「今後の重要度」の２軸分析のまとめ②

【第Ⅱ象限】満足度低・重要度高	【第Ⅰ象限】満足度高・重要度高
• 高齢者福祉 • 防犯 • 道路整備 • 公共交通の整備・自転車対策	• 子育て支援 • 学校教育 • 健康・医療 • 防災 • ごみ処理 • 環境の保全
【第Ⅲ象限】満足度低・重要度低	**【第Ⅳ象限】満足度高・重要度低**
• 青少年育成 • 産業振興 • 中心市街地の活性化 • 観光振興 • 文化芸術振興	• 障がい者福祉 • 地域福祉 • 地域コミュニティ • 農業振興 • スポーツ振興 • 公園・緑地等の整備 • 住環境の整備

＜第Ⅰ象限：現在の満足度が高く、今後の重要度も高い施策＞

○　「学校教育」、「子育て支援」といった子育て・教育に関する施策のほか、「防災」、「ごみ処理」「健康・医療」、「環境の保全」に関する施策が分布しています。

○　今後、特に力をいれてほしい取組みについて、「学校教育」では「いじめ・不登校防止対策」、「子育て支援」では「児童虐待の防止対策」が多く回答されています。

○　「防災」では、「道路や下水道などのインフラの耐震化」、「ごみ処理」では「ごみの減量や資源化に関する市民啓発活動」、「健康・医療」では「緊急時の救急医療体制」、「環境の保全」では「騒音や悪臭などの身近な公害の苦情処理体制」が多く回答されています。

＜第Ⅱ象限：現在の満足度が低く、今後の重要度が高い施策＞

○　「道路整備」、「公共交通の整備・自転車対策」のような交通に関する施策のほか、「防犯」、「高齢者福祉」に関する施策が分布しています。

○　今後、特に力をいれてほしい取組みについて、「道路整備」では「日常生活で利用する身近な生活道路の整備」、「公共交通の整備・自転車対策」では「自転車走行空間の整備」が多く回答されています。

○　「防犯」では「防犯カメラの設置などによる犯罪が起こりにくい環境づくり」、「高齢者福祉」では「支援が必要な高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援体制」が多く回答されています。

＜第Ⅲ象限：現在の満足度が低く、今後の重要度も低い施策＞

○　「中心市街地の活性化」、「産業振興」、「観光振興」のような地域経済に関する施策や、「青少年育成」、「文化芸術振興」に関する施策が分布しています。

○　今後、特に力をいれてほしい取組みについて、「中心市街地」では「歩きやすく快適な歩行空間の整備」、「産業振興」では「独自性のある技術や製品の研究・開発、販路拡大に取り組む事業者への支援」が多く回答されています。

○　「観光振興」では「町田ならではの観光資源の発掘・活用」、「青少年育成」では「放課後の充実した活動・居場所づくり」、「文化芸術振興」では「多様な文化芸術にふれる機会・場所の提供」、が多く回答されています。

＜第Ⅳ象限：現在の満足度が高く、今後の重要度が低い施策＞

○　「地域福祉」、「障がい者福祉」のような保健・福祉に関する施策のほか、「スポーツ振興」、「公園・緑地等の整備」、「地域コミュニティ」、「農業振興」、「住環境の整備」に関する施策が分布しています。

○　今後、特に力をいれてほしい取組みについて、「地域福祉」では「地域での見守り・声かけ活動の支援」、「障がい者福祉」では「障がい者の就労支援」が多く回答されています。

○　「スポーツ振興」では「身近な地区での日常的なスポーツ活動の場」、「公園・緑地等の整備」では「日常生活で利用する身近な公園・緑地の整備」が多く回答されています。

○　「地域コミュニティ」では「若い世代が市民活動に参加するためのきっかけづくり」、「農業振興」では「農業の担い手や後継者の育成・確保」、「住環境の整備」では「空き家・空き地の適正管理」が多く回答されています。

（４）施策ごとの現在の満足度と今後の重要度
今後、特に力を入れてほしい取組み

＜図表の解説＞

○　「(４) 施策ごとの現在の満足度と今後の重要度」では、「今後、特に力を入れてほしい取組み」に関する図表を２つ掲載しています。この２つの図表に掲載されている数値及び図表から読み取れることができる事項の解説は、以下のとおりです。

例１）「子育て支援」について、満足度別に見た今後特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

子育て支援に対する現在の満足度		回答数	母親と子どもの健康づくり	多様な保育・幼児教育	障がい児への発達支援	育児に対する経済的負担の軽減	ひとり親家庭への支援	子育てに関する相談・支援体制
全体		1,654	215(13.0%)	352(21.3%)	323(19.5%)	632(38.2%)	316(19.1%)	412(24.9%)
満足度	満足	67	14(20.9%)	11(16.4%)	14(20.9%)	19(28.4%)	9(13.4%)	14(20.9%)
	まあ満足	542	84(15.5%)	138(25.5%)	100(18.5%)	232(42.8%)	89(16.4%)	124(22.9%)
	わからない	706	77(10.9%)	119(16.9%)	140(19.8%)	223(31.6%)	157(22.2%)	191(27.1%)
	やや不満	233	30(12.9%)	59(25.3%)	47(20.2%)	116(49.8%)	45(19.3%)	58(24.9%)
	不満	88	8(9.1%)	23(26.1%)	18(20.5%)	38(43.2%)	14(15.9%)	21(23.9%)
	無回答	18	2(11.1%)	2(11.1%)	4(22.2%)	4(22.2%)	2(11.1%)	4(22.2%)

子育て支援に対する現在の満足度		児童虐待の防止対策	保育園の待機児童対策	親子が集える交流の場や機会の創出	近隣で身近に支え合える環境づくり	不妊や不育症など出産の悩みを抱える夫婦に対する取り組み	その他
全体		651(39.4%)	539(32.6%)	204(12.3%)	460(27.8%)	161(9.7%)	91(5.5%)
満足度	満足	25(37.3%)	17(25.4%)	11(16.4%)	19(28.4%)	11(16.4%)	4(6.0%)
	まあ満足	185(34.1%)	148(27.3%)	84(15.5%)	181(33.4%)	50(9.2%)	20(3.7%)
	わからない	343(48.6%)	260(36.8%)	60(8.5%)	176(24.9%)	71(10.1%)	25(3.5%)
	やや不満	69(29.6%)	82(35.2%)	32(13.7%)	51(21.9%)	21(9.0%)	23(9.9%)
	不満	22(25.0%)	28(31.8%)	15(17.0%)	23(26.1%)	6(6.8%)	16(18.2%)
	無回答	7(38.9%)	4(22.2%)	2(11.1%)	10(55.6%)	2(11.1%)	3(16.7%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、子育て支援施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。
２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります

１）－１　図表に掲載されている数値

○　上の図表の**【Ⓐ 1,654 件】**は、「子育て支援（施策）」に関する取組みの回答数（回答した人数）であり、アンケート調査の有効回収数（1,791 件）から、「特にない」の回答数（89 件）と無効回答数（48 件）を差し引いた値です。なお、「特にない」の回答数と無効回答数は、表中には掲載していません。

Ⓐ 1,654 件＝有効回収数(1,791 件)－「特にない」の回答数(89 件)－無効回答数(48 件)

○　**【Ⓑ】**は「子育て支援（施策）」に対する満足度別の回答数（回答した人数）です。「満足」から「無回答」の回答数（件）の合計値は、**【Ⓐ 1,654 件】**と一致します。

Ⓐ 1,654 件＝Ⓑ 満足（67 件）＋まあ満足（542 件）＋わからない（706 件）＋やや不満(233 件)
＋不満(88 件)＋無回答(18 件)

○　**【Ⓒ 38.2%】**は、「育児に対する経済的負担の軽減」の全体の回答数 632 件を、**【Ⓐ 1,654 件】**で除した値で、「子育て支援（施策）」に関する取組みの回答数（回答した人数）のうち、その取組みが選ばれた割合です。なお、「今後、特に力を入れてほしい取組み」は、複数回答のため、各取組みの回答数及び回答率（%）の合計は満足度別の回答数を合算した数値及び 100%にはなりません。

$$Ⓒ\ 38.2\% = \frac{\text{「育児に対する経済的負担の軽減」の回答数（632 件）}}{Ⓐ\ 1,654\ \text{件}}$$

○　**【Ⓓ 49.8%】**は、「やや不満」の回答者による「育児に対する経済的負担の軽減」の回答数 116 件を、「子育て支援（施策）」に対する「やや不満」の回答数 233 件で除した値で、その取組みが、「子育て支援(施策)」に対して「やや不満」と回答した人から選ばれた割合です。

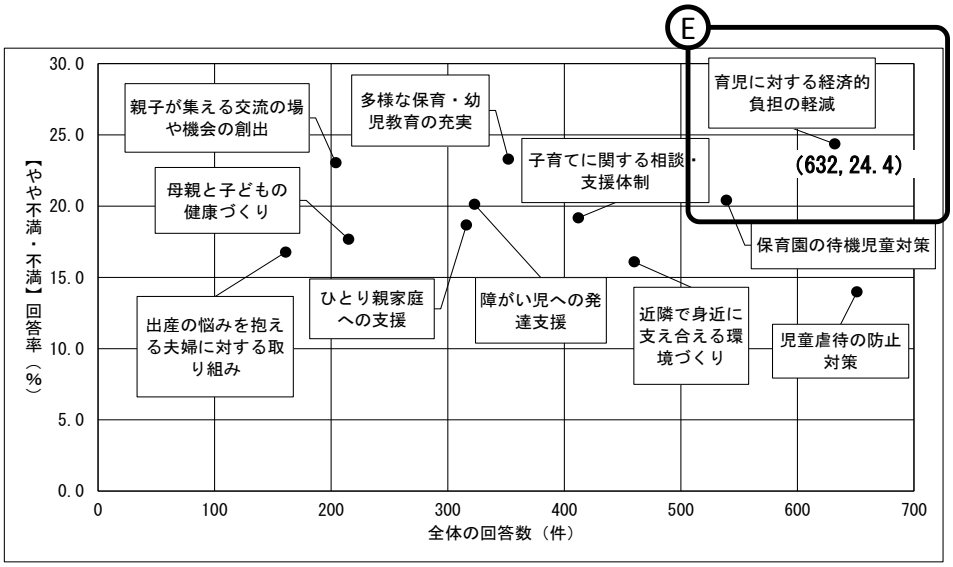
$$Ⓓ\ 49.8\% = \frac{\text{「やや不満」の回答者による「育児に対する経済的負担の軽減」の回答数（116 件）}}{\text{「子育て支援」に対する「やや不満」の回答数（233 件）}}$$

１）－２　図表から読み取れる事項

○　この図表から、その取組みが選ばれた数（回答数）と選ばれた割合（回答率）が、回答全体及び施策に対する満足度別で分かります。

○　例１）では、「子育て支援（施策）」について、満足度別に見た「今後、特に力を入れてほしい取組み」の回答数と回答率が分かります。これにより、子育て施策に対して不満（「やや不満」＋「不満」）な回答者からの回答数が多く、回答率が高い「育児に対する経済的負担の軽減」は、優先的に推進すべき取組みの１つと捉えることができます。

例２）「子育て支援」について、今後、特に力を入れてほしい取組みの「全体の回答数（横軸）」と、「【やや不満・不満】の回答率（縦軸）」の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに子育て支援施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。

２）－１ 図表に掲載されている数値

○ 上の図表の**【Ⓔ 632, 24.4】**のうち、「632（件）」は、「育児に対する経済的負担の軽減」に対する全体の回答数です。また、「24.4（%）」は、以下に示すように、「やや不満」と「不満」の合計の回答数（154 件）を全体の回答数（632 件）で除した値です。

子育て支援に対する現在の満足度		育児に対する経済的負担の軽減
Ⓕ 全体		632 (38.2%)
満足度	満足	19 (28.4%)
	まあ満足	232 (42.8%)
	わからない	223 (31.6%)
	Ⓖ やや不満	116 (49.8%)
	不満	38 (43.2%)
	無回答／不明	4 (22.2%)

Ⓔ 24.4%＝ Ⓖ やや不満（116件）＋不満（38件） ／ Ⓕ 632件

２）－２ 図表から読み取れる事項

○ この図表からは、それぞれの取組みごとの全体の回答数（横軸）と、子育て支援（施策）に対する「不満（やや不満と不満の合計）」の回答率が分かります。これにより、例２）では、**【Ⓔ】**のように全体の回答数が多く、かつ「不満（やや不満と不満の合計）」の割合が高い取組みほど、相対的にニーズが高く、優先的に推進すべき取組みの一つと捉えることができます。

○ これに該当する取組みとして、上の図表では、**【Ⓔ】**の枠内に分布している「育児に対する経済的負担の軽減」や「保育園の待機児童対策」があります。

子育て・教育

①子育て支援

市では、母子保健の充実、多様な保育・幼児教育の充実、身近なところで子育てに関する相談や子育て家庭同士の交流ができる機会の提供などに取り組んでいます。

**－重要度はいずれの年代も 75%を超えているほか、
今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「児童虐待の防止対策」と
「育児に対する経済的負担の軽減」の回答数が多くなっている－**

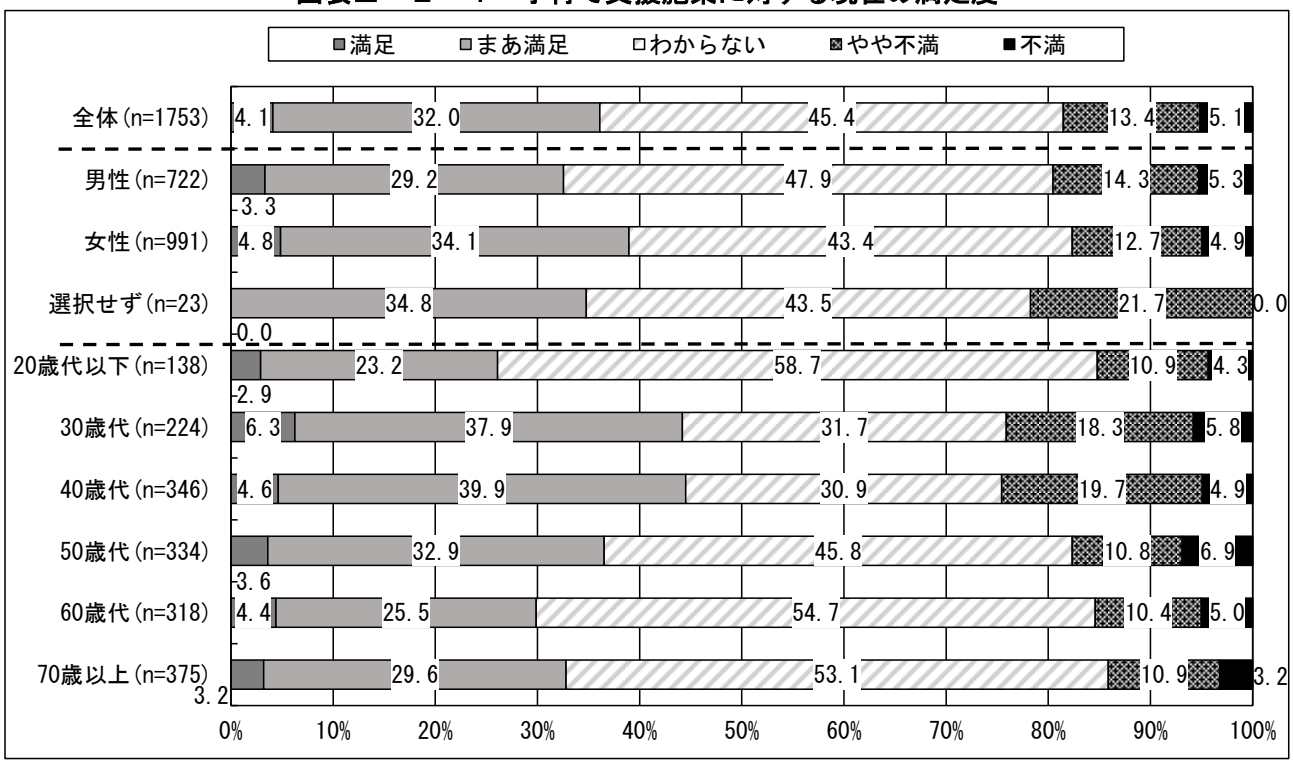
＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 36.1%で、不満（「やや不満」＋「不満」）の 18.5%を大きく上回っていますが、「わからない」が 45.4%で最も割合が高くなっています。

○ 性別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は「女性」が 38.9%であり、「男性」の 32.5%を 6.4 ポイント上回っています。

○ 年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は「40 歳代」が 44.5%で最も割合が高く、「30 歳代」が 44.2%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」+「やや不満」）もこの年代の割合が最も高くなっています。

図表Ⅲ－２－１　子育て支援施策に対する現在の満足度

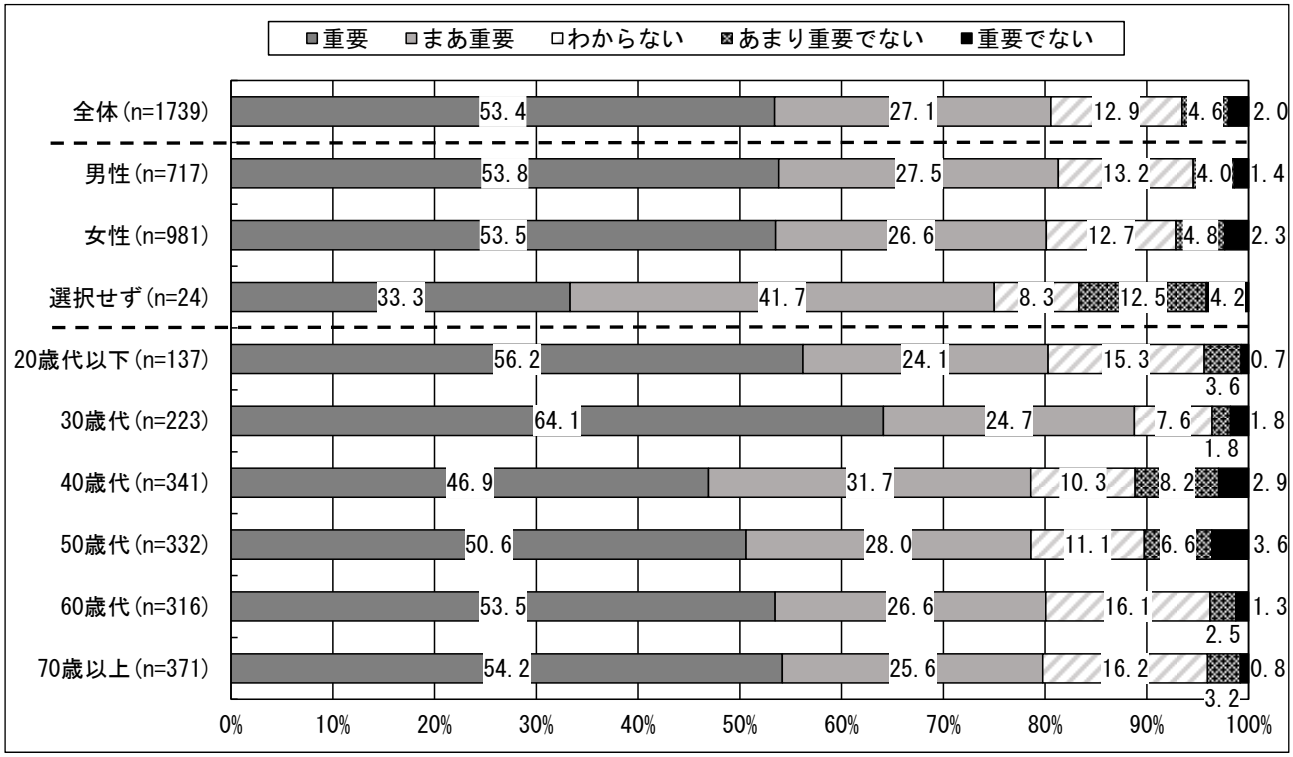


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 80.5%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 6.6%、「わからない」が 12.9%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）はいずれの年代も 75.0%を超えており、その中でも「30 歳代」が 88.8%で最も割合が高く、「40 歳代」、「50 歳代」が 78.6%で最も割合が低くなっています。

図表Ⅲ－２－１０　子育て支援施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「児童虐待の防止対策」が 39.4%で選ばれた割合が最も高く、次いで「育児に対する経済的負担の軽減」の 38.2%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「育児に対する経済的負担の軽減」がそれぞれ 49.8%、43.2%で最も高く、「保育園の待機児童対策」が 35.2%、31.8%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－３　子育て支援施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

子育て支援に対する現在の満足度		回答数	母親と子どもの健康づくり	多様な保育・幼児教育の充実	障がい児への発達支援	育児に対する経済的負担の軽減	ひとり親家庭への支援	子育てに関する相談・支援体制
全体		1,654	215(13.0%)	352(21.3%)	323(19.5%)	632(38.2%)	316(19.1%)	412(24.9%)
満足度	満足	67	14(20.9%)	11(16.4%)	14(20.9%)	19(28.4%)	9(13.4%)	14(20.9%)
	まあ満足	542	84(15.5%)	138(25.5%)	100(18.5%)	232(42.8%)	89(16.4%)	124(22.9%)
	わからない	706	77(10.9%)	119(16.9%)	140(19.8%)	223(31.6%)	157(22.2%)	191(27.1%)
	やや不満	233	30(12.9%)	59(25.3%)	47(20.2%)	116(49.8%)	45(19.3%)	58(24.9%)
	不満	88	8(9.1%)	23(26.1%)	18(20.5%)	38(43.2%)	14(15.9%)	21(23.9%)
	無回答	18	2(11.1%)	2(11.1%)	4(22.2%)	4(22.2%)	2(11.1%)	4(22.2%)

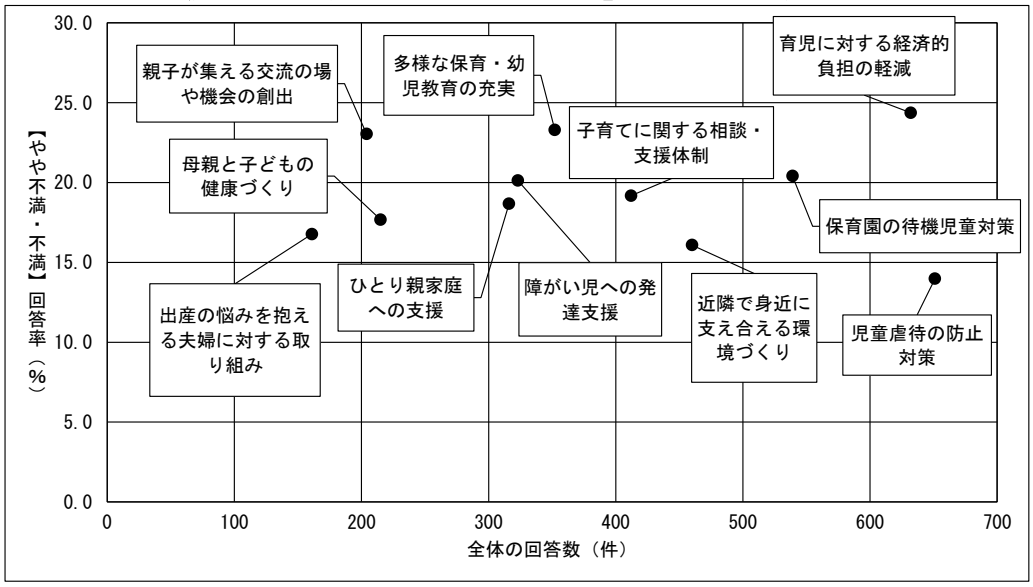
子育て支援に対する現在の満足度		児童虐待の防止対策	保育園の待機児童対策	親子が集える交流の場や機会の創出	近隣で身近に支え合える環境づくり	不妊や不育症など出産の悩みを抱える夫婦に対する取り組み	その他
全体		651(39.4%)	539(32.6%)	204(12.3%)	460(27.8%)	161(9.7%)	91(5.5%)
満足度	満足	25(37.3%)	17(25.4%)	11(16.4%)	19(28.4%)	11(16.4%)	4(6.0%)
	まあ満足	185(34.1%)	148(27.3%)	84(15.5%)	181(33.4%)	50(9.2%)	20(3.7%)
	わからない	343(48.6%)	260(36.8%)	60(8.5%)	176(24.9%)	71(10.1%)	25(3.5%)
	やや不満	69(29.6%)	82(35.2%)	32(13.7%)	51(21.9%)	21(9.0%)	23(9.9%)
	不満	22(25.0%)	28(31.8%)	15(17.0%)	23(26.1%)	6(6.8%)	16(18.2%)
	無回答	7(38.9%)	4(22.2%)	2(11.1%)	10(55.6%)	2(11.1%)	3(16.7%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、子育て支援施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－４　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の子育て支援施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに子育て支援施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

②学校教育

市では、確かな学力、豊かな心、健やかな体をはぐくむための教育の推進、学校施設の充実、地域ぐるみで児童・生徒を育てる体制の整備などに取り組んでいます。

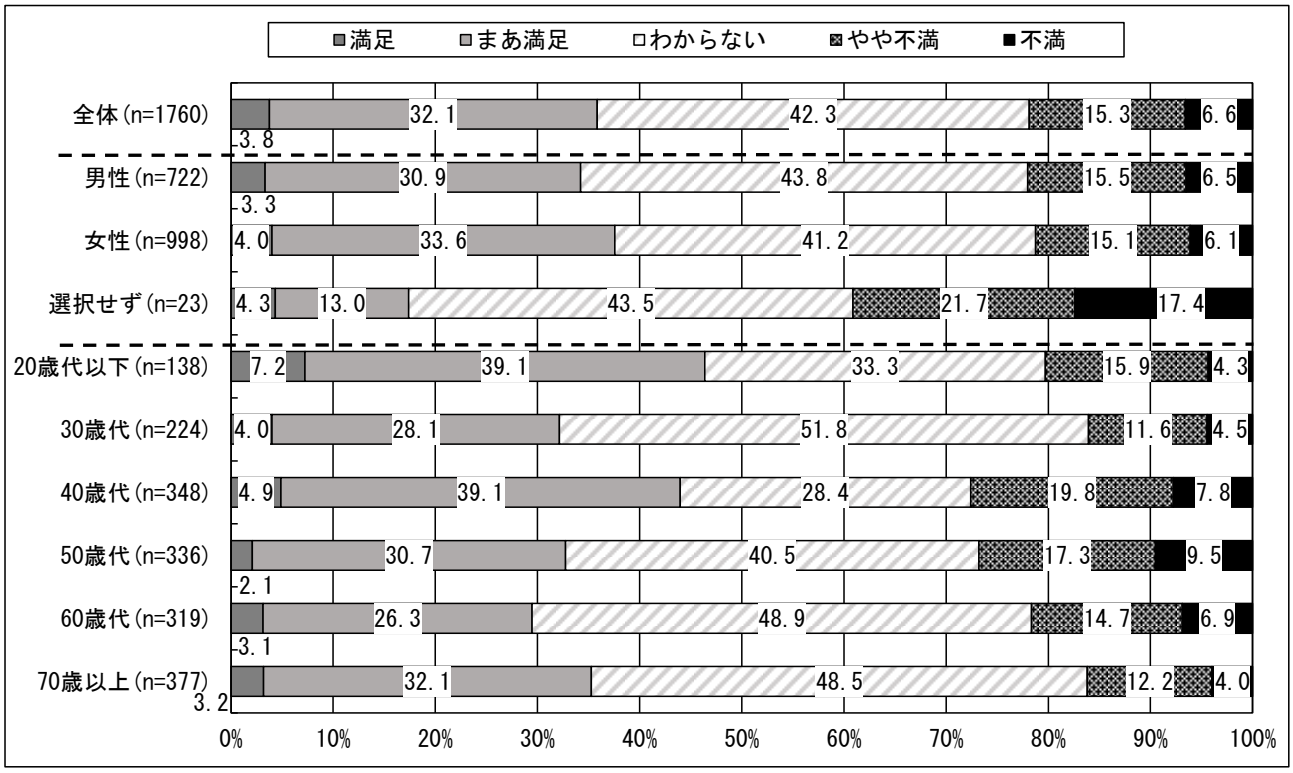
－今後、特に力を入れてほしい取組では、いずれの満足度においても「いじめ・不登校防止対策」の回答数が最も多い－

＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）しているが 35.9％で、不満（「やや不満」＋「不満」）の 21.9％を上回っていますが、「わからない」が 42.3％で最も割合が高くなっています。

○ 年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「20 歳代以下」が 46.3％で最も割合が高く、「40 歳代」が 44.0％でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－５　学校教育施策に対する現在の満足度

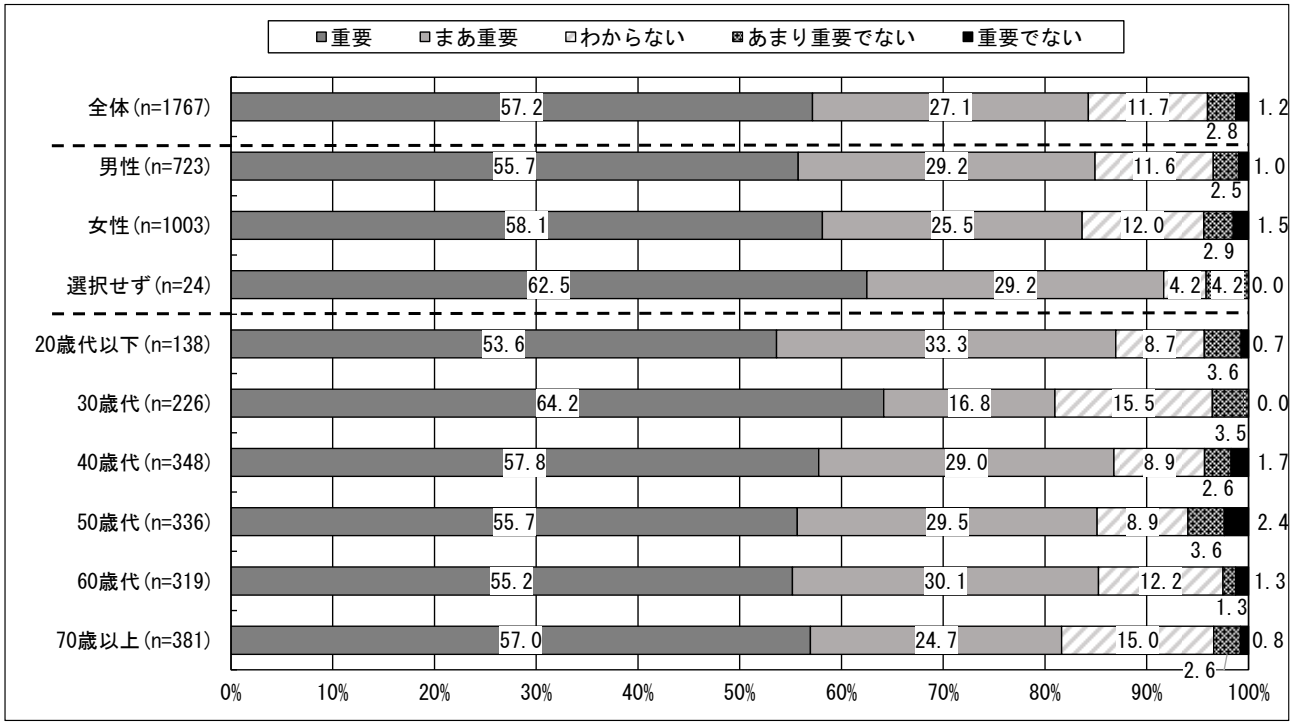


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 84.3%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 4.0%、「わからない」が 11.7%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）はいずれの年代も 80%台となっており、その中では満足度と同様に、「20 歳代以下」が 86.9%で最も割合が高く、「40 歳代」が 86.8%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－６　学校教育施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「いじめ・不登校防止対策」が 53.6%で選ばれた割合が最も高く、次いで「英語教育や授業における ICT（情報通信技術）の活用など、新たな時代に必要な資質・能力を育むための取組み」の 35.5%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「いじめ・不登校防止対策」がそれぞれ 48.9%、50.0%で最も高いほか、「教員の指導力向上に向けた取組み」が 41.7%、44.5%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－７　学校教育施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

学校教育に対する現在の満足度		回答数	児童・生徒の学力向上ため取組み	英語教育や授業におけるICT（情報通信技術）の活用など、新たな時代に必要な資質・能力を育むための取組み	児童・生徒の体力向上、健康づくりのための取組み	いじめ・不登校防止対策	特別な支援を必要とする児童・生徒への支援
全体		1,678	398(23.7%)	595(35.5%)	408(24.3%)	900(53.6%)	333(19.8%)
満足度	満足	59	14(23.7%)	24(40.7%)	14(23.7%)	29(49.2%)	11(18.6%)
	まあ満足	553	166(30.0%)	228(41.2%)	144(26%)	281(50.8%)	92(16.6%)
	わからない	676	129(19.1%)	213(31.5%)	177(26.2%)	397(58.7%)	158(23.4%)
	やや不満	264	63(23.9%)	96(36.4%)	59(22.3%)	129(48.9%)	40(15.2%)
	不満	110	24(21.8%)	31(28.2%)	13(11.8%)	55(50.0%)	28(25.5%)
	無回答	16	2(12.5%)	3(18.8%)	1(6.3%)	9(56.3%)	4(25.0%)

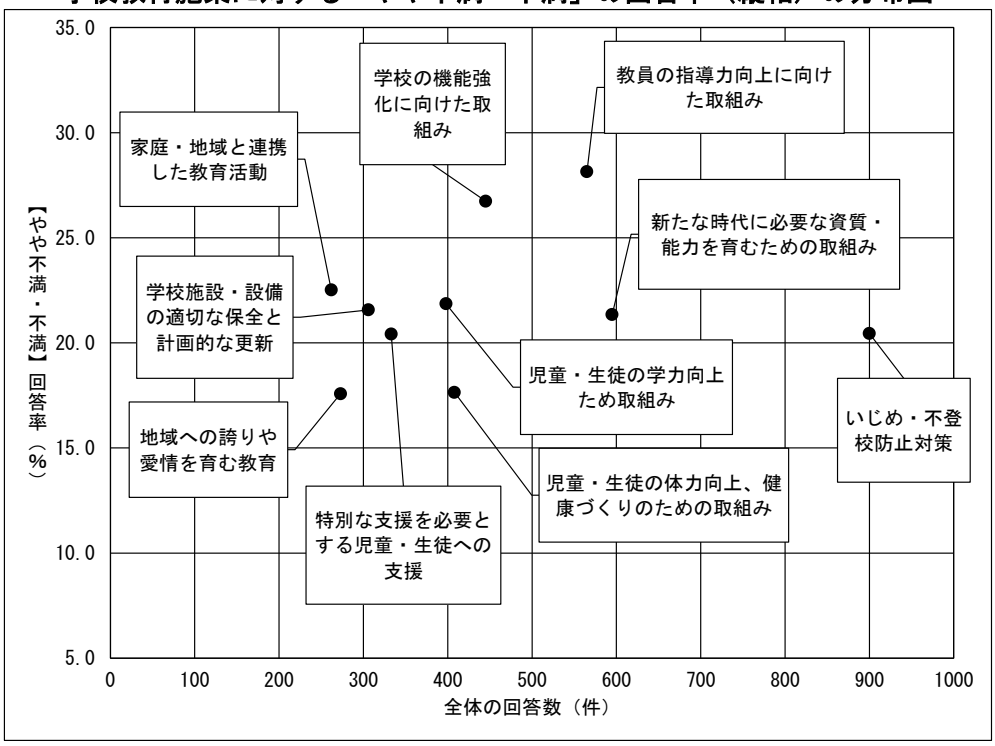
学校教育に対する現在の満足度		家庭・地域と連携した教育活動	地域への誇りや愛情を育む教育	専門的な人材の配置など、学校の機能強化に向けた取組み	教員の指導力向上に向けた取組み	学校施設・設備の適切な保全と計画的な更新	その他
全体		262(15.6%)	273(16.3%)	445(26.5%)	565(33.7%)	306(18.2%)	106(6.3%)
満足度	満足	7(11.9%)	16(27.1%)	14(23.7%)	16(27.1%)	12(20.3%)	3(5.1%)
	まあ満足	88(15.9%)	94(17.0%)	146(26.4%)	171(30.9%)	113(20.4%)	20(3.6%)
	わからない	100(14.8%)	112(16.6%)	163(24.1%)	213(31.5%)	115(17.0%)	33(4.9%)
	やや不満	39(14.8%)	36(13.6%)	83(31.4%)	110(41.7%)	47(17.8%)	27(10.2%)
	不満	20(18.2%)	12(10.9%)	36(32.7%)	49(44.5%)	19(17.3%)	20(18.2%)
	無回答	8(50.0%)	3(18.8%)	3(18.8%)	6(37.5%)	0(0.0%)	3(18.8%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、学校教育施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（Ｐ15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－８　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の学校教育施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに学校教育施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（Ｐ17 を参照）

③青少年育成

市では、豊かな体験・交流ができる機会の充実、若者の社会的自立の支援などに取り組んでいます。

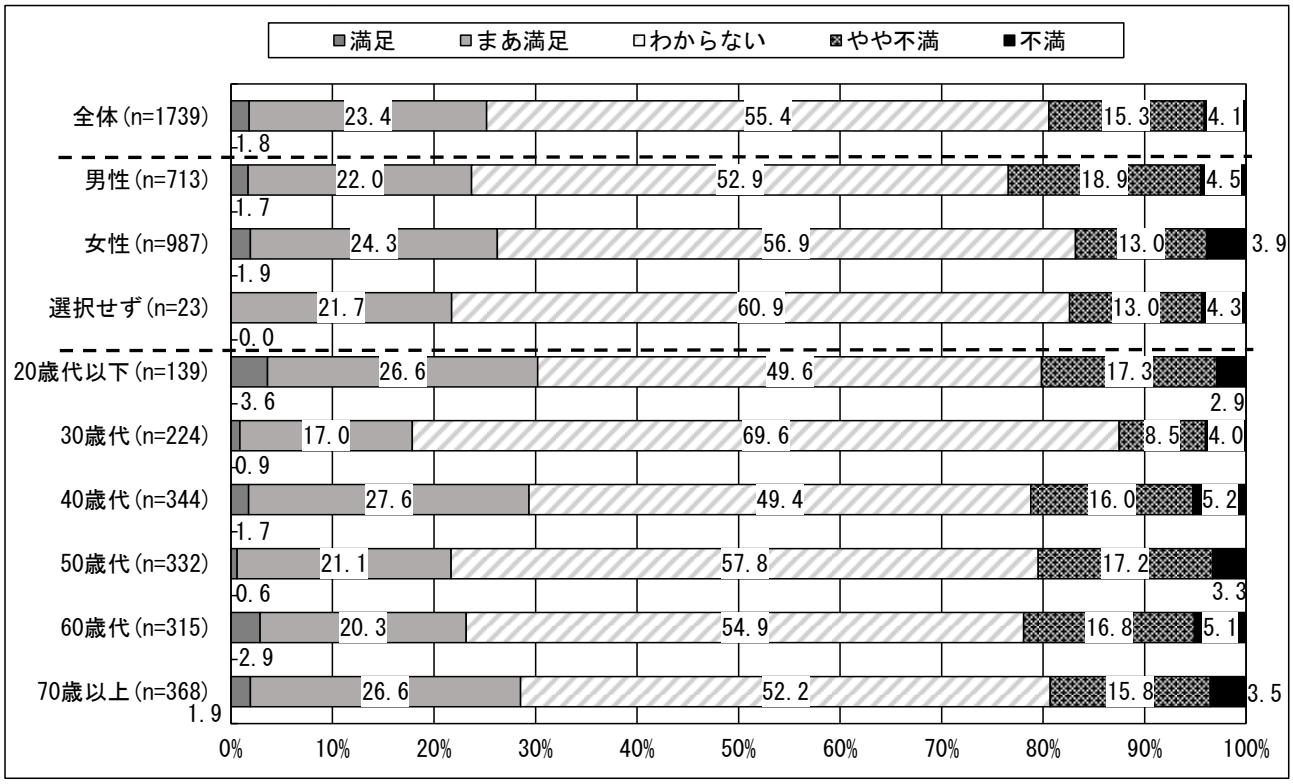
－今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「放課後の充実した活動・居場所づくり」や「青少年が被害者となる犯罪・事故対策」の回答数が多い－

＜満足度＞

○　全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 25.2％で、不満（「やや不満」＋「不満」）の 19.4％を 5.8 ポイント上回っていますが、「わからない」が 55.4％で最も割合が高くなっています。

○　年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は「20 歳代以下」が 30.2％で最も割合が高く、以下「40 歳代」の 29.3％、「70 歳以上」の 28.5％の順で割合が高くなっています。また、いずれの年代でも「わからない」が約 50～70％となっています。

図表Ⅲ－２－９　青少年育成施策に対する現在の満足度

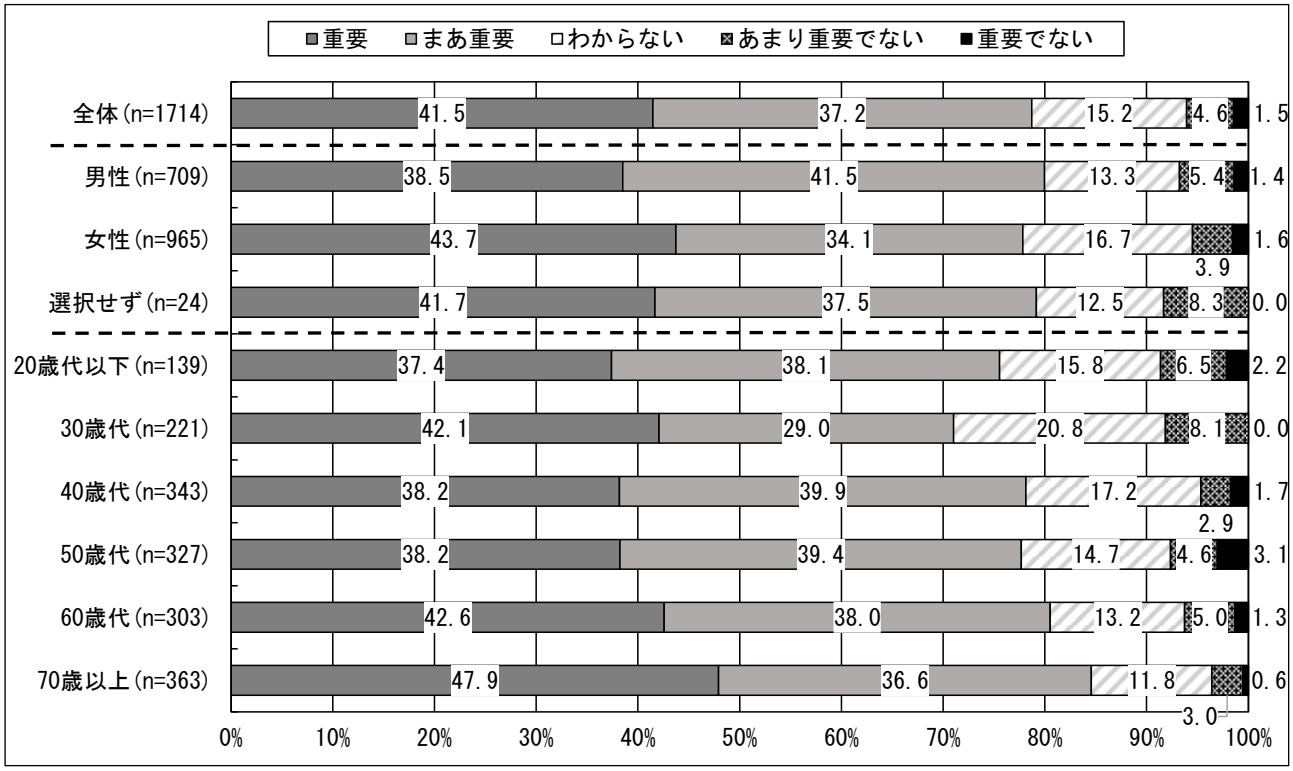


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 78.7%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 6.1%、「わからない」が 15.2%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）はいずれの年代も 70%以上となっており、その中では「70 歳代」が 84.5%で最も割合が高く、「60 歳代」が 80.6%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－10　青少年育成施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「放課後の充実した活動・居場所づくり」が 35.1%で選ばれた割合が最も高く、次いで「青少年が被害者となる犯罪・事故対策」の 32.3%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「放課後の充実した活動・居場所づくり」がそれぞれ 34.3%、43.6%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－２－11　青少年育成施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

青少年育成に対する現在の満足度		回答数	学童保育クラブの待機児童対策	放課後の充実した活動・居場所づくり	様々な体験や世代間交流ができる機会	思春期の悩みを相談しやすい体制
全体		1,357	183(13.5%)	476(35.1%)	324(23.9%)	193(14.2%)
満足度	満足	29	4(13.8%)	6(20.7%)	8(27.6%)	8(27.6%)
	まあ満足	327	44(13.5%)	129(39.4%)	86(26.3%)	57(17.4%)
	わからない	716	99(13.8%)	238(33.2%)	154(21.5%)	92(12.8%)
	やや不満	207	28(13.5%)	71(34.3%)	53(25.6%)	26(12.6%)
	不満	55	5(9.1%)	24(43.6%)	14(25.5%)	9(16.4%)
	無回答	23	3(13.0%)	8(34.8%)	9(39.1%)	1(4.3%)

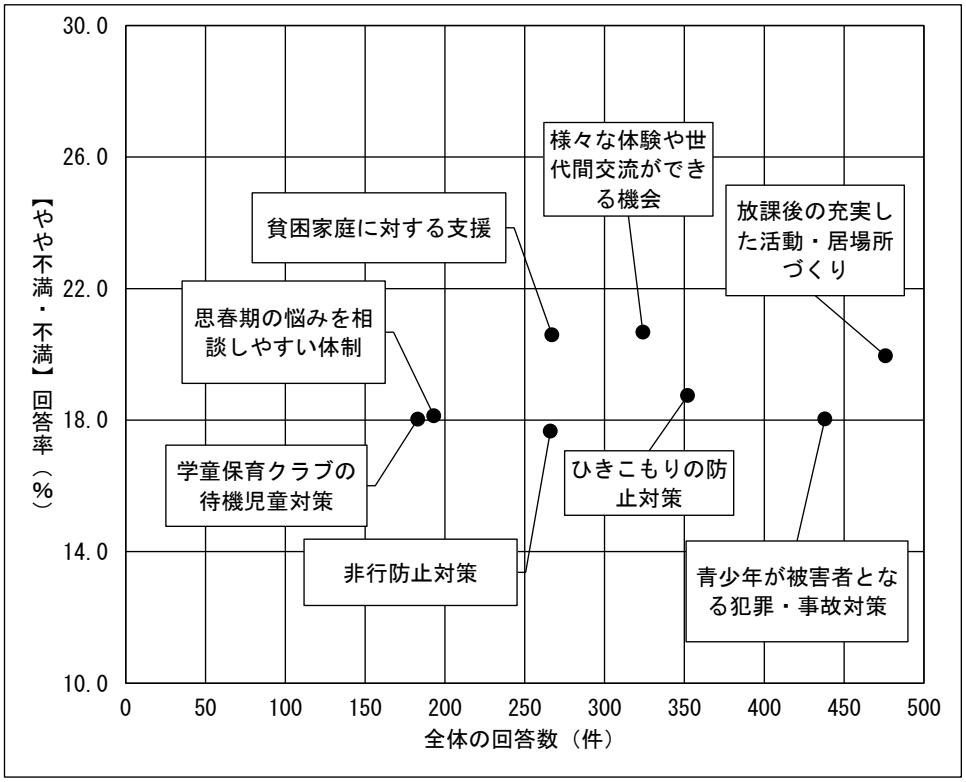
青少年育成に対する現在の満足度		青少年が被害者となる犯罪・事故対策	非行防止対策	貧困家庭に対する支援	ひきこもりの防止対策	その他
全体		438(32.3%)	266(19.6%)	267(19.7%)	352(25.9%)	30(2.2%)
満足度	満足	14(48.3%)	5(17.2%)	4(13.8%)	6(20.7%)	0(0.0%)
	まあ満足	96(29.4%)	64(19.6%)	58(17.7%)	77(23.5%)	3(0.9%)
	わからない	245(34.2%)	141(19.7%)	147(20.5%)	197(27.5%)	9(1.3%)
	やや不満	65(31.4%)	35(16.9%)	48(23.2%)	52(25.1%)	11(5.3%)
	不満	14(25.5%)	12(21.8%)	7(12.7%)	14(25.5%)	6(10.9%)
	無回答	4(17.4%)	9(39.1%)	3(13.0%)	6(26.1%)	1(4.3%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、青少年育成施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（Ｐ15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－12　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の青少年育成施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに青少年育成施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（Ｐ17 を参照）

保健・福祉

④健康・医療

市では、健康診断の受診推進、健康に関する相談窓口の強化、地域保健体制の強化、感染症や食中毒などの予防、地域医療体制の充実などに取り組んでいます。

ー今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「緊急時の救急医療体制」の回答数が特に多いー

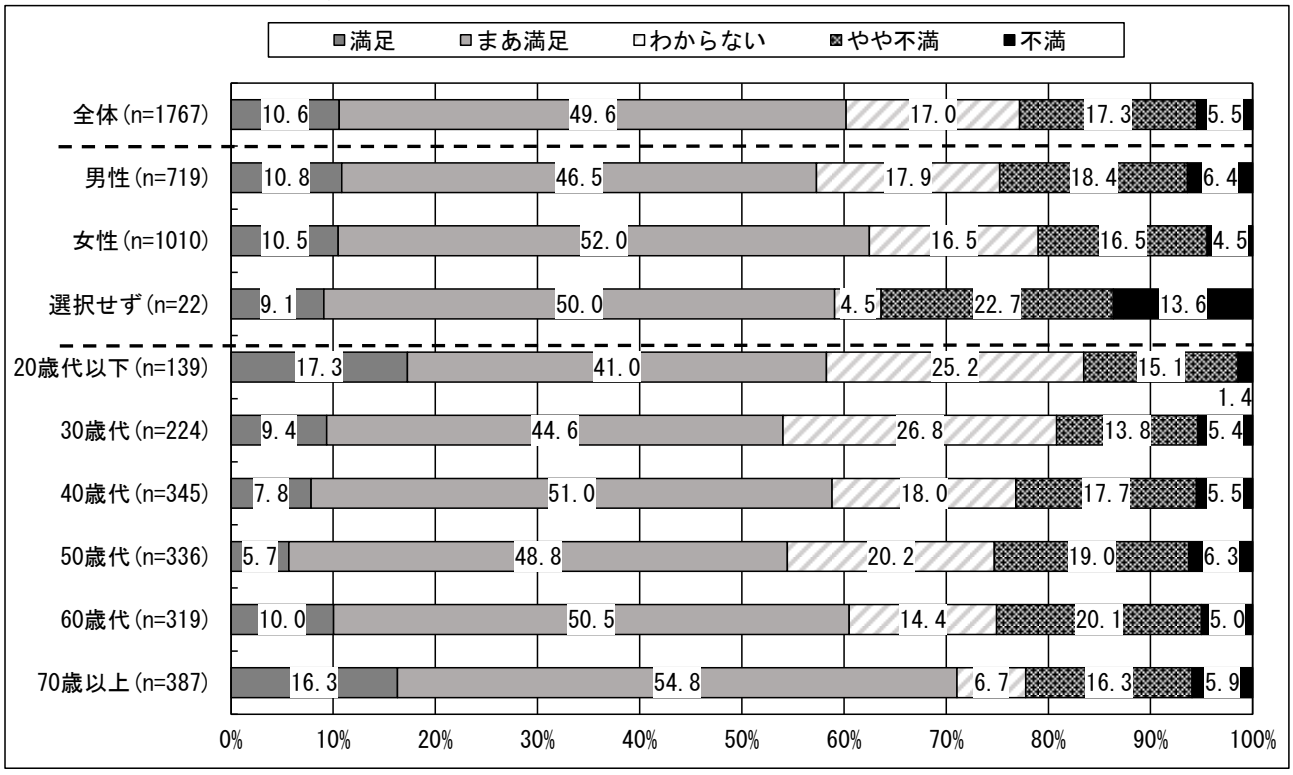
＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 60.2％で、不満（「やや不満」＋「不満」）の 22.8％を大きく上回っているほか、「わからない」が 17.0％となっています。

○ 性別にみると、満足しているは「女性」が 62.5％であり、「男性」の 57.3％を 5.2 ポイント上回っています。

○ 年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「70 歳以上」が 71.1％で最も割合が高く、「60 歳代」が 60.5％でこれに次いでいます。また、年代が上がるほど不満（「やや不満」＋「不満」）の割合が高くなる傾向があります。

図表Ⅲ－２－13　健康・医療施策に対する現在の満足度

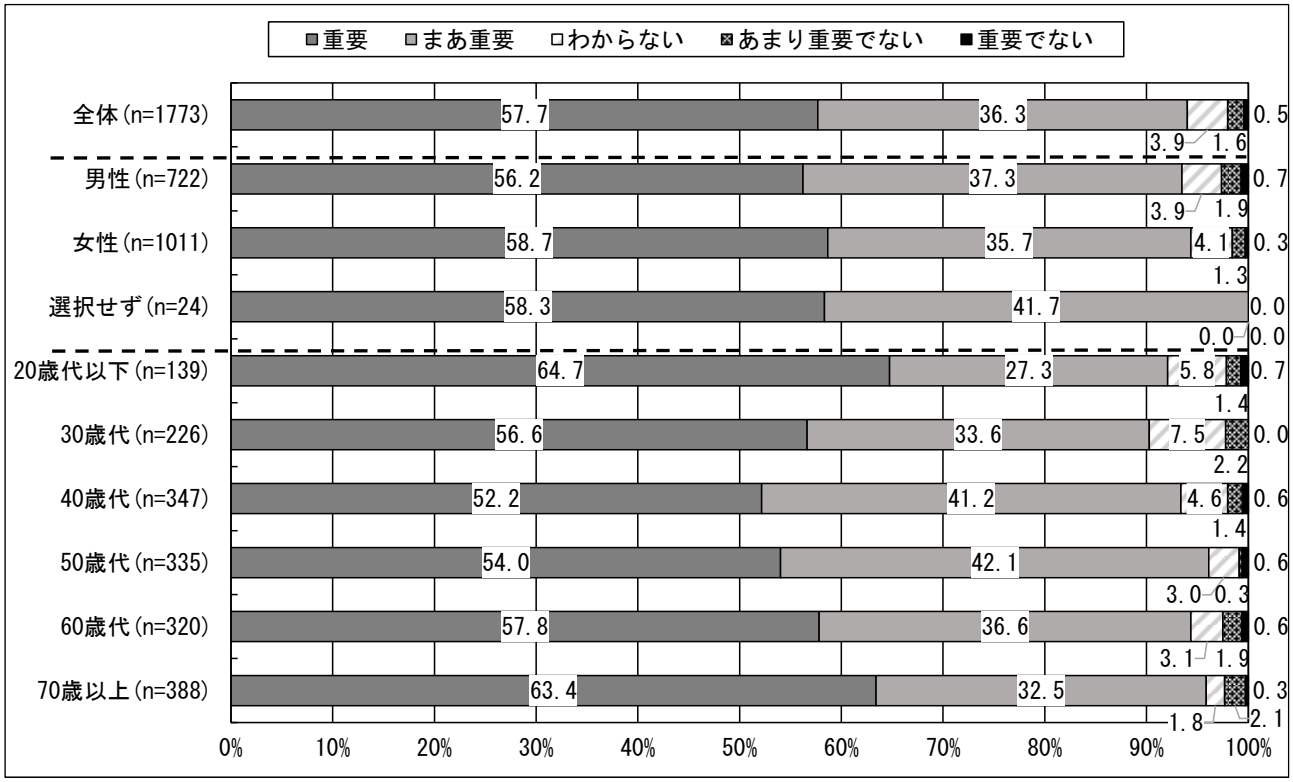


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 94.0%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 2.1%、「わからない」が 3.9%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの年代も割合が 90%を超えています。その中では「70 歳代」が 95.9%で最も割合が高く、「50 歳代」が 96.1%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－14　健康・医療施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「緊急時の救急医療体制」が 53.8%で選ばれた割合が最も高く、次いで「市民病院の機能強化」の 35.5%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「緊急時の救急医療体制」がそれぞれ 54.9%、46.3%で最も高く、「市民病院の機能強化」が 39.1%、43.2%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－15　健康・医療施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

健康・医療に対する現在の満足度		回答数	市民の自主的な健康づくりを促すための啓発活動	がんや脳卒中など生活習慣病の予防対策	健康増進のための施設整備	うつ病などのメンタルヘルス対策	保険・医療サービスに関する情報の提供
全体		1,739	334(19.2%)	361(20.8%)	545(31.3%)	344(19.8%)	561(32.3%)
満足度	満足	179	43(24.0%)	45(25.1%)	40(22.3%)	40(22.3%)	55(30.7%)
	まあ満足	861	182(21.1%)	179(20.8%)	297(34.5%)	169(19.6%)	276(32.1%)
	わからない	286	49(17.1%)	49(17.1%)	81(28.3%)	63(22.0%)	92(32.2%)
	やや不満	304	41(13.5%)	61(20.1%)	101(33.2%)	53(17.4%)	108(35.5%)
	不満	95	19(20.0%)	24(25.3%)	23(24.2%)	14(14.7%)	27(28.4%)
	無回答	14	0(0.0%)	3(21.4%)	3(21.4%)	5(35.7%)	3(21.4%)

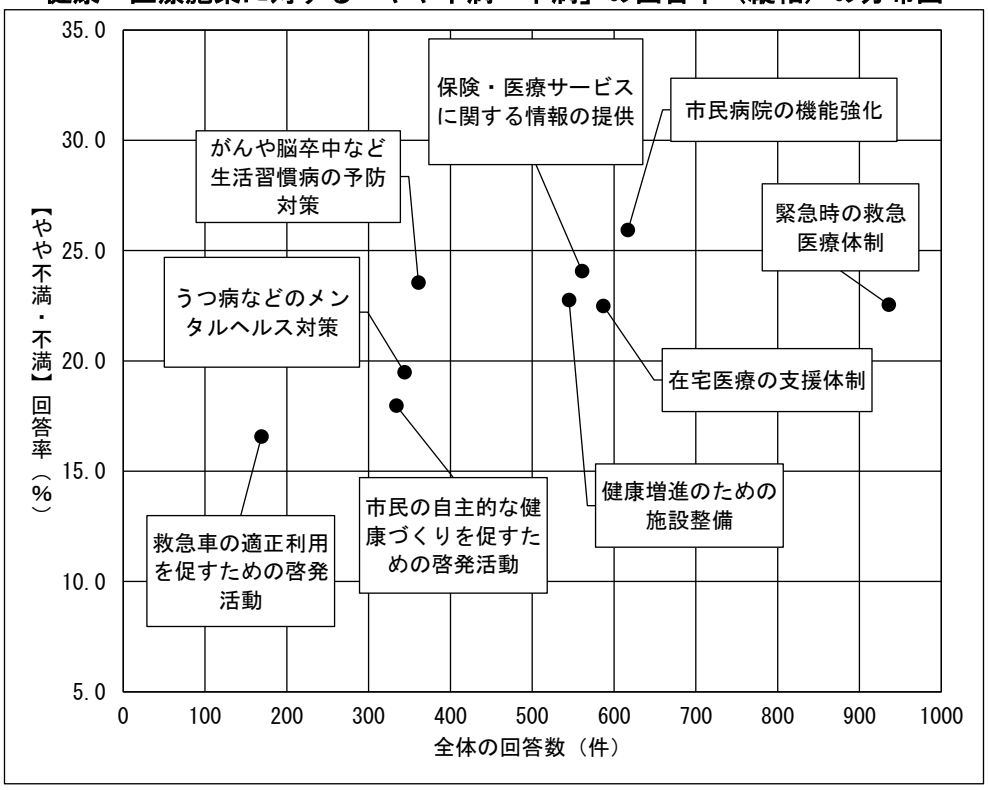
健康・医療に対する現在の満足度		緊急時の救急医療体制	在宅医療の支援体制	市民病院の機能強化	救急車の適正利用を促すための啓発活動	その他
全体		936(53.8%)	587(33.8%)	617(35.5%)	169(9.7%)	75(4.3%)
満足度	満足	88(49.2%)	64(35.8%)	57(31.8%)	23(12.8%)	3(1.7%)
	まあ満足	466(54.1%)	299(34.7%)	306(35.5%)	78(9.1%)	16(1.9%)
	わからない	162(56.6%)	89(31.1%)	89(31.1%)	36(12.6%)	15(5.2%)
	やや不満	167(54.9%)	100(32.9%)	119(39.1%)	23(7.6%)	20(6.6%)
	不満	44(46.3%)	32(33.7%)	41(43.2%)	5(5.3%)	21(22.1%)
	無回答	9(64.3%)	3(21.4%)	5(35.7%)	4(28.6%)	0(0.0%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、健康・医療施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－16　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の健康・医療施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに健康・医療施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

⑤高齢者福祉

市では、高齢者の活動の場の充実、介護予防の促進、元気な高齢者が活躍できる環境づくり、高齢者支援センターの機能の充実、介護施設の整備などに取り組んでいます。

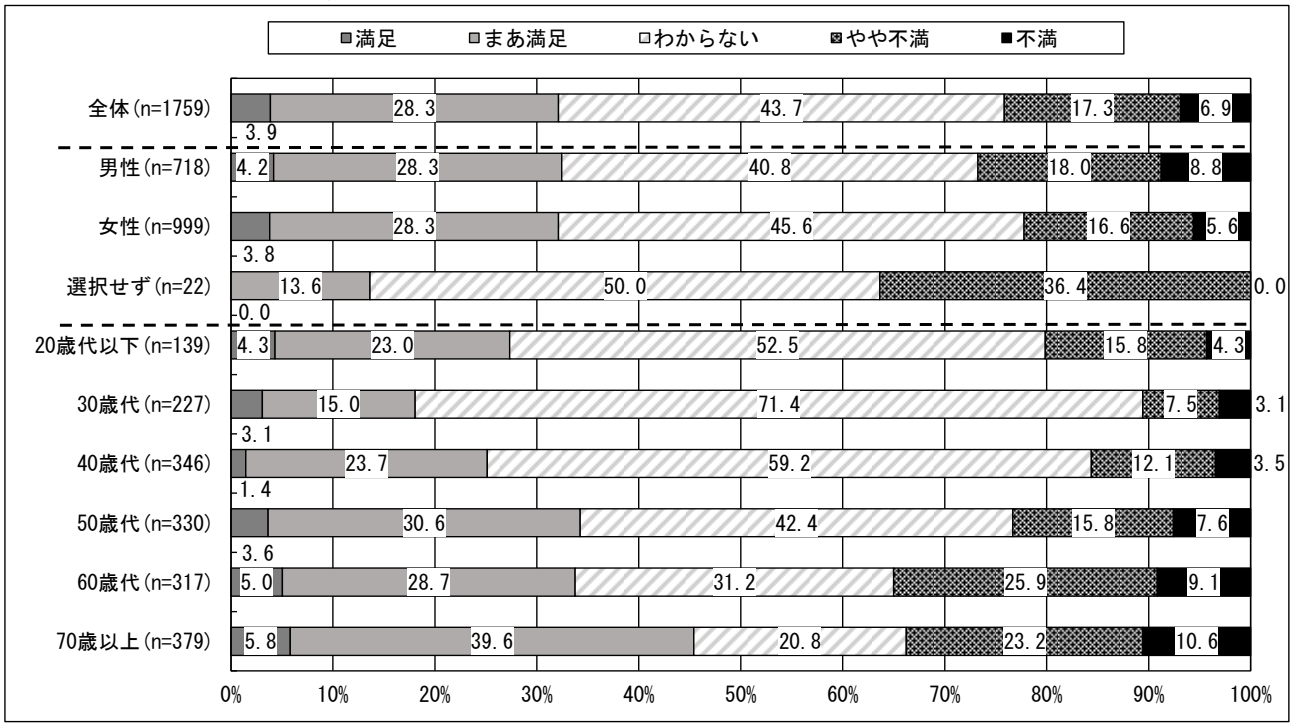
－「70 歳以上」の満足度が、他の年代に比べて割合が高くなっている－

＜満足度＞

○　全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 32.2％で、不満（「やや不満」＋「不満」）の 24.2％を８ポイント上回っていますが、「わからない」が 43.7％で最も割合が高くなっています。

○　年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は「70 歳以上」が 45.4％で最も割合が高く、「50 歳代」が 34.2％でこれに次いでいます。また、「60 歳代」と「70 歳以上」では、他の年代に比べて不満（「やや不満」＋「不満」）の割合が高くなっています。

図表Ⅲ－２－17　高齢者福祉施策に対する現在の満足度

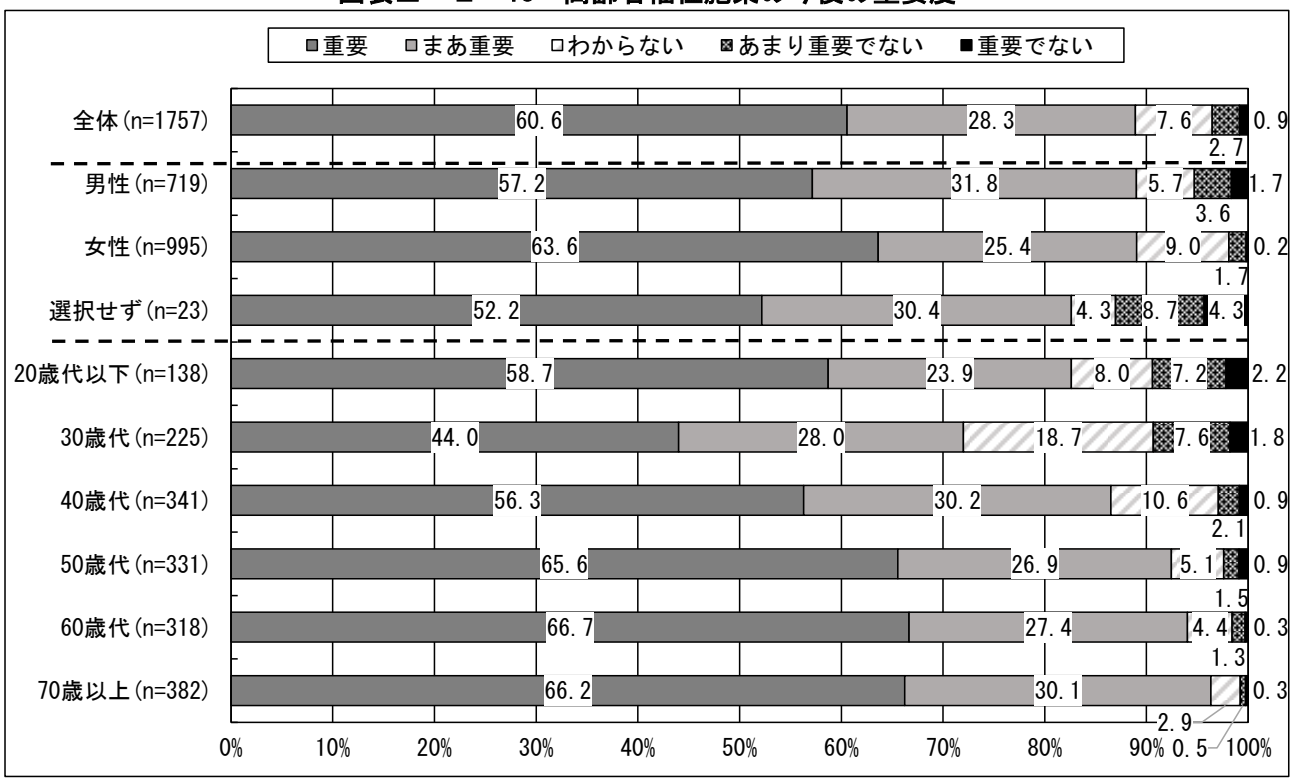


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 88.9%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 3.6%、わからないが 7.6%となっています。

○　年代別にみると、「70 歳以上」が 96.3%で最も割合が高く、「30 歳代」が 72.0%で最も割合が低くなっています。

図表Ⅲ－２－18　高齢者福祉施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「支援が必要な高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援体制」が 44.9%で選ばれた割合が最も高く、次いで「介護人材の確保・育成」の 31.8%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「支援が必要な高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援体制」がそれぞれ 42.5%、38.5%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－２－19　高齢者福祉施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

高齢者福祉に対する現在の満足度		回答数	高齢者の就労支援	高齢者の生きがいづくり	高齢者の心身の健康づくり	支援が必要な高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援体制	介護人材の確保・育成	介護サービスの充実
全体		1,705	523(30.7%)	431(25.3%)	413(24.2%)	765(44.9%)	542(31.8%)	506(29.7%)
満足度	満足	62	25(40.3%)	20(32.3%)	21(33.9%)	22(35.5%)	14(22.6%)	17(27.4%)
	まあ満足	491	133(27.1%)	137(27.9%)	140(28.5%)	220(44.8%)	150(30.5%)	121(24.6%)
	わからない	711	235(33.1%)	176(24.8%)	159(22.4%)	340(47.8%)	240(33.8%)	228(32.1%)
	やや不満	299	90(30.1%)	72(24.1%)	57(19.1%)	127(42.5%)	97(32.4%)	89(29.8%)
	不満	117	34(29.1%)	20(17.1%)	29(24.8%)	45(38.5%)	37(31.6%)	44(37.6%)
	無回答	25	6(24.0%)	6(24.0%)	7(28.0%)	11(44.0%)	4(16.0%)	7(28.0%)

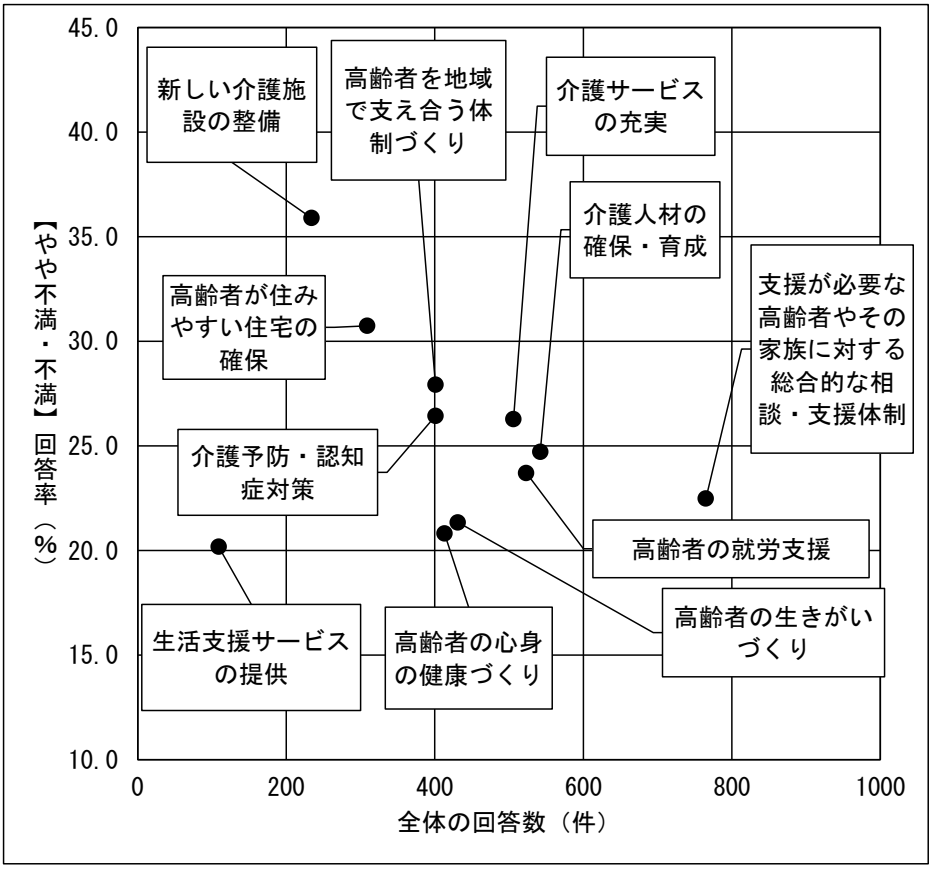
高齢者福祉に対する現在の満足度		ごみ出しなどの生活支援サービスの提供	高齢者が住みやすい住宅の確保	高齢者を地域で支え合う体制づくり	介護予防・認知症対策	新しい介護施設の整備	その他
全体		109(6.4%)	309(18.1%)	401(23.5%)	401(23.5%)	234(13.7%)	43(2.5%)
満足度	満足	3(4.8%)	9(14.5%)	13(21.0%)	23(37.1%)	4(6.5%)	0(0.0%)
	まあ満足	31(6.3%)	95(19.3%)	140(28.5%)	105(21.4%)	70(14.3%)	4(0.8%)
	わからない	52(7.3%)	106(14.9%)	128(18.0%)	161(22.6%)	72(10.1%)	20(2.8%)
	やや不満	16(5.4%)	67(22.4%)	85(28.4%)	79(26.4%)	56(18.7%)	11(3.7%)
	不満	6(5.1%)	28(23.9%)	27(23.1%)	27(23.1%)	28(23.9%)	5(4.3%)
	無回答	1(4.0%)	4(16.0%)	8(32.0%)	6(24.0%)	4(16.0%)	3(12.0%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、高齢者福祉施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選

図表Ⅲ－２－20　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の高齢者福祉施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに高齢者福祉施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

⑥障がい者福祉

市では、障がい者の就労支援、一時預かりの充実、介護者同士の交流の場の設置、障がい者支援センターの運営などに取り組んでいます。

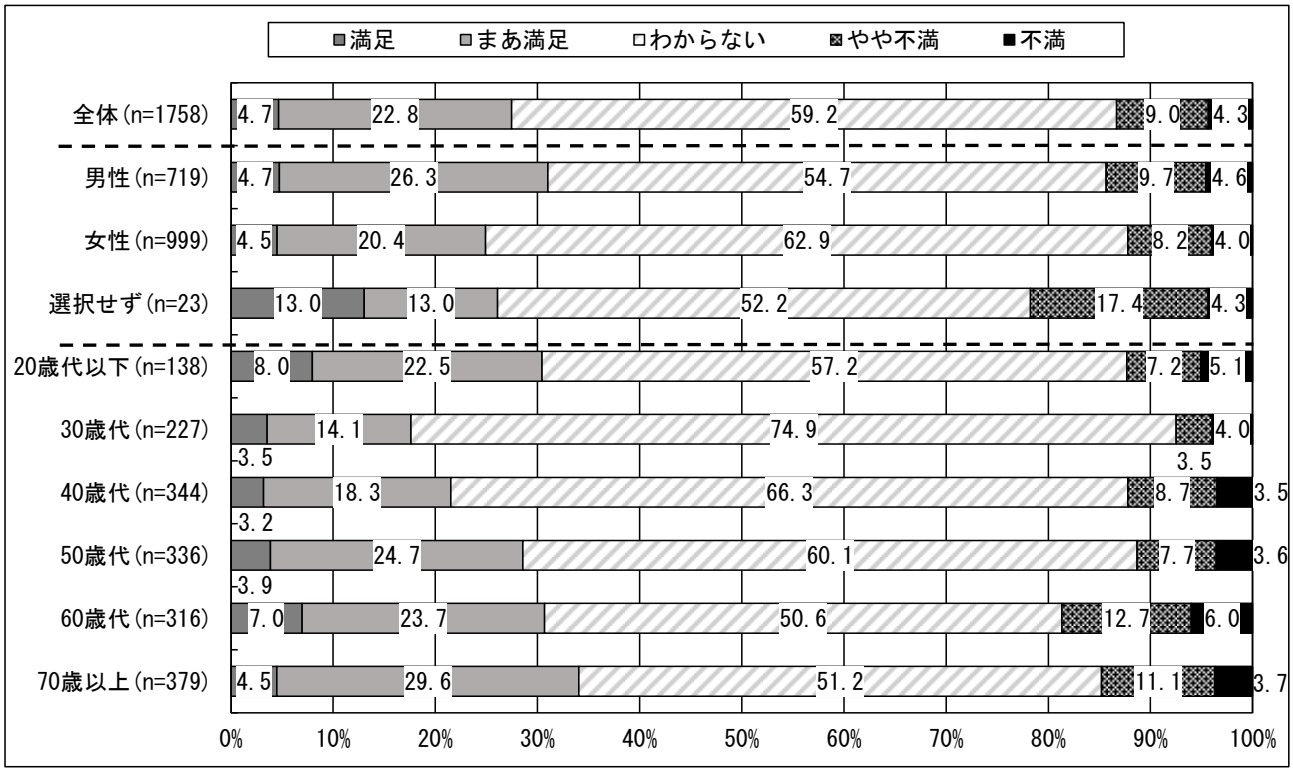
－今後、特に力を入れてほしい取組について、
「障がい者の就労支援」の回答数が最も多いほか、
「やや不満」や「不満」の回答者から選ばれた割合では、
「障がい者への理解の促進及び差別解消の推進」の回答率が高い－

＜満足度＞

○　全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 27.5%、不満（「やや不満」＋「不満」）が 13.3%、「わからない」が 59.2%で最も割合が高くなっています。

○　年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「70 歳以上」が 34.1%で最も割合が高く、「60 歳代」が 30.7%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－21　障がい者福祉施策に対する現在の満足度

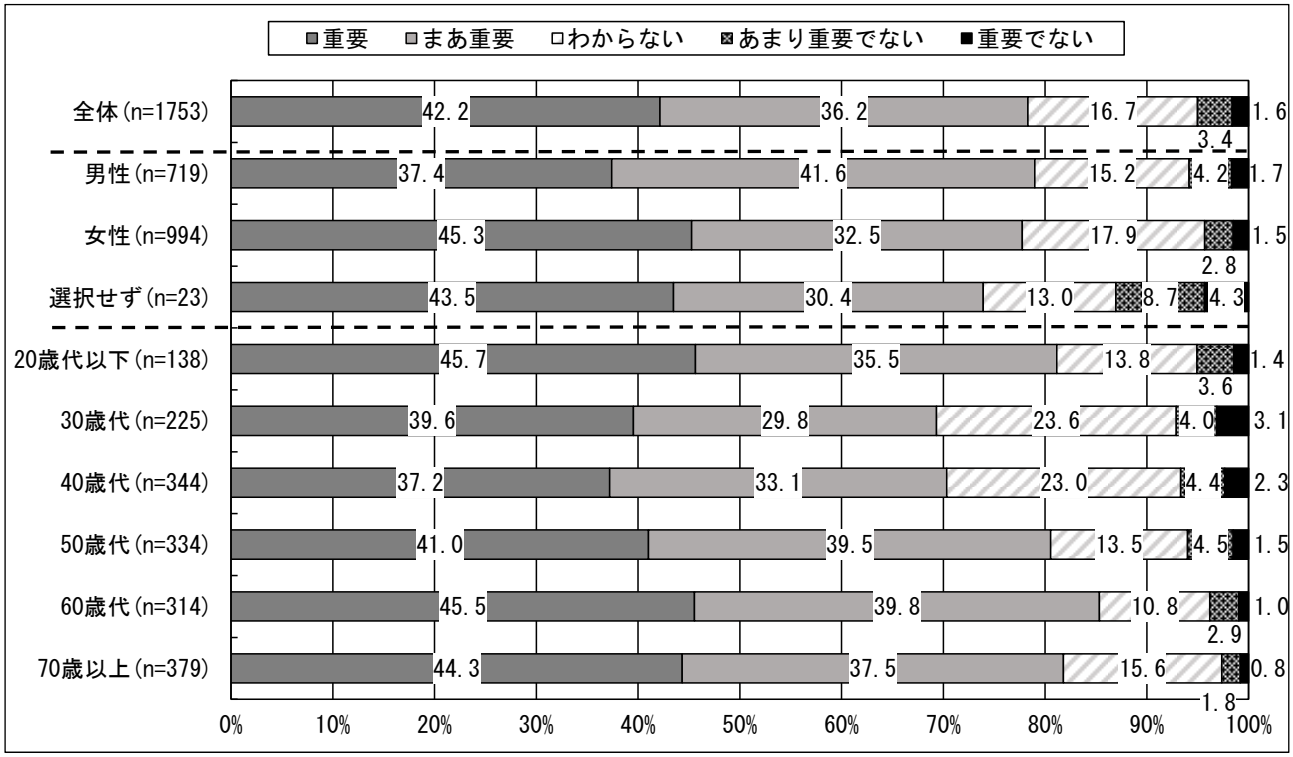


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 78.4%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 5.0%、「わからない」が 16.7%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの年代も割合が概ね 70%を超えており、その中でも「60 歳代」が 85.3%で最も高く、「30 歳代」が 69.4%で最も低くなっています。

図表Ⅲ－２－22　障がい者福祉施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「障がい者の就労支援」が 41.5%で選ばれた割合が最も高く、次いで「障がい者への理解の促進及び差別解消の推進」の 28.6%）となっています。

○　満足度別にみると、「やや不満」で選ばれた割合は、「障がい者への理解の促進及び差別解消の推進」が 44.4%、「不満」で選ばれた割合は、「障がい者の就労支援」が 46.0%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－２－23　障がい者福祉施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

障がい者福祉に対する現在の満足度		回答数	障がい者の就労支援	在宅での福祉サービス	障がい者やその家族からの相談体制	障がい者の虐待防止対策
全体		1,358	563(41.5%)	197(14.5%)	344(25.3%)	134(9.9%)
満足度	満足	69	35(50.7%)	17(24.6%)	19(27.5%)	8(11.6%)
	まあ満足	328	143(43.6%)	46(14.0%)	68(20.7%)	38(11.6%)
	わからない	754	295(39.1%)	106(14.1%)	214(28.4%)	72(9.5%)
	やや不満	133	58(43.6%)	20(15.0%)	29(21.8%)	10(7.5%)
	不満	63	29(46.0%)	6(9.5%)	12(19.0%)	4(6.3%)
	無回答	11	3(27.3%)	2(18.2%)	2(18.2%)	2(18.2%)

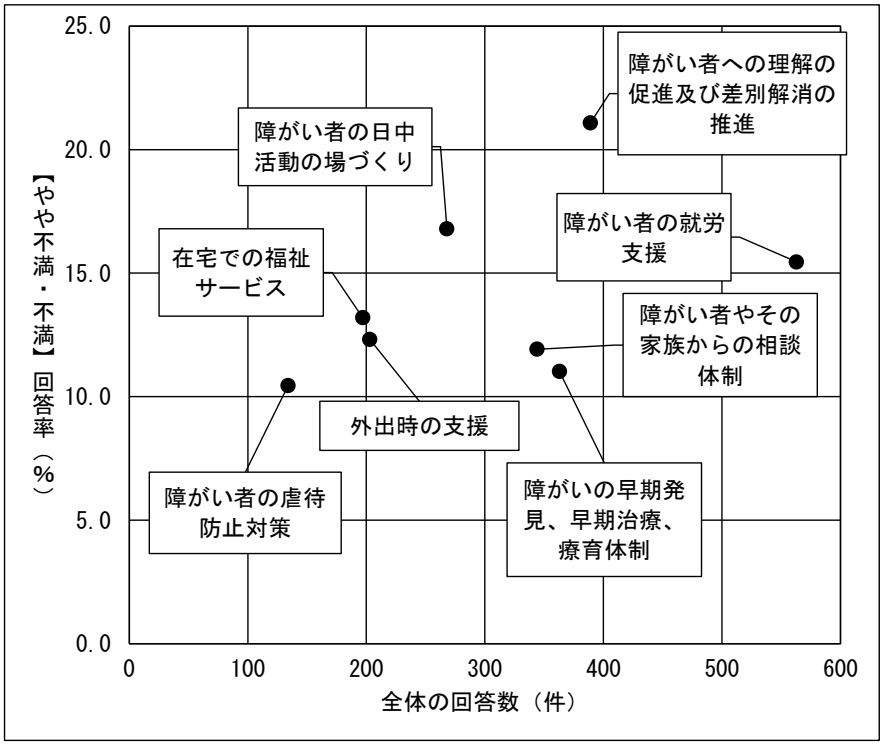
障がい者福祉に対する現在の満足度		障がいの早期発見、早期治療、療育体制	外出時の支援	障がい者への理解の促進及び差別解消の推進	障がい者の日中活動の場づくり	その他
全体		363(26.7%)	203(14.9%)	389(28.6%)	268(19.7%)	39(2.9%)
満足度	満足	14(20.3%)	13(18.8%)	11(15.9%)	7(10.1%)	0(0.0%)
	まあ満足	93(28.4%)	49(14.9%)	90(27.4%)	81(24.7%)	6(1.8%)
	わからない	211(28.0%)	114(15.1%)	203(26.9%)	134(17.8%)	19(2.5%)
	やや不満	27(20.3%)	18(13.5%)	59(44.4%)	27(20.3%)	6(4.5%)
	不満	13(20.6%)	7(11.1%)	23(36.5%)	18(28.6%)	8(12.7%)
	無回答	5(45.5%)	2(18.2%)	3(27.3%)	1(9.1%)	0(0.0%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、障がい者福祉施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（Ｐ15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－24　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の障がい者福祉施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに障がい者福祉施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（Ｐ17 を参照）

⑦地域福祉

市では、地域福祉の担い手を増やすため、地域で支え合うことができる福祉の促進などに取り組んでいます。

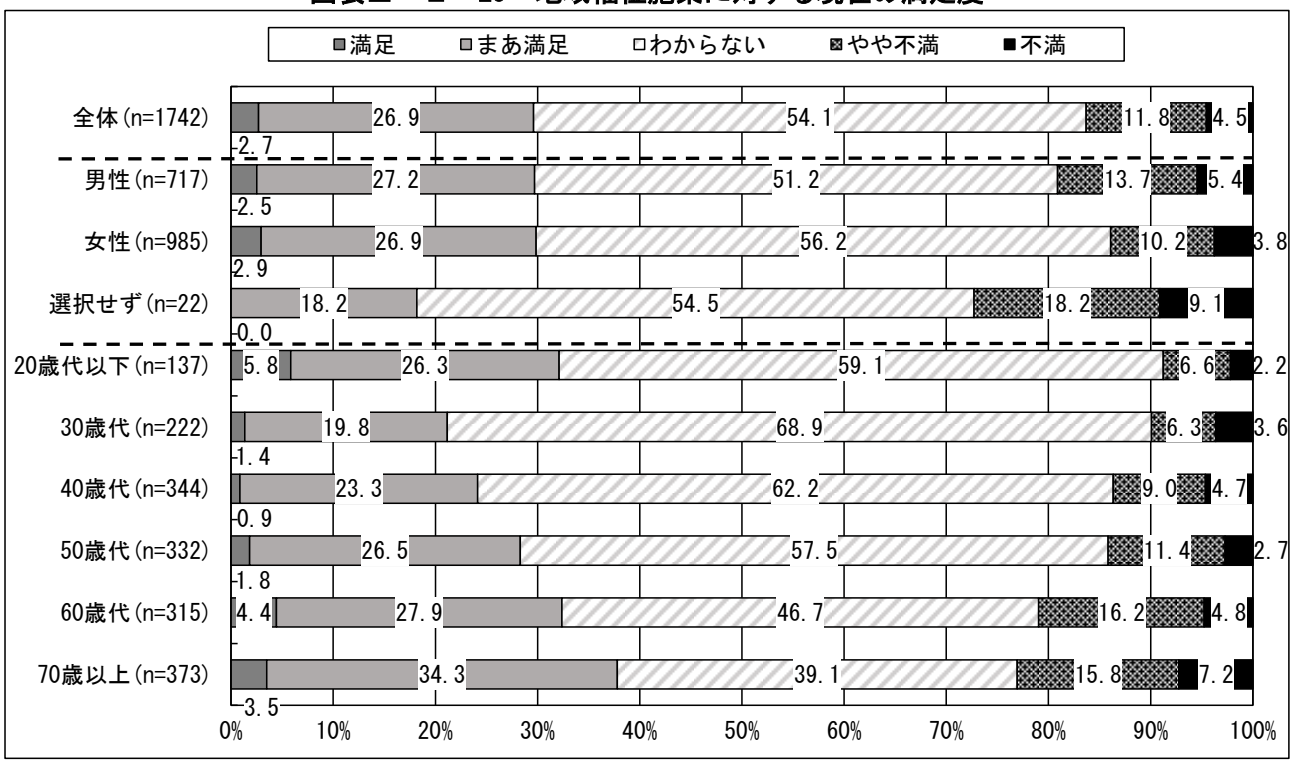
－今後力を入れてほしい取組みでは、「地域での見守り・声かけ活動の支援」の回答数が最も多くなっている－

＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 29.6％で、不満（「やや不満」＋「不満」）の 16.3％を上回っていますが、「わからない」が 54.1％で最も割合が高くなっています。

○ 年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「70 歳以上」が 37.8％で最も割合が高く、「60 歳代」が 32.3％でこれに次いでいるほか、30 歳以上では年代が上がるほど満足（「満足」＋「やや満足」）と不満（「やや不満」＋「不満」）両方の割合が高くなっています。

図表Ⅲ－２－25　地域福祉施策に対する現在の満足度

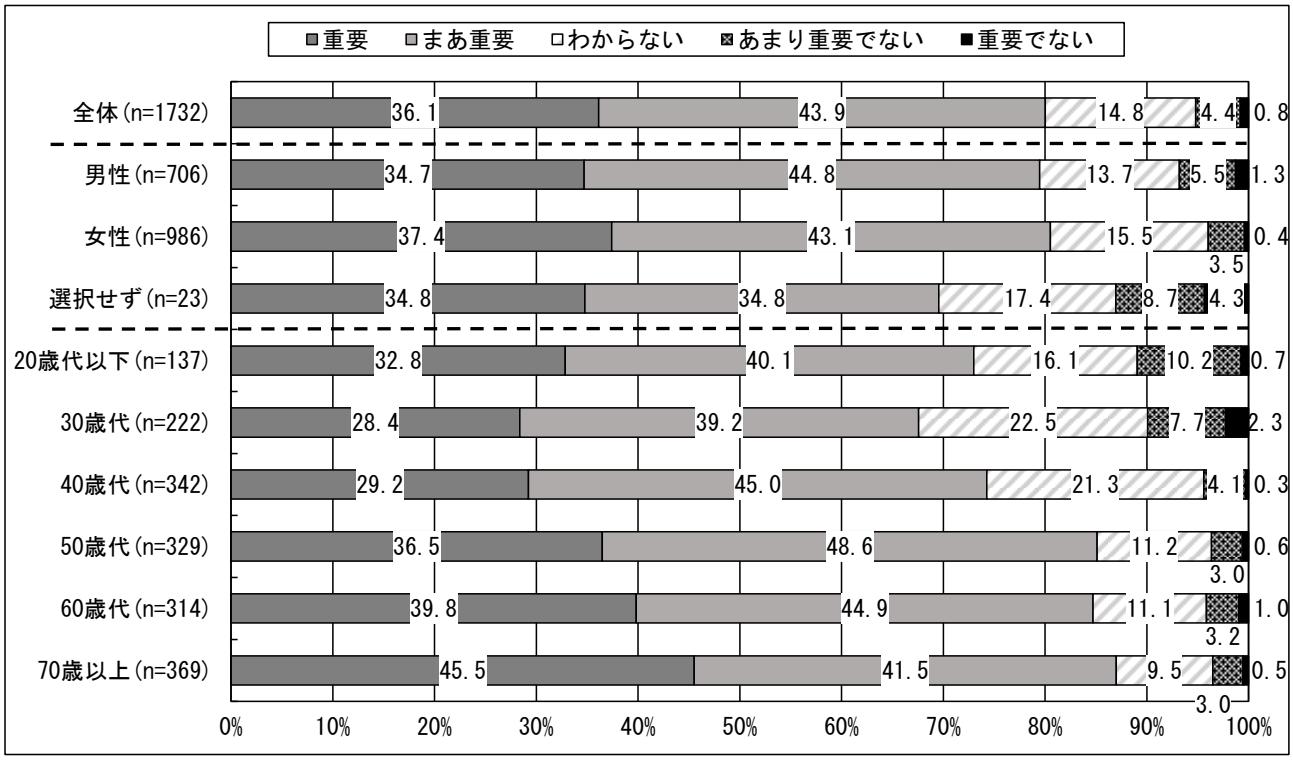


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 80.0%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 5.2%、「わからない」が 14.8%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）はいずれの年代も概ね 70%を超えており、その中では「70 歳以上」が 87.0%で最も割合が高く、「30 歳代」が 67.6%で最も割合が低くなっています。

図表Ⅲ－２－26　地域福祉施策の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「地域での見守り・声かけ活動の支援」が 37.3%で選ばれた割合が最も高く、次いで「生活困窮者の自立支援」の 30.7%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」で選ばれた割合は、「地域での見守り・声かけ活動の支援」が 40.3%で最も高いほか、「不満」で選ばれた割合は、「生活困窮者の自立支援」が 44.1%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－２－27　地域福祉施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

地域福祉に対する現在の満足度		回答数	地域課題の解決に取り組んでいる市民活動団体への支援	ボランティアの育成・活動の支援	市民活動団体やボランティア団体に関する情報提供	生活困窮者の自立支援
全体		1,487	348(23.4%)	405(27.2%)	322(21.7%)	457(30.7%)
満足度	満足	38	8(21.1%)	12(31.6%)	6(15.8%)	12(31.6%)
	まあ満足	420	112(26.7%)	121(28.8%)	89(21.2%)	125(29.8%)
	わからない	745	163(21.9%)	198(26.6%)	158(21.2%)	229(30.7%)
	やや不満	186	44(23.7%)	52(28.0%)	49(26.3%)	50(26.9%)
	不満	68	15(22.1%)	14(20.6%)	11(16.2%)	30(44.1%)
	無回答	30	6(20.0%)	8(26.7%)	9(30.0%)	11(36.7%)

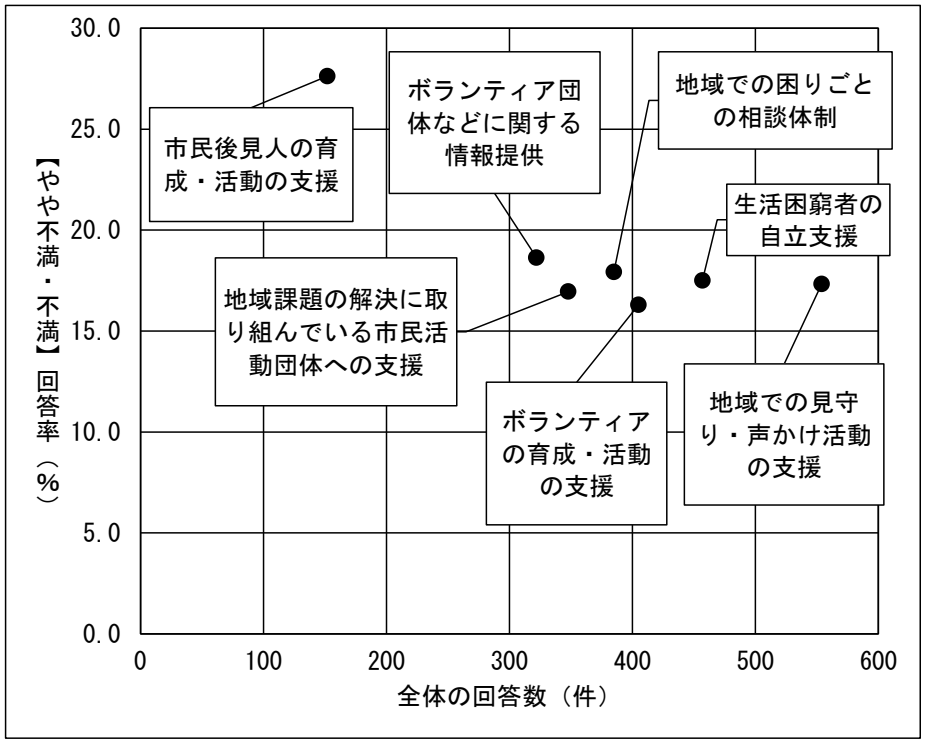
地域福祉に対する現在の満足度		市民後見人の育成・活動の支援	地域での見守り・声かけ活動の支援	地域での困りごとの相談体制	その他
全体		152(10.2%)	554(37.3%)	385(25.9%)	19(1.3%)
満足度	満足	3(7.9%)	15(39.5%)	9(23.7%)	1(2.6%)
	まあ満足	40(9.5%)	173(41.2%)	104(24.8%)	1(0.2%)
	わからない	64(8.6%)	260(34.9%)	192(25.8%)	11(1.5%)
	やや不満	31(16.7%)	75(40.3%)	49(26.3%)	3(1.6%)
	不満	11(16.2%)	21(30.9%)	20(29.4%)	3(4.4%)
	無回答	3(10.0%)	10(33.3%)	11(36.7%)	0(0.0%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、地域福祉施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（Ｐ15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－28　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の地域福祉施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに地域福祉施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（Ｐ17 を参照）

市民生活

⑧地域コミュニティ

市では、地域の活動に参加するきっかけづくり、市民活動の相談窓口の充実、地域の人々が集まって活動できる場の確保などに取り組んでいます。

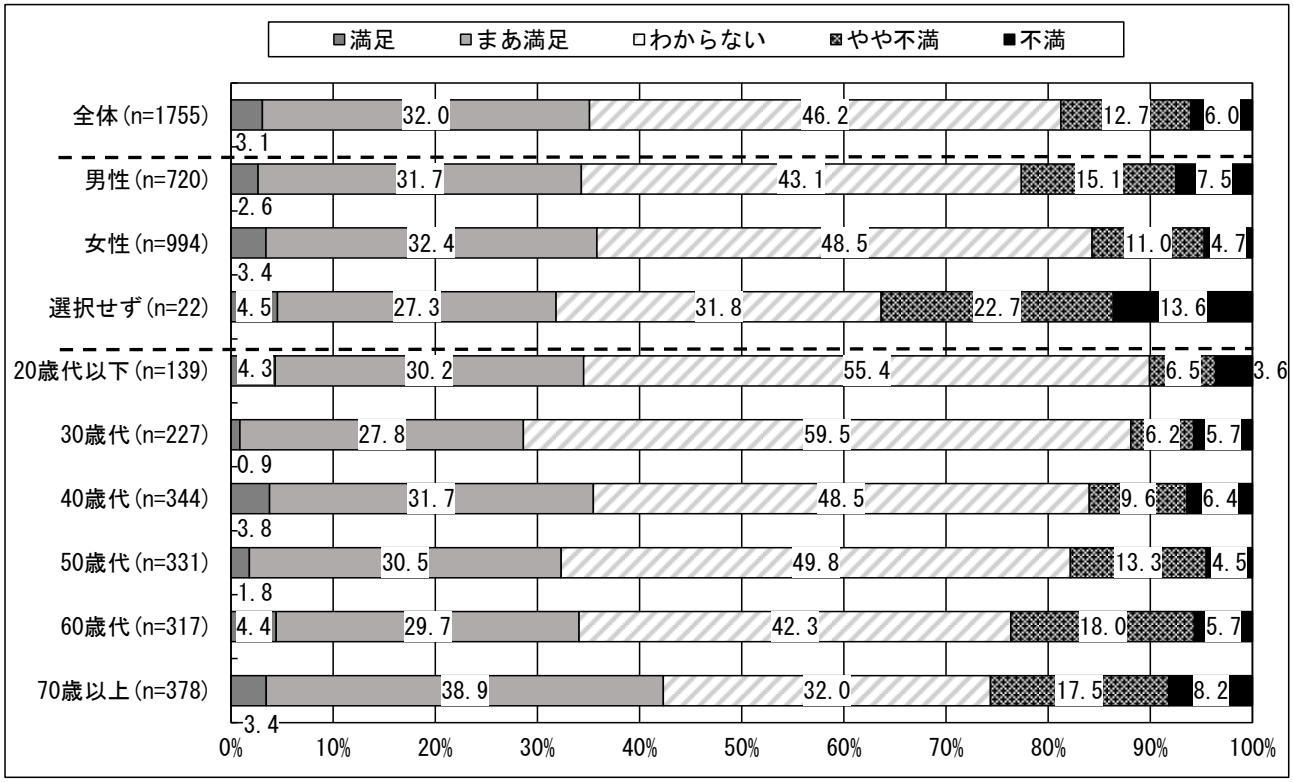
－今後力を入れてほしい取組みでは、「若い世代が市民活動に参加するためのきっかけづくり」の回答数が最も多くなっている－

＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 35.1%であり、不満（「やや不満」＋「不満」）の 18.7%を大きく上回っていますが、「わからない」が 46.2%で最も割合が高くなっています。

○ 年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「70 歳以上」が 42.3%で最も割合が高く、「40 歳代」が 35.5%でこれに次いでいます。また、年代が上がるほど不満（「やや不満」＋「不満」）の割合が高くなっています。

図表Ⅲ－２－29　地域コミュニティ施策に対する現在の満足度

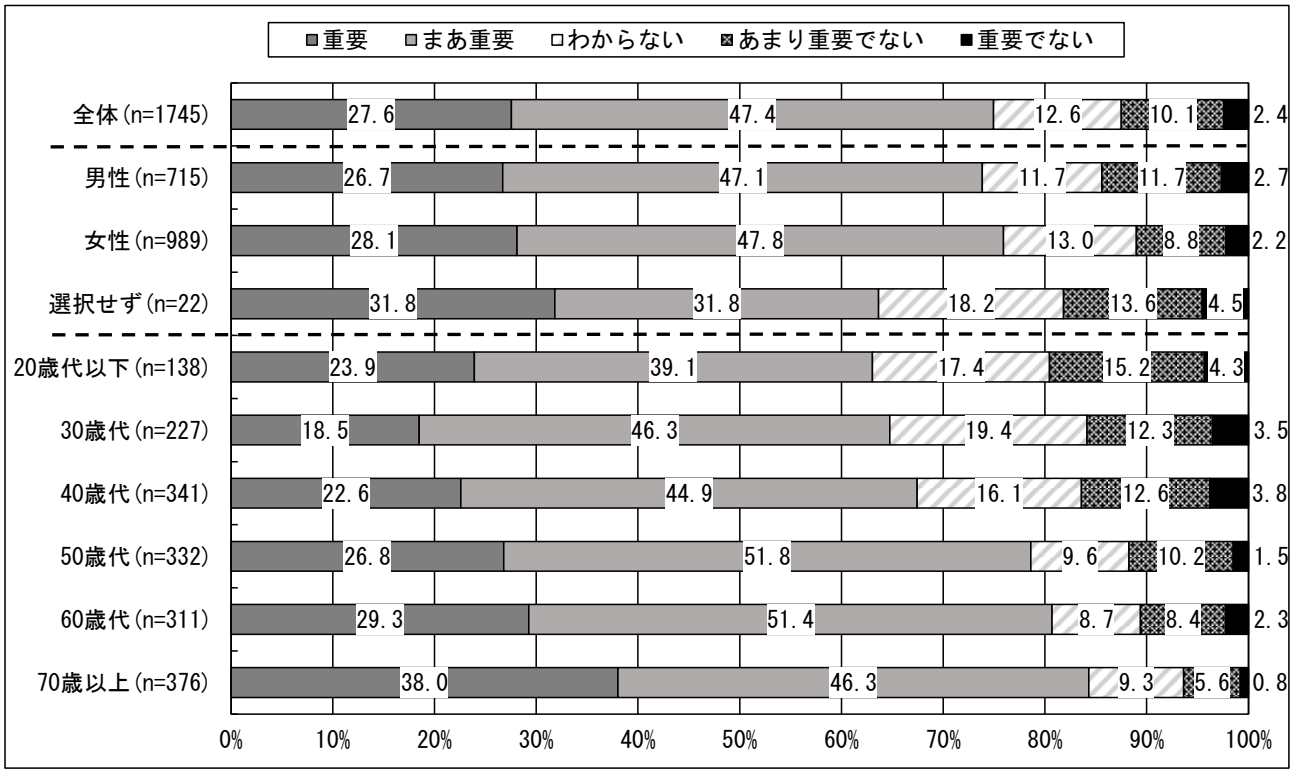


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 75.0%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 12.5%、「わからない」が 12.6%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの年代も 60%を超えているほか、「20 歳代以下」の 63.0%から、「70 歳以上」の 84.3%へと年代が上がるほど割合が高くなっています。また、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）は、年代が上がるほど割合が低くなる傾向があります。

図表Ⅲ－２－31　地域コミュニティ施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「若い世代が市民活動に参加するためのきっかけづくり」が 44.9%で選ばれた割合が最も高く、次いで「市民活動に関する情報提供の充実」の 36.1%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「若い世代が市民活動に参加するためのきっかけづくり」がそれぞれ 44.3%、50.0%で最も多く、「市民活動に関する情報提供の充実」が 40.9%、41.1%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－31　地域コミュニティ施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

地域コミュニティに対する現在の満足度		回答数	町内会・自治会が取り組む各種活動への支援	若い世代が市民活動に参加するためのきっかけづくり	ボランティア・NPOと行政との連携強化
全体		1,420	417(29.4%)	638(44.9%)	241(17.0%)
満足度	満足	42	19(45.2%)	22(52.4%)	7(16.7%)
	まあ満足	496	177(35.7%)	224(45.2%)	88(17.7%)
	わからない	566	145(25.6%)	248(43.8%)	100(17.7%)
	やや不満	203	51(25.1%)	90(44.3%)	32(15.8%)
	不満	90	20(22.2%)	45(50.0%)	11(12.2%)
	無回答	23	5(21.7%)	9(39.1%)	3(13.0%)

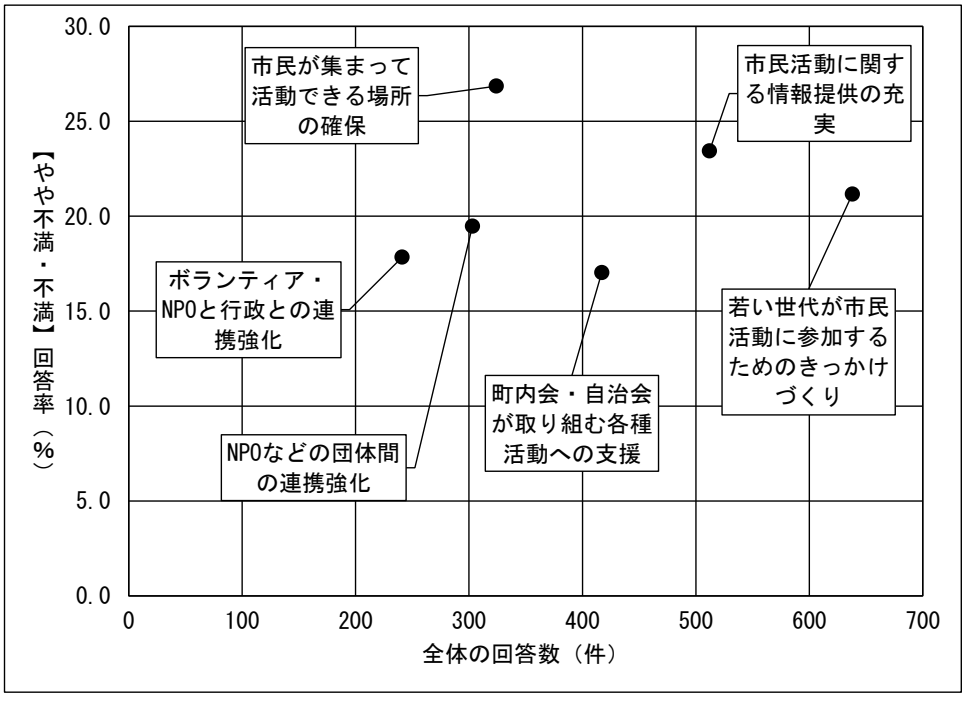
地域コミュニティに対する現在の満足度		町内会・自治会やボランティア・NPOなどの団体間の連携強化	市民が集まって活動できる場所の確保	市民活動に関する情報提供の充実	その他
全体		303(21.3%)	324(22.8%)	512(36.1%)	43(3.0%)
満足度	満足	12(28.6%)	6(14.3%)	11(26.2%)	0(0.0%)
	まあ満足	105(21.2%)	121(24.4%)	150(30.2%)	7(1.4%)
	わからない	119(21.0%)	103(18.2%)	224(39.6%)	15(2.7%)
	やや不満	46(22.7%)	60(29.6%)	83(40.9%)	10(4.9%)
	不満	13(14.4%)	27(30.0%)	37(41.1%)	10(11.1%)
	無回答	8(34.8%)	7(30.4%)	7(30.4%)	1(4.3%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、地域コミュニティ施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（Ｐ15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－32　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の地域コミュニティ施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに地域コミュニティ施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（Ｐ17 を参照）

⑨防災

市では、市民の防災意識の向上、減災対策の推進、市民と防災情報を共有する仕組みづくり、災害時の都市復興マニュアルの策定などに取り組んでいます。

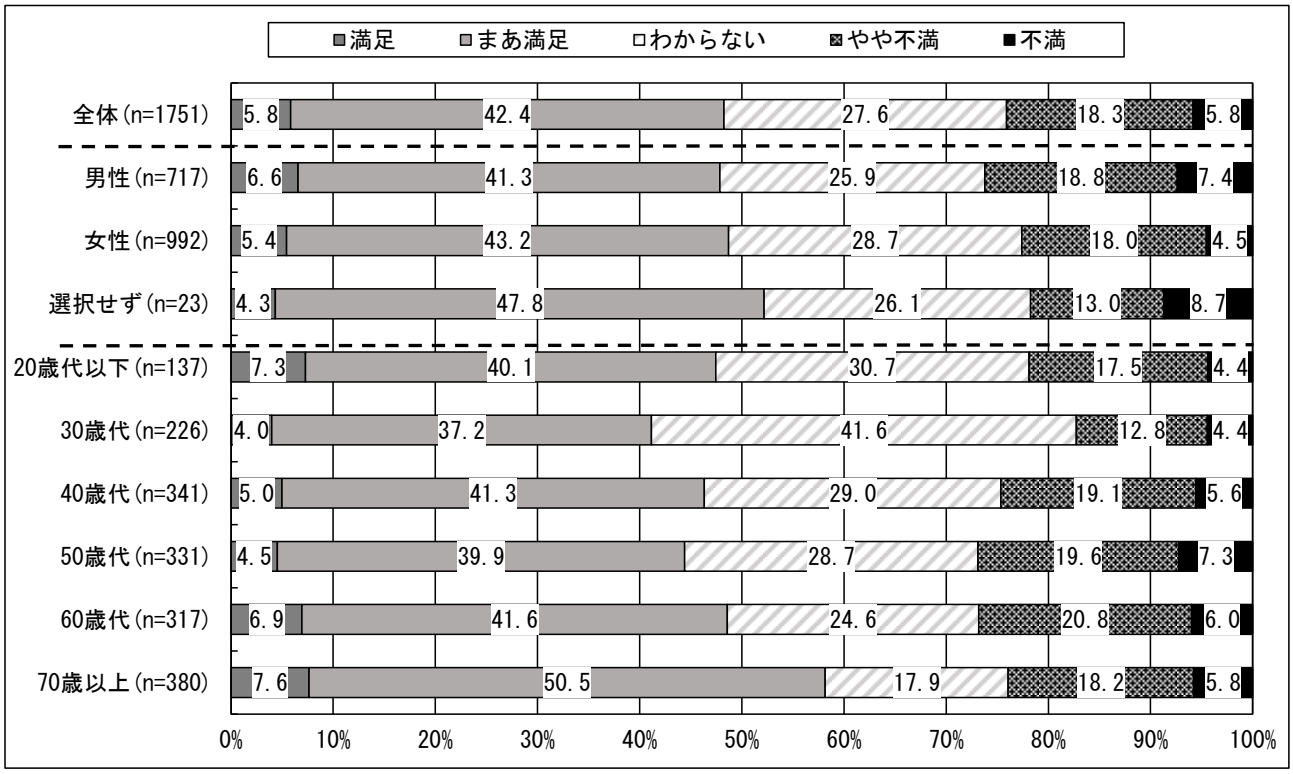
－今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「道路や下水道などのインフラの耐震化」の回答数が特に多くなっている－

＜満足度＞

○　全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 48.2%であり、不満（「やや不満」＋「不満」）の 24.1%を大きく上回っているほか、「わからない」が 27.6%となっています。

○　年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「70 歳以上」が 58.1%で最も割合が高く、「60 歳代」が 48.5%でこれに次いでいます。

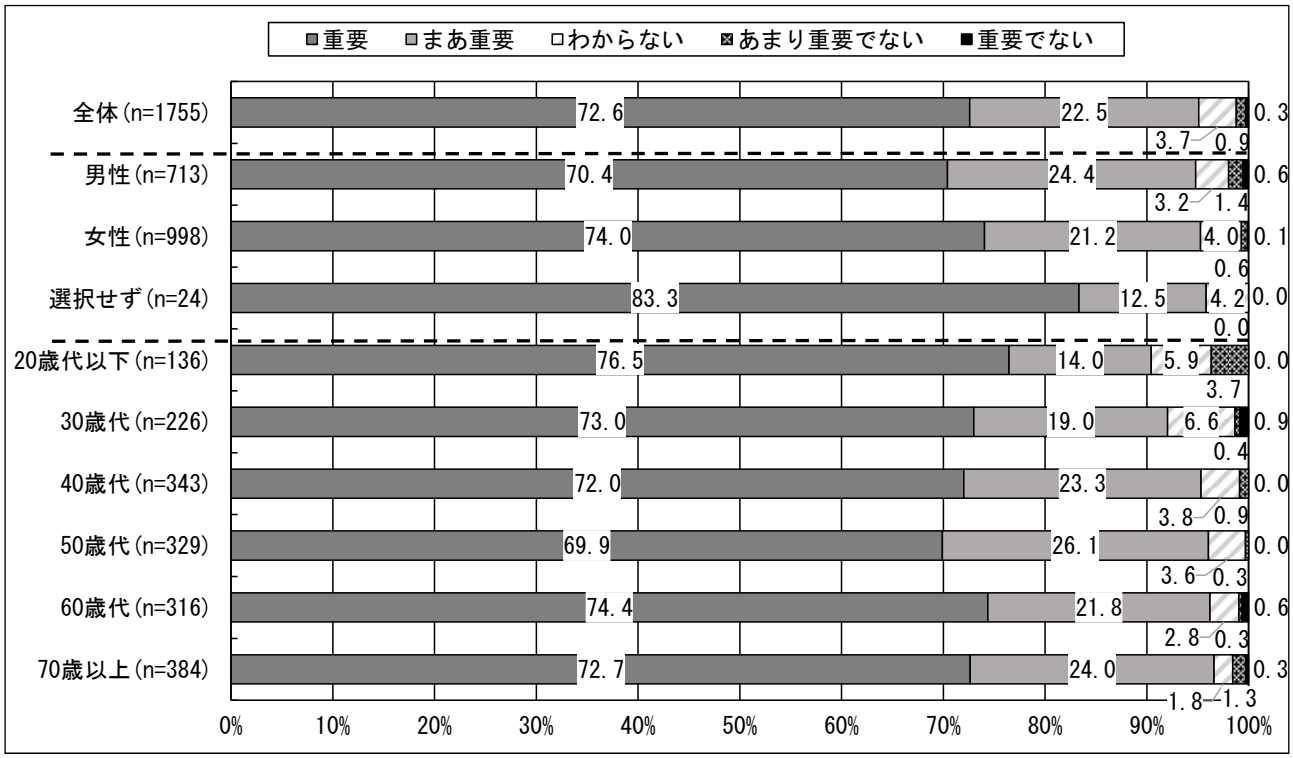
図表Ⅲ－２－33　防災施策に対する現在の満足度



＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 95.1%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 1.2%、わからないが 3.7%となっています。また、年代別にみても、重要（「重要」＋「まあ重要」）はいずれの年代も割合が 90%台となっています。

図表Ⅲ－２－34　防災施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「道路や下水道などのインフラの耐震化」が 51.9%で選ばれた割合が最も高く、次いで「防災拠点、避難場所などの整備」の 40.0%となっています。

○　満足度別にみると、「やや不満」で選ばれた割合は、「防災拠点、避難場所などの整備」が 48.3%で最も高く、「道路や下水道などのインフラの耐震化」が 47.6%でこれに次いでいます。また、「不満」で選ばれた割合は、「避難所の運営体制の整備」、「防災拠点、避難場所などの整備」が 44.4%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－２－35　防災施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

防災に対する現在の満足度		回答数	地域での自主的な防災活動をけん引する自主防災リーダーの育成	自主防災組織の育成・活動の支援	市民の防災意識を高めるための啓発活動	実践的な防災訓練	避難所の運営体制の整備
全体		1,724	266(15.4%)	303(17.6%)	346(20.1%)	258(15.0%)	655(38.0%)
満足度	満足	96	27(28.1%)	20(20.8%)	24(25.0%)	12(12.5%)	26(27.1%)
	まあ満足	728	125(17.2%)	147(20.2%)	157(21.6%)	108(14.8%)	274(37.6%)
	わからない	454	49(10.8%)	61(13.4%)	74(16.3%)	60(13.2%)	171(37.7%)
	やや不満	315	48(15.2%)	51(16.2%)	66(21.0%)	58(18.4%)	131(41.6%)
	不満	99	15(15.2%)	17(17.2%)	16(16.2%)	18(18.2%)	44(44.4%)
	無回答	32	2(6.3%)	7(21.9%)	9(28.1%)	2(6.3%)	9(28.1%)

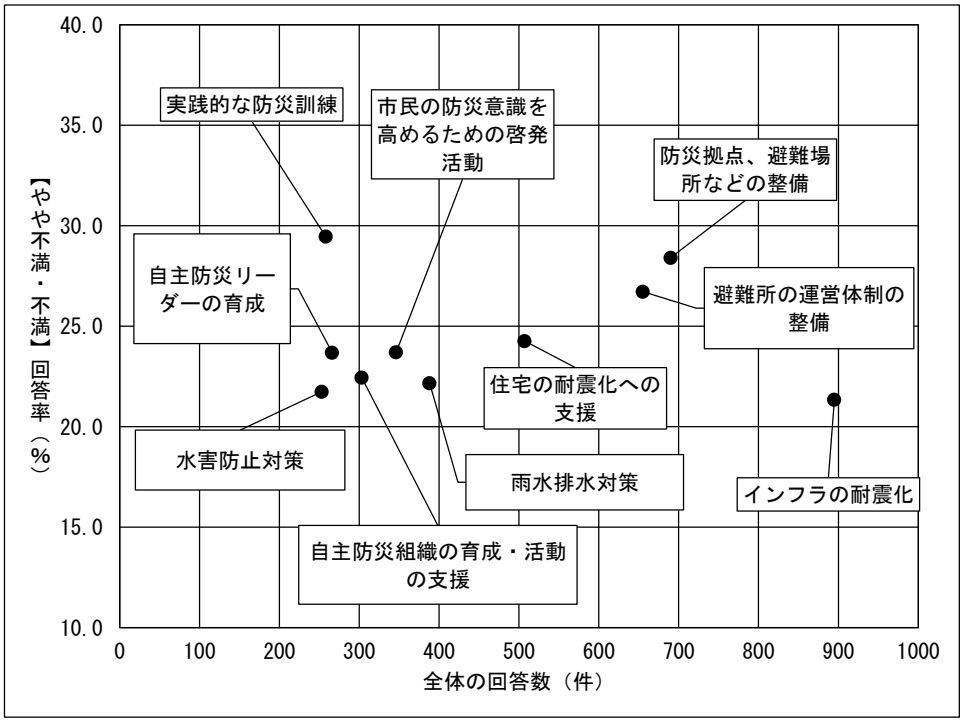
防災に対する現在の満足度		住宅の耐震化への支援	道路や下水道などのインフラの耐震化	防災拠点、避難場所などの整備	河川改修などによる水害防止対策	局所的な集中豪雨に対する雨水排水対策	その他
全体		507(29.4%)	895(51.9%)	690(40.0%)	253(14.7%)	388(22.5%)	47(2.7%)
満足度	満足	24(25.0%)	51(53.1%)	35(36.5%)	14(14.6%)	20(20.8%)	1(1.0%)
	まあ満足	212(29.1%)	376(51.6%)	254(34.9%)	106(14.6%)	168(23.1%)	9(1.2%)
	わからない	142(31.3%)	261(57.5%)	189(41.6%)	74(16.3%)	107(23.6%)	11(2.4%)
	やや不満	91(28.9%)	150(47.6%)	152(48.3%)	42(13.3%)	68(21.6%)	12(3.8%)
	不満	32(32.3%)	41(41.4%)	44(44.4%)	13(13.1%)	18(18.2%)	12(12.1%)
	無回答	6(18.8%)	16(50.0%)	16(50.0%)	4(12.5%)	7(21.9%)	2(6.3%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、防災施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（Ｐ15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－36　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の防災施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに防災施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（Ｐ17 を参照）

⑩防犯

市では、防犯対策の推進や迷惑行為の防止などに取り組んでいます。

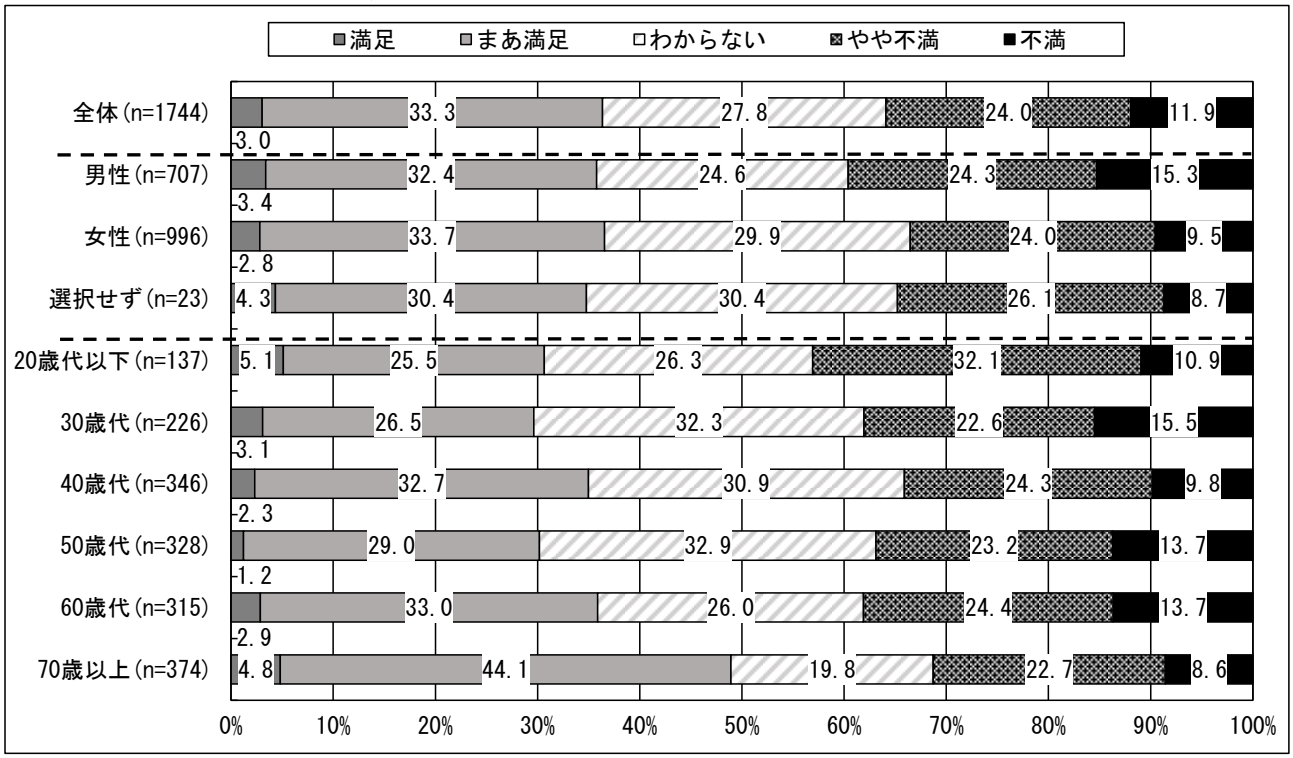
－今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「防犯カメラの設置などによる犯罪が起こりにくい環境づくり」と「犯罪発生に関する迅速な情報提供」の回答数が特に多くなっている－

＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 36.3%、不満（「やや不満」＋「不満」）が 35.9%で比較的きっ抗しているほか、「わからない」が 27.8%となっています。

○ 年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「70 歳以上」が 48.9%で最も割合が高く、「60 歳代」が 35.9%でこれに次いでいます。また、「40 歳代」と「70 歳以上」以外の年代では、不満（「やや不満」＋「不満」）が満足（「満足」＋「やや満足」）より割合が高くなっています。

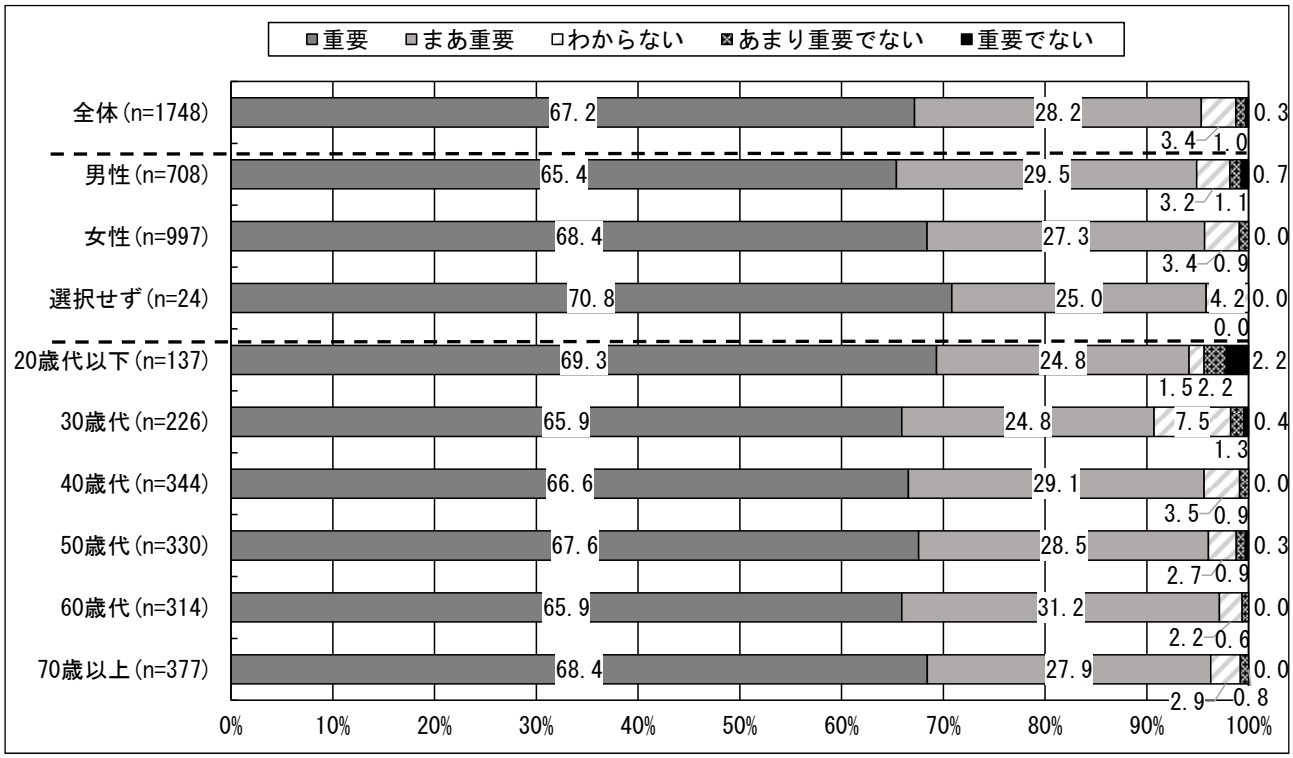
図表Ⅲ－２－37　防犯施策に対する現在の満足度



＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 95.4%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 1.3%、「わからない」が 3.4%となっています。また、年代別にみても、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの年代も割合が 90%台となっています。

図表Ⅲ－２－38　防犯施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「防犯カメラの設置などによる犯罪が起こりにくい環境づくり」が 79.3%で選ばれた割合が最も高く、次いで「犯罪発生に関する迅速な情報提供」の 44.5%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「防犯カメラの設置などによる犯罪が起こりにくい環境づくり」がそれぞれ 80.0%、83.3%で最も高く、「犯罪発生に関する迅速な情報提供」が 44.6%、42.2%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－39　防犯施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

防犯に対する現在の満足度		回答数	地域団体が行う自主防犯活動への支援	市民の防犯意識を高めるための啓発活動	実践的な防犯訓練・防犯教育
全体		1,617	189(11.7%)	199(12.3%)	129(8.0%)
満足度	満足	45	10(22.2%)	2(4.4%)	5(11.1%)
	まあ満足	534	80(15.0%)	66(12.4%)	43(8.1%)
	わからない	428	44(10.3%)	53(12.4%)	33(7.7%)
	やや不満	395	39(9.9%)	56(14.2%)	27(6.8%)
	不満	180	12(6.7%)	14(7.8%)	16(8.9%)
	無回答	35	4(11.4%)	8(22.9%)	5(14.3%)

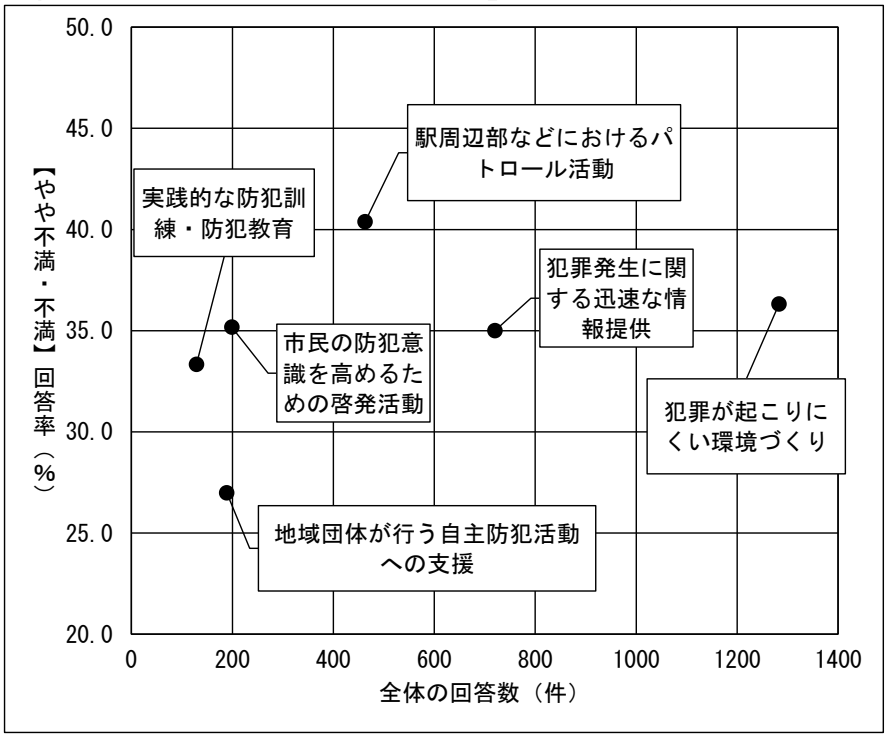
防犯に対する現在の満足度		防犯カメラの設置などによる犯罪が起こりにくい環境づくり	駅周辺部などにおけるパトロール活動	犯罪発生に関する迅速な情報提供	その他
全体		1,283(79.3%)	463(28.6%)	720(44.5%)	46(2.8%)
満足度	満足	37(82.2%)	20(44.4%)	12(26.7%)	1(2.2%)
	まあ満足	421(78.8%)	137(25.7%)	245(45.9%)	3(0.6%)
	わからない	334(78.0%)	108(25.2%)	200(46.7%)	9(2.1%)
	やや不満	316(80.0%)	128(32.4%)	176(44.6%)	12(3.0%)
	不満	150(83.3%)	59(32.8%)	76(42.2%)	17(9.4%)
	無回答	25(71.4%)	11(31.4%)	11(31.4%)	4(11.4%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、防犯施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－40　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の防犯施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに防犯施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

経済・観光

⑪産業振興

市では、事業者の成長ステージに応じた経営支援や、多様な働き方ができる環境の整備などに取り組んでいます。

－いずれの年代も満足度が「わからない」という割合が最も高いものの、半数を超える回答者が重要であると考えている－

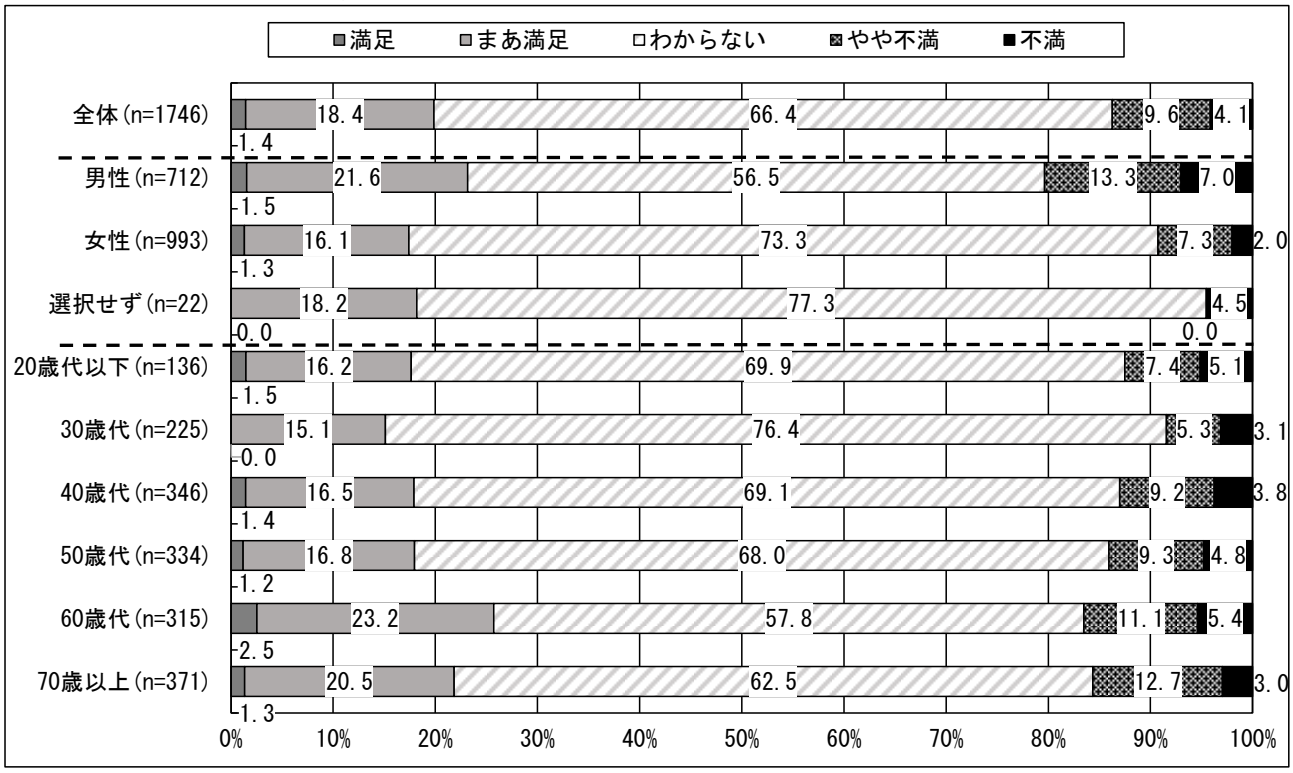
＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 19.8%であり、不満（「やや不満」＋「不満」）の 13.7%を 6.1 ポイント上回っていますが、「わからない」が 66.4%で最も割合が高くなっています。

○ 性別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は「男性」が 23.1%であり、「女性」の 17.4%を 5.7 ポイント上回っています。

○ 年代別にみると、いずれの年代も「わからない」の割合が最も高く、特に「60 歳代」を除いて 60%を超えています。

図表Ⅲ－２－41　産業振興施策に対する現在の満足度



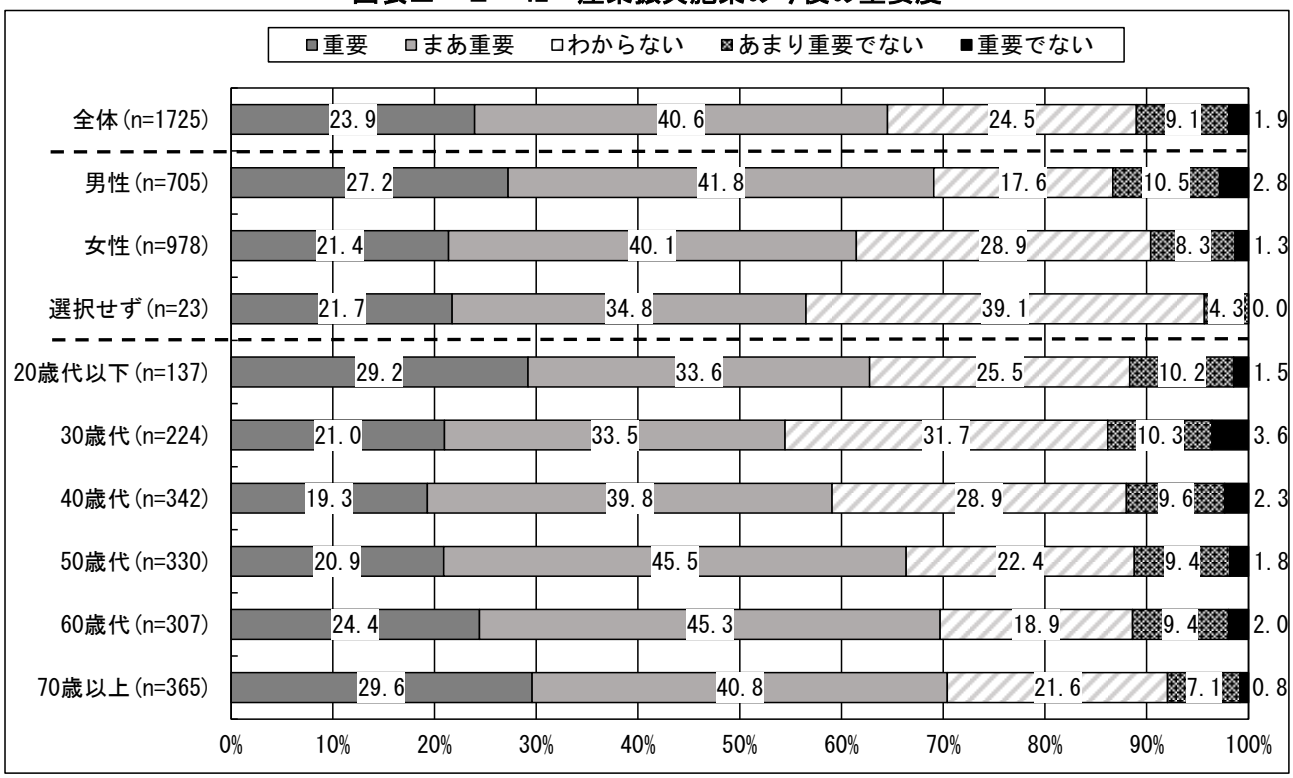
＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 64.5%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 11.0%、「わからない」が 24.5%となっています。

○　性別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は「男性」が 69.0%であり、「女性」の 61.5%を 7.5 ポイント上回っています。

○　年代別にみると、いずれの年代も半数以上が重要（「重要」＋「まあ重要」）と回答しており、その中では「70 歳以上」が 70.4%で最も割合が高く、「60 歳代」が 69.7%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－42　産業振興施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「独自性のある技術や製品の研究・開発、販路拡大に取り組む事業者への支援」が 39.8%で選ばれた割合が最も高く、次いで「地産商品のブランド化・販路拡大」の 36.9%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「独自性のある技術や製品の研究・開発、販路拡大に取り組む事業者への支援」がそれぞれ 49.7%、37.1%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－２－43　産業振興施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

産業振興に対する現在の満足度		回答数	起業・創業者のニーズに応じた支援	独自性のある技術や製品の研究・開発、販路拡大に取り組む事業者への支援	地産商品のブランド化・販路拡大
全体		1,300	373(28.7%)	517(39.8%)	480(36.9%)
満足度	満足	18	9(50.0%)	8(44.4%)	3(16.7%)
	まあ満足	280	91(32.5%)	117(41.8%)	110(39.3%)
	わからない	764	195(25.5%)	282(36.9%)	281(36.8%)
	やや不満	155	52(33.5%)	77(49.7%)	59(38.1%)
	不満	62	21(33.9%)	23(37.1%)	16(25.8%)
	無回答	21	5(23.8%)	10(47.6%)	11(52.4%)

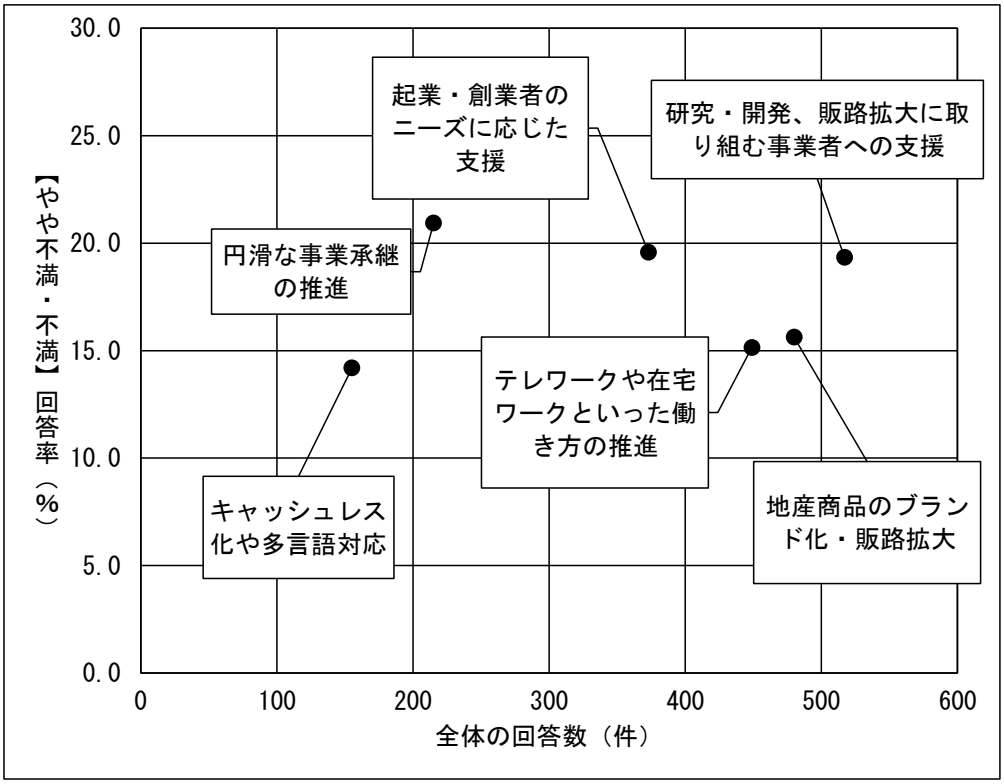
産業振興に対する現在の満足度		円滑な事業承継の推進	テレワークや在宅ワークといった働き方の推進	インバウンドに対応するキャッシュレス化や多言語対応	その他
全体		215(16.5%)	449(34.5%)	155(11.9%)	44(3.4%)
満足度	満足	5(27.8%)	4(22.2%)	0(0.0%)	0(0.0%)
	まあ満足	50(17.9%)	90(32.1%)	35(12.5%)	7(2.5%)
	わからない	113(14.8%)	279(36.5%)	94(12.3%)	19(2.5%)
	やや不満	33(21.3%)	47(30.3%)	11(7.1%)	10(6.5%)
	不満	12(19.4%)	21(33.9%)	11(17.7%)	8(12.9%)
	無回答	2(9.5%)	8(38.1%)	4(19.0%)	0(0.0%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、産業振興施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－44　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の産業振興施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに産業振興施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

⑫中心市街地の活性化

市では、多くの人が快適で楽しく過ごせるよう、駅前の空間・店舗の魅力向上や新たな賑わい機能の創出などに取り組んでいます。

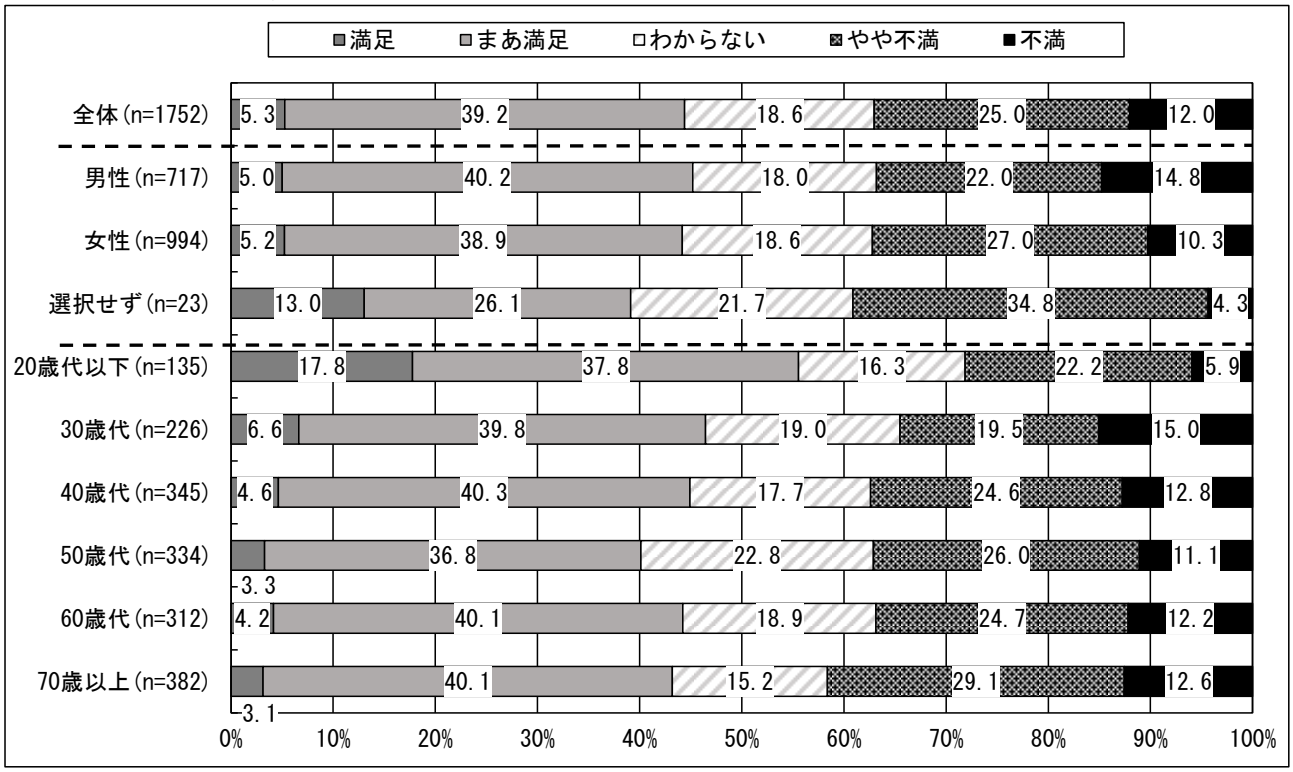
－満足度は「30 歳代」以下が他の年代に比べて高いほか、今後、特に注力してほしい取組では、いずれの満足度においても、「歩きやすく快適な歩行空間の整備」の回答数が多い傾向－

＜満足度＞

○　全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 44.5％で、不満（「やや不満」＋「不満」）の 37.0％を 7.5 ポイント上回っているほか、「わからない」が 18.6％となっています。

○　年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「20 歳代以下」が 55.6％で最も割合が高く、「30 歳代」が 46.4％でこれに次いでいます。また、全ての年代で満足（「満足」＋「やや満足」）の割合が 40％を超えているほか、不満（「やや不満」＋「不満」）も概ね 30％を超えています。

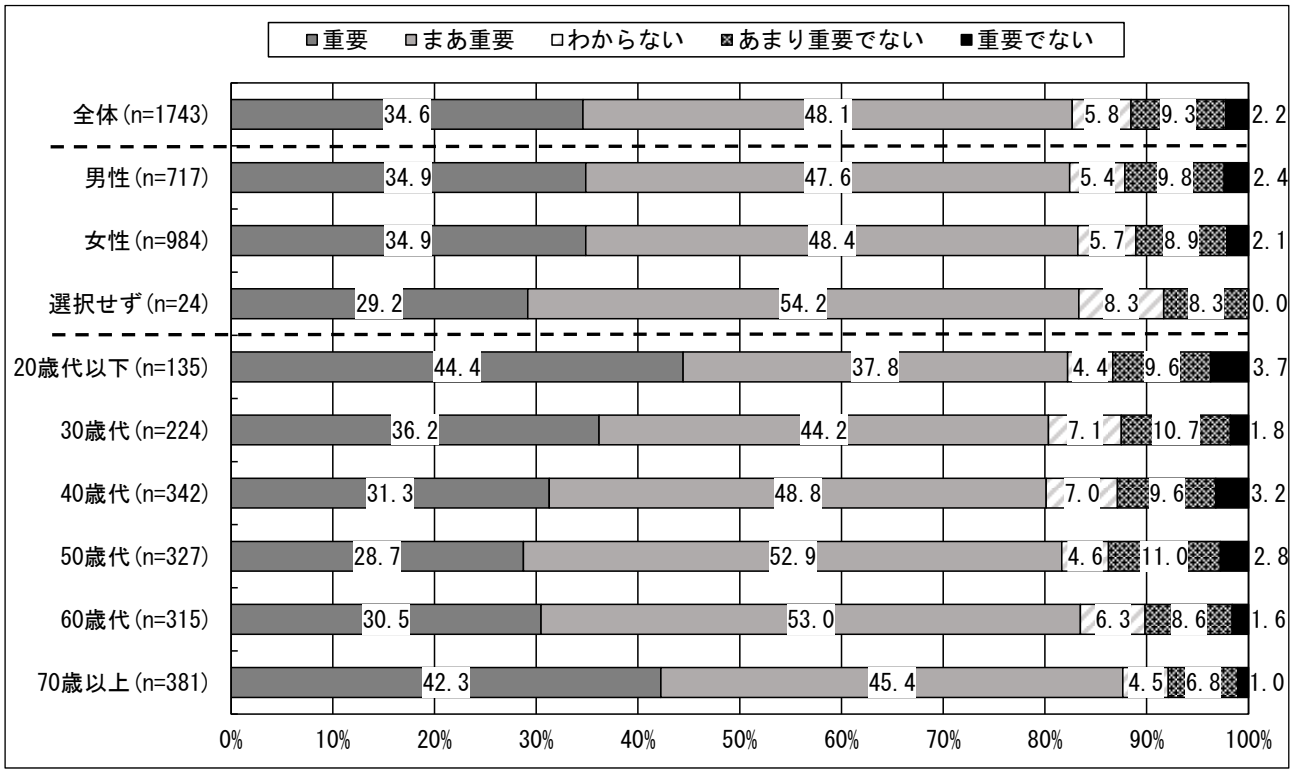
図表Ⅲ－２－45　中心市街地の活性化施策に対する現在の満足度



＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 82.7%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 11.5%、「わからない」が 5.8%となっています。また、年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの年代も割合が 80%台となっています。

図表Ⅲ－２－46　中心市街地の活性化施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「歩きやすく快適な歩行空間の整備」が 41.8%で選ばれた割合が最も高く、次いで「商店街の魅力向上」の 35.5%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「歩きやすく快適な歩行空間の整備」がそれぞれ 44.6%、37.8%で最も高く、「商店街の魅力向上」が 35.3%、36.8%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－47　中心市街地の活性化施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

中心市街地の活性化に対する現在の満足度		回答数	商店街の魅力向上	子ども連れで楽しめる施設等の整備	歩きやすく快適な歩行空間の整備
全体		1,578	560(35.5%)	329(20.8%)	660(41.8%)
満足度	満足	76	24(31.6%)	26(34.2%)	24(31.6%)
	まあ満足	637	239(37.5%)	129(20.3%)	268(42.1%)
	わからない	254	78(30.7%)	44(17.3%)	108(42.5%)
	やや不満	399	141(35.3%)	83(20.8%)	178(44.6%)
	不満	193	71(36.8%)	45(23.3%)	73(37.8%)
	無回答	19	7(36.8%)	2(10.5%)	9(47.4%)

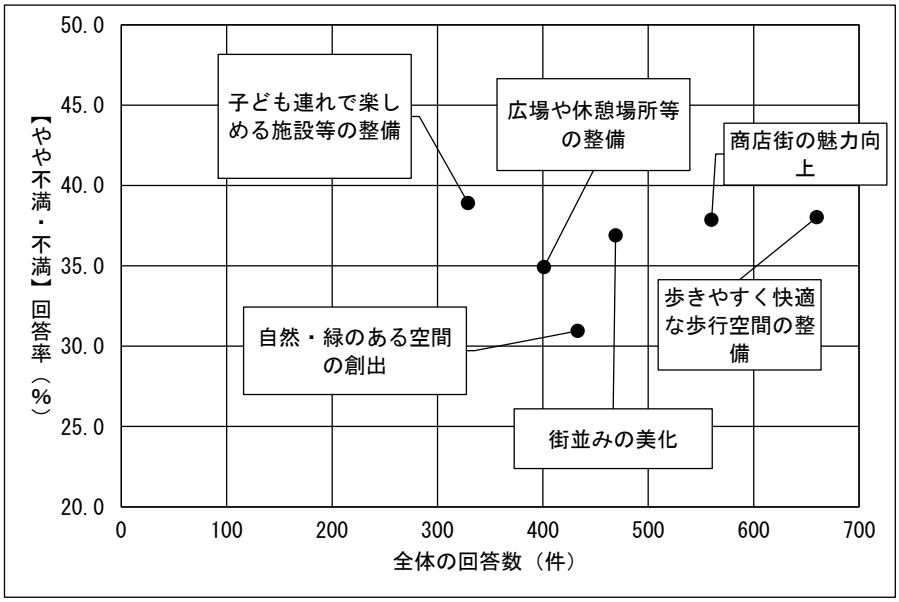
中心市街地の活性化に対する現在の満足度		広場や休憩場所等の整備	自然・緑のある空間の創出	街並みの美化	その他
全体		401(25.4%)	433(27.4%)	469(29.7%)	99(6.3%)
満足度	満足	18(23.7%)	23(30.3%)	24(31.6%)	3(3.9%)
	まあ満足	188(29.5%)	173(27.2%)	187(29.4%)	15(2.4%)
	わからない	47(18.5%)	99(39.0%)	81(31.9%)	7(2.8%)
	やや不満	102(25.6%)	94(23.6%)	122(30.6%)	33(8.3%)
	不満	38(19.7%)	40(20.7%)	51(26.4%)	41(21.2%)
	無回答	8(42.1%)	4(21.1%)	4(21.1%)	0(0.0%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、中心市街地の活性化施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（Ｐ15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－48　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の中心市街地の活性化施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに中心市街地の活性化施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（Ｐ17 を参照）

⑬農業振興

市では、意欲のある人が農業に積極的に携わり、多くの人が農業に親しめるよう、農業経営の支援や農業とふれあえる機会の提供などに取り組んでいます。

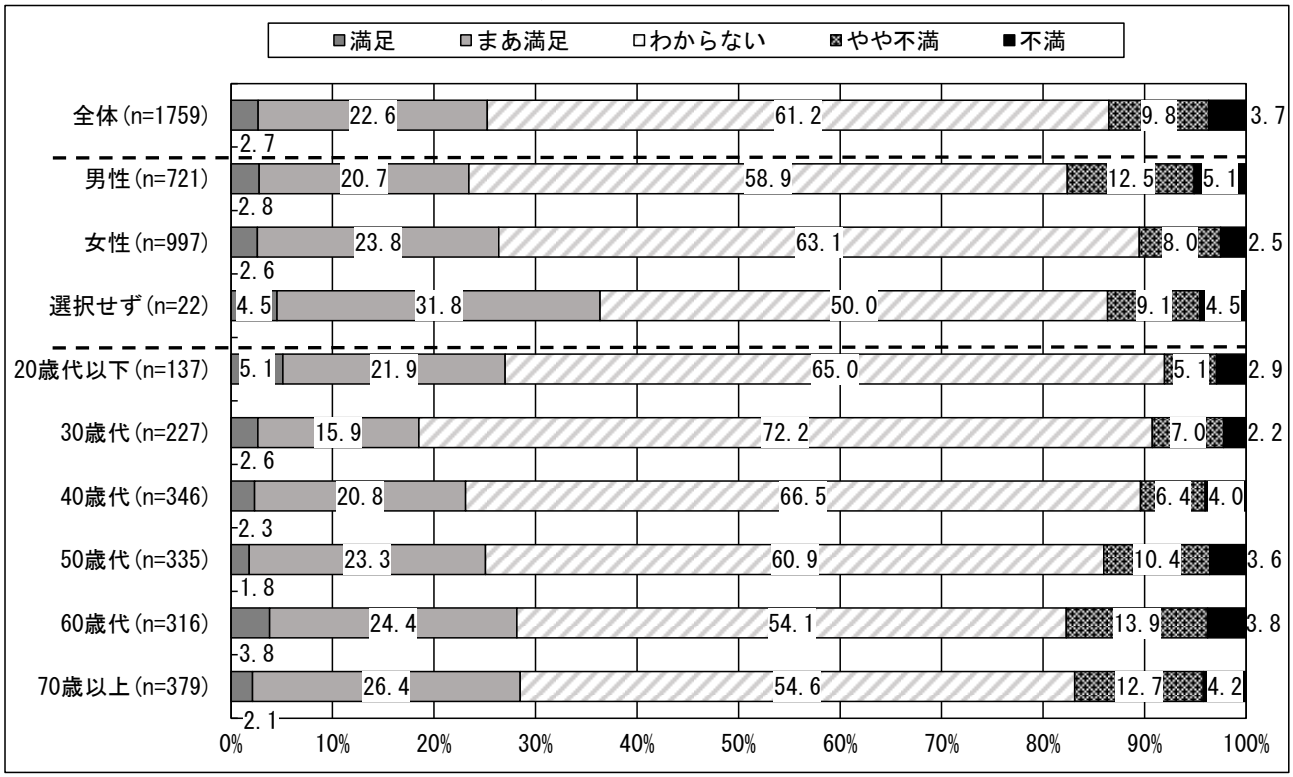
－今後の取組みでは、「農業の担い手や後継者の育成・確保」の回答数が最も多くなっている－

＜満足度＞

○　全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 25.3％で、不満（「やや不満」＋「不満」）の 13.5％を上回っていますが、「わからない」が 61.2％で最も割合が高くなっています。

○　年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「70 歳以上」が 28.5％で最も割合が高く、「60 歳代」が 28.2％でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－49　農業振興施策に対する現在の満足度

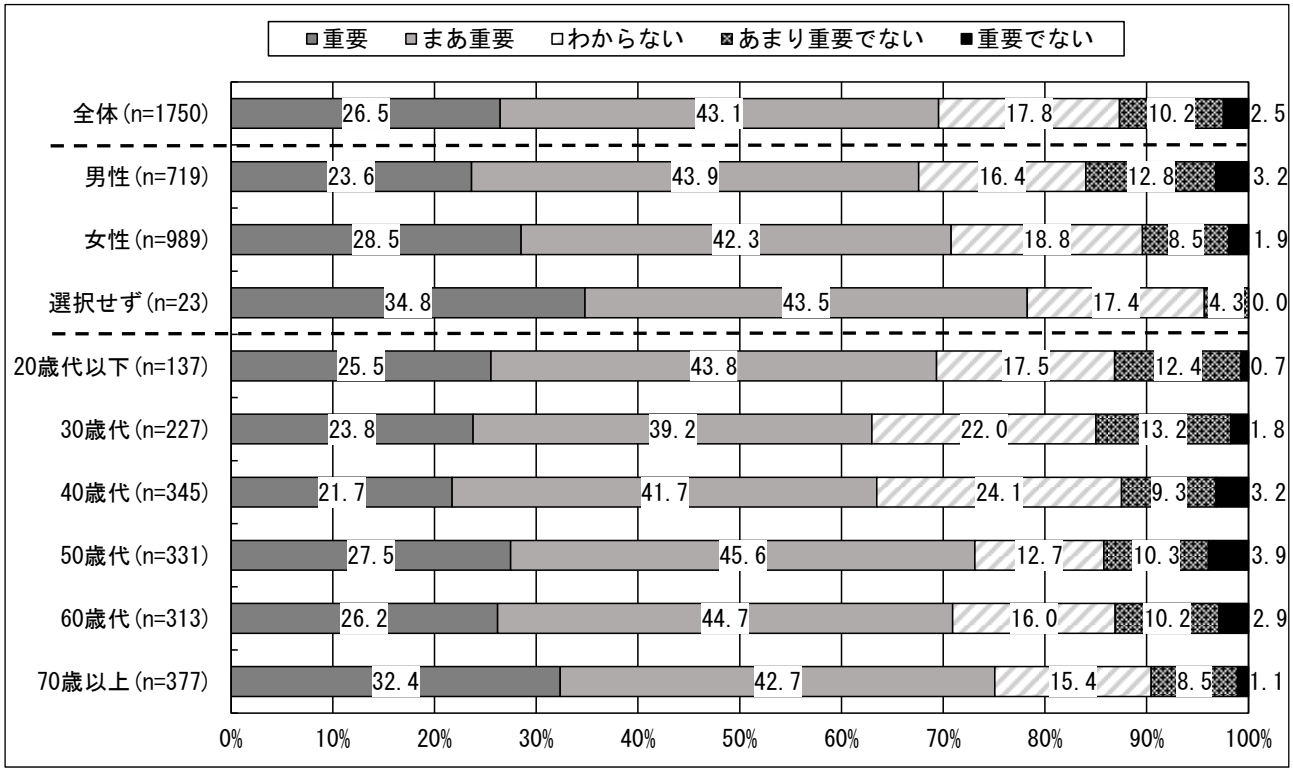


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 69.6%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 12.7%、「わからない」が 17.8%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの年代も割合が 60%を超えており、その中でも「70 歳以上」が 75.1%で最も高く、「50 歳代」が 73.1%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－50　農業振興施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「農業の担い手や後継者の育成・確保」が 38.4%で選ばれた割合が最も高く、次いで「意欲のある農業者への農地の利用集積」が 29.8%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「農業の担い手や後継者の育成・確保」がそれぞれ 36.0%、54.4%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－２－51　農業振興施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

農業振興に対する現在の満足度		回答数	意欲のある農業者への農地の利用集積	農業経営の改善や規模拡大への支援	農業の担い手や後継者の育成・確保	地元農産物のブランド化・販路拡大
全体		1,428	426(29.8%)	204(14.3%)	548(38.4%)	355(24.9%)
満足度	満足	37	12(32.4%)	8(21.6%)	11(29.7%)	8(21.6%)
	まあ満足	355	105(29.6%)	41(11.5%)	137(38.6%)	98(27.6%)
	わからない	807	241(29.9%)	114(14.1%)	305(37.8%)	197(24.4%)
	やや不満	161	55(34.2%)	29(18.0%)	58(36.0%)	34(21.1%)
	不満	57	12(21.1%)	10(17.5%)	31(54.4%)	16(28.1%)
	無回答	11	1(9.1%)	2(18.2%)	6(54.5%)	2(18.2%)

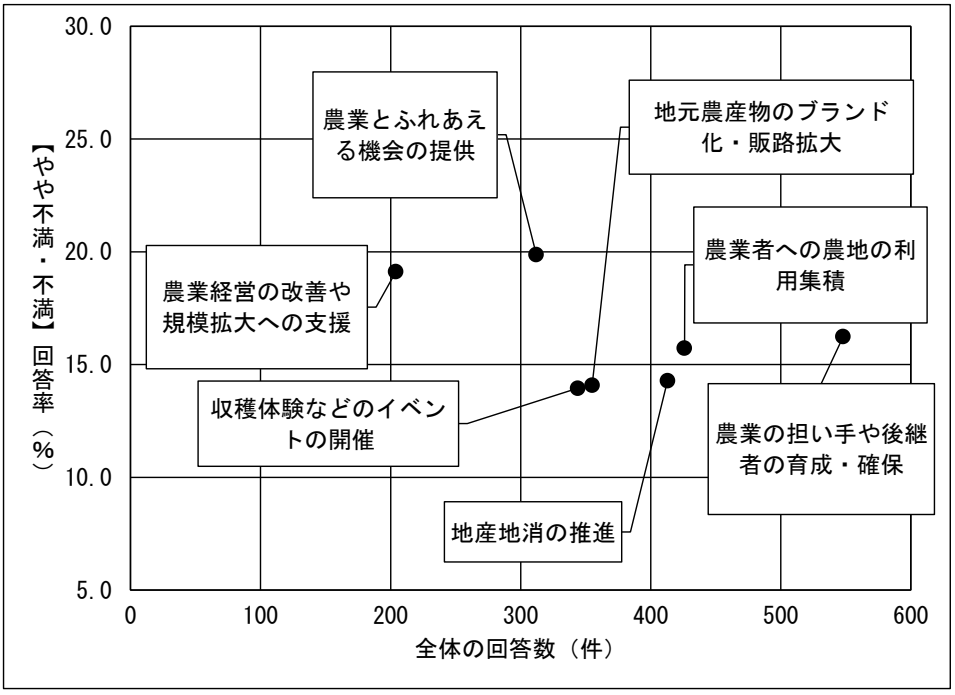
農業振興に対する現在の満足度		地産地消の推進	市民が農業とふれあえる機会の提供	地元農産物の収穫体験などのイベントの開催	その他
全体		413(28.9%)	312(21.8%)	344(24.1%)	19(1.3%)
満足度	満足	11(29.7%)	12(32.4%)	7(18.9%)	0(0.0%)
	まあ満足	108(30.4%)	82(23.1%)	89(25.1%)	3(0.8%)
	わからない	229(28.4%)	154(19.1%)	200(24.8%)	11(1.4%)
	やや不満	45(28.0%)	47(29.2%)	35(21.7%)	4(2.5%)
	不満	14(24.6%)	15(26.3%)	13(22.8%)	1(1.8%)
	無回答	6(54.5%)	2(18.2%)	0(0.0%)	0(0.0%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、農業振興施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－52　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の農業振興施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに農業振興施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

⑭観光振興

市では、市内各地に多くの人が訪れるまちをつくるため、まちの魅力の創造と向上、その魅力を活かした観光の推進などに取り組んでいます。

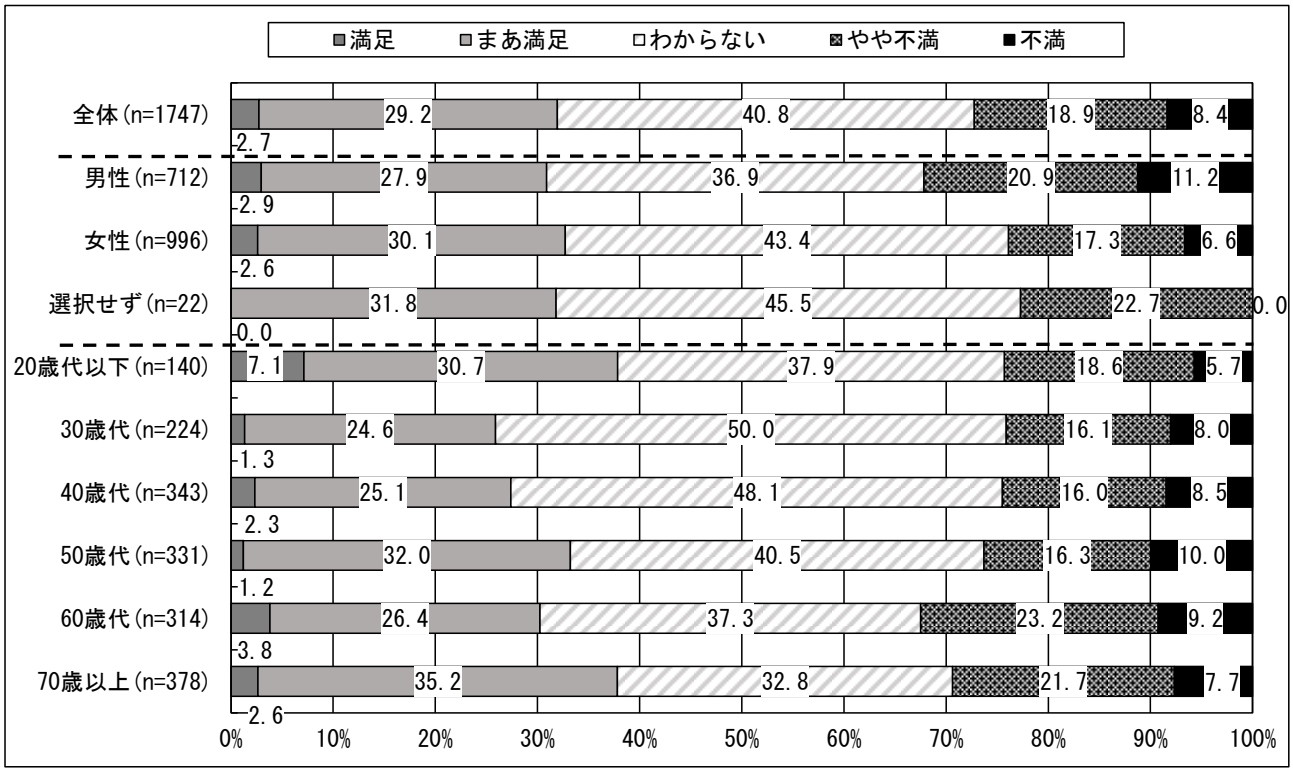
－今後力を入れてほしい取組みでは、「町田ならではの観光資源の発掘・活用」の回答数が最も多い－

＜満足度＞

○　全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 31.9％で、不満（「やや不満」＋「不満」）の 27.3％を 4.6 ポイント上回っているほか、「わからない」が 40.8％で最も割合が高くなっています。

○　年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「20 歳代以下」と「70 歳以上」がいずれも 37.8％で最も割合が高くなっています。

図表Ⅲ－２－53　観光振興施策に対する現在の満足度

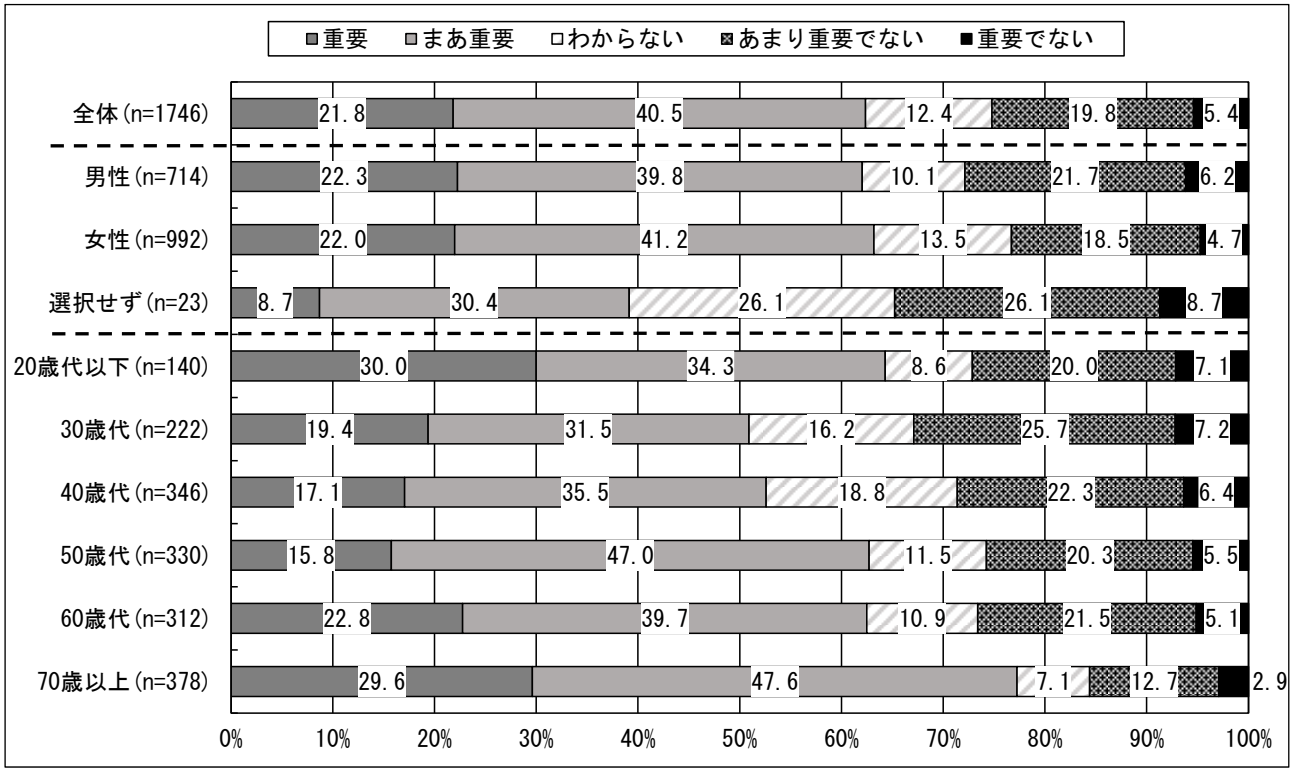


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 62.3%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 25.2%、「わからない」が 12.4%となっています。

○　年代別にみると、いずれの年代も半数以上が重要（「重要」＋「まあ重要」）となっており、その中でも「70 歳以上」が 77.2%で最も割合が高く、「20 歳代以下」が 64.3%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－54　観光振興施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「町田ならではの観光資源の発掘・活用」が 57.2%で選ばれた割合が最も高く、次いで「市内の観光資源・施設に関する情報発信」の 36.7%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「町田ならではの観光資源の発掘・活用」がそれぞれ 60.9%、63.6%で最も高くなっています。また、２番目に多い取組みについて、「やや不満」で選ばれた割合は「市内の観光資源・施設に関する情報発信」の 38.1%、「不満」で選ばれた割合は「地域行事や祭事を活かした観光イベント」の 34.1%となっています。

図表Ⅲ－２－55　観光振興施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

観光振興に対する現在の満足度		回答数	市内の観光資源・施設に関する情報発信	国際会議、国際大会、キャンプ地などの誘致	市内で行われる映画・ドラマ撮影の誘致	観光ボランティアガイド等の育成・確保
全体		1,418	520(36.7%)	150(10.6%)	269(19.0%)	87(6.1%)
満足度	満足	36	13(36.1%)	4(11.1%)	4(11.1%)	4(11.1%)
	まあ満足	459	192(41.8%)	39(8.5%)	85(18.5%)	31(6.8%)
	わからない	478	157(32.8%)	51(10.7%)	105(22.0%)	19(4.0%)
	やや不満	294	112(38.1%)	38(12.9%)	49(16.7%)	22(7.5%)
	不満	129	40(31.0%)	16(12.4%)	21(16.3%)	9(7.0%)
	無回答	22	6(27.3%)	2(9.1%)	5(22.7%)	2(9.1%)

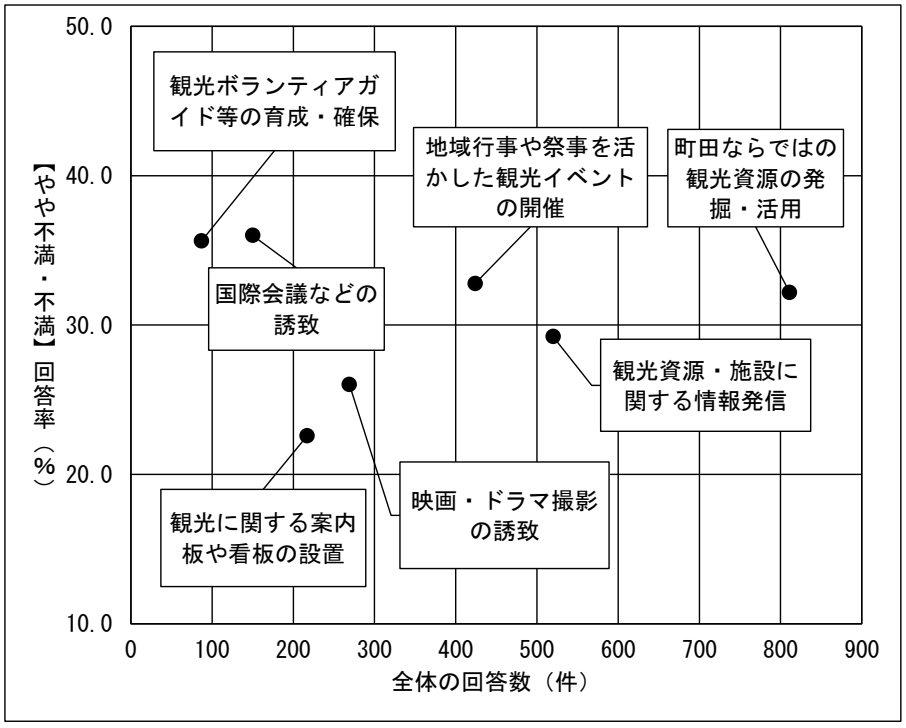
観光振興に対する現在の満足度		市内観光に関する案内板や看板の設置	町田ならではの観光資源の発掘・活用	地域行事や祭事を活かした観光イベントの開催	その他
全体		217(15.3%)	811(57.2%)	424(29.9%)	53(3.7%)
満足度	満足	3(8.3%)	24(66.7%)	10(27.8%)	1(2.8%)
	まあ満足	83(18.1%)	259(56.4%)	134(29.2%)	9(2.0%)
	わからない	78(16.3%)	256(53.6%)	134(28.0%)	15(3.1%)
	やや不満	38(12.9%)	179(60.9%)	95(32.3%)	12(4.1%)
	不満	11(8.5%)	82(63.6%)	44(34.1%)	15(11.6%)
	無回答	4(18.2%)	11(50.0%)	7(31.8%)	1(4.5%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、観光振興施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－56　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の観光振興施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに観光振興施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

文化・スポーツ

⑮文化芸術振興

市では、誰もが文化芸術に親しむことができるよう、魅力ある文化芸術とふれあえる環境づくりや、多様な文化芸術活動の振興などに取り組んでいます。

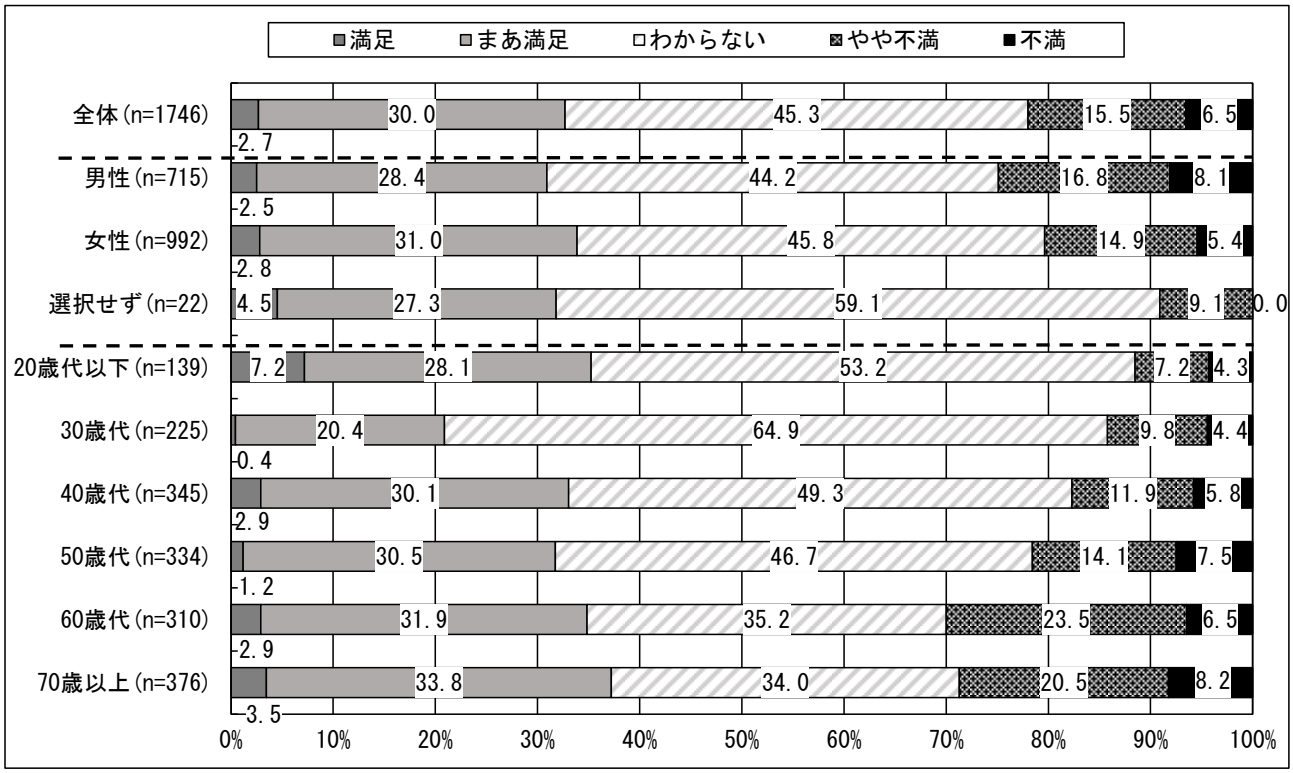
ー今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「多様な文化芸術にふれる機会・場の提供」と「子どもの感受性や創造性を育む機会・場の提供」の回答数が特に多いー

＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 32.7％で、不満（「やや不満」＋「不満」）の 22.0％を上回っていますが、「わからない」が 45.3％で最も割合が高くなっています。

○ 年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「70 歳以上」が 37.3％で最も割合が高く、「20 歳代以下」が 35.3％でこれに次いでいます。また、不満（「やや不満」＋「不満」）は年代が上がるほど割合が高くなる傾向があります。

図表Ⅲ－２－57　文化芸術振興施策に対する現在の満足度

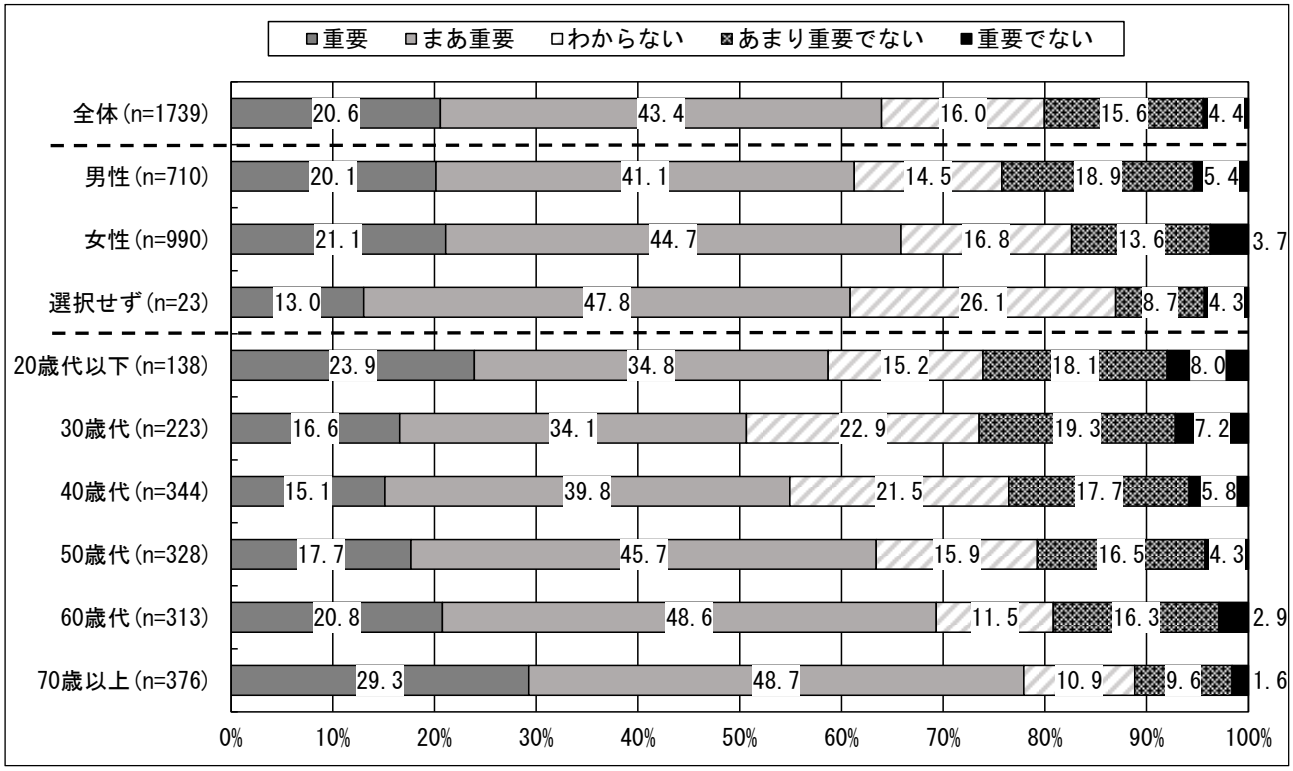


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 64.0%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 20.0%、「わからない」が 16.0%となっています。

○　年代別にみると、いずれの年代も半数以上が重要（「重要」＋「まあ重要」）と回答しており、特に 30 歳代以上では、年代が上がるほど割合が高くなっています。また、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）は、年代が上がるほど割合が低くなる傾向があります。

図表Ⅲ－２－58　文化芸術振興施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「多様な文化芸術にふれる機会・場の提供」が 53.2%で選ばれた割合が最も高く、次いで「子どもの感性や創造性を育む機会・場の提供」の 43.7%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「多様な文化芸術にふれる機会・場の提供」がそれぞれ 66.9%、50.0%で最も高く、「子どもの感性や創造性を育む機会・場の提供」が 36.3%、33.7%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－59　文化芸術振興施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

文化芸術振興に対する現在の満足度		回答数	多様な文化芸術にふれる機会・場の提供	子どもの感性や創造性を育む機会・場の提供	新たな文化芸術の創造・発展の支援	市固有の伝統芸能や文化財の保存・活用
全体		1,437	764(53.2%)	628(43.7%)	123(8.6%)	332(23.1%)
満足度	満足	40	17(42.5%)	20(50.0%)	2(5.0%)	15(37.5%)
	まあ満足	478	257(53.8%)	211(44.1%)	42(8.8%)	116(24.3%)
	わからない	549	260(47.4%)	268(48.8%)	33(6.0%)	133(24.2%)
	やや不満	248	166(66.9%)	90(36.3%)	34(13.7%)	44(17.7%)
	不満	104	52(50.0%)	35(33.7%)	11(10.6%)	18(17.3%)
	無回答	18	12(66.7%)	4(22.2%)	1(5.6%)	6(33.3%)

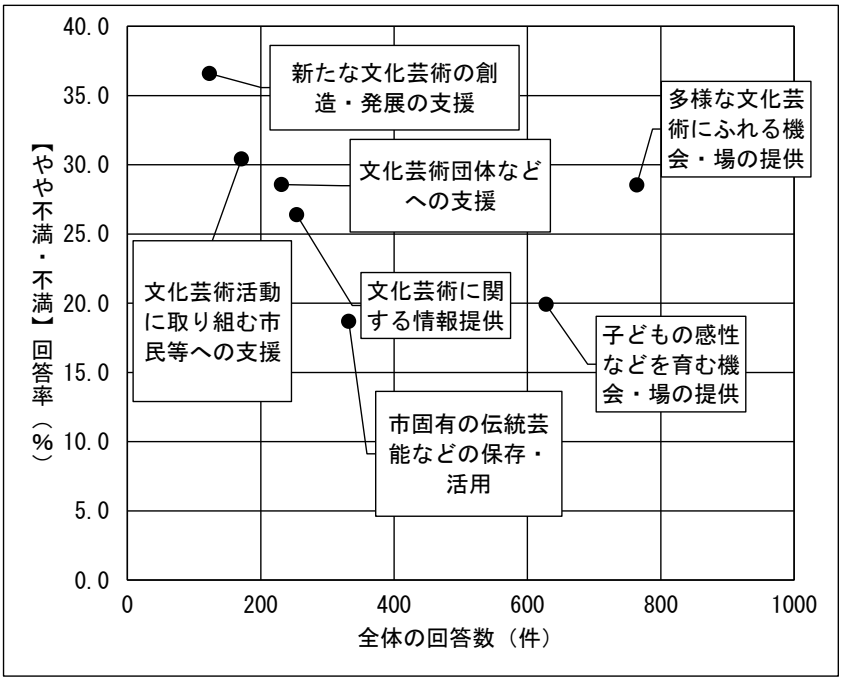
文化芸術振興に対する現在の満足度		自主的な文化芸術活動に取り組む市民等への支援	アーティストや文化芸術団体等への支援	文化芸術に関する情報提供	その他
全体		171(11.9%)	231(16.1%)	254(17.7%)	37(2.6%)
満足度	満足	6(15.0%)	7(17.5%)	7(17.5%)	0(0.0%)
	まあ満足	66(13.8%)	75(15.7%)	85(17.8%)	4(0.8%)
	わからない	44(8.0%)	81(14.8%)	92(16.8%)	9(1.6%)
	やや不満	31(12.5%)	41(16.5%)	49(19.8%)	9(3.6%)
	不満	21(20.2%)	25(24.0%)	18(17.3%)	13(12.5%)
	無回答	3(16.7%)	2(11.1%)	3(16.7%)	2(11.1%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、文化芸術振興施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－60　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の文化芸術振興施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに文化芸術振興施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

⑯スポーツ振興

市では、誰もがスポーツに親しむことができるよう、市民のスポーツ活動の振興や、トップレベルのスポーツを楽しめる環境づくりなどに取り組んでいます。

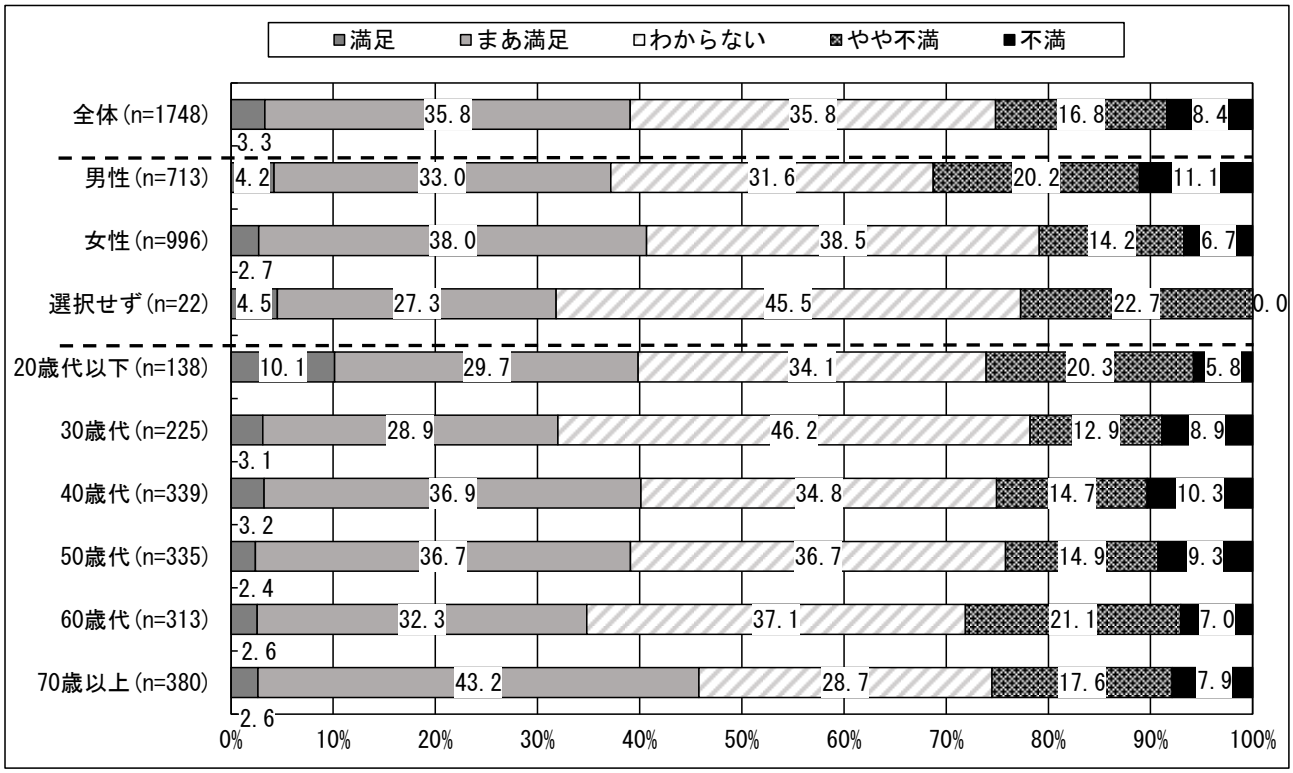
―今後、特に力を入れてほしい取組みでは「身近な地区での日常的なスポーツ活動の場」や「既存のスポーツ施設・設備の改修や整備」などが多くなっている―

＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）しているが 39.1%、不満（「やや不満」＋「不満」）が 25.2%、「わからない」が 35.8%となっています。

○ 年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「70 歳以上」が 45.8%で最も割合が高く、「40 歳代」が 40.1%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－61　スポーツ振興施策に対する現在の満足度

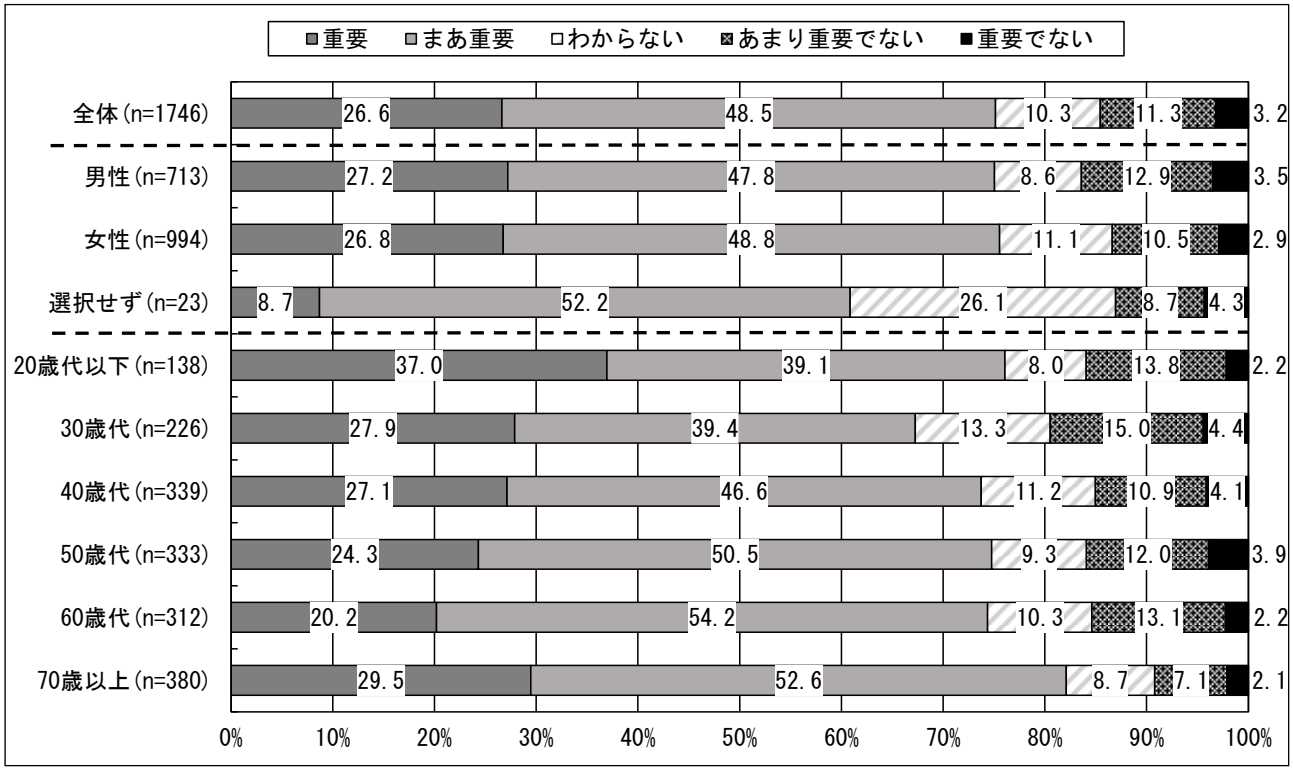


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 75.1%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 14.5%、「わからない」が 10.3%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの年代も割合が 60%を超えており、その中では「70 歳以上」が 82.1%で最も高く、「30 歳代」が 67.3%で最も割合が低くなっています。

図表Ⅲ－２－62　スポーツ振興施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「身近な地区での日常的なスポーツ活動の場」が 47.1%で選ばれた割合が最も高く、次いで「既存のスポーツ施設・設備の改修や整備」の 35.5%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「身近な地区での日常的なスポーツ活動の場」がそれぞれ 49.1%、53.3%で最も高く、「既存のスポーツ施設・設備の改修や整備」が 39.8%、38.7%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－63　スポーツ振興施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

スポーツ振興に対する現在の満足度		回答数	身近な地区での日常的なスポーツ活動の場	既存のスポーツ施設・設備の改修や整備	スポーツ活動に取り組む各種団体への支援	各種スポーツ教室・イベントの開催
全体		1,488	701(47.1%)	528(35.5%)	199(13.4%)	464(31.2%)
満足度	満足	55	18(32.7%)	18(32.7%)	11(20.0%)	16(29.1%)
	まあ満足	569	261(45.9%)	198(34.8%)	80(14.1%)	176(30.9%)
	わからない	437	212(48.5%)	144(33.0%)	41(9.4%)	152(34.8%)
	やや不満	269	132(49.1%)	107(39.8%)	41(15.2%)	82(30.5%)
	不満	137	73(53.3%)	53(38.7%)	22(16.1%)	31(22.6%)
	無回答	21	5(23.8%)	8(38.1%)	4(19.0%)	7(33.3%)

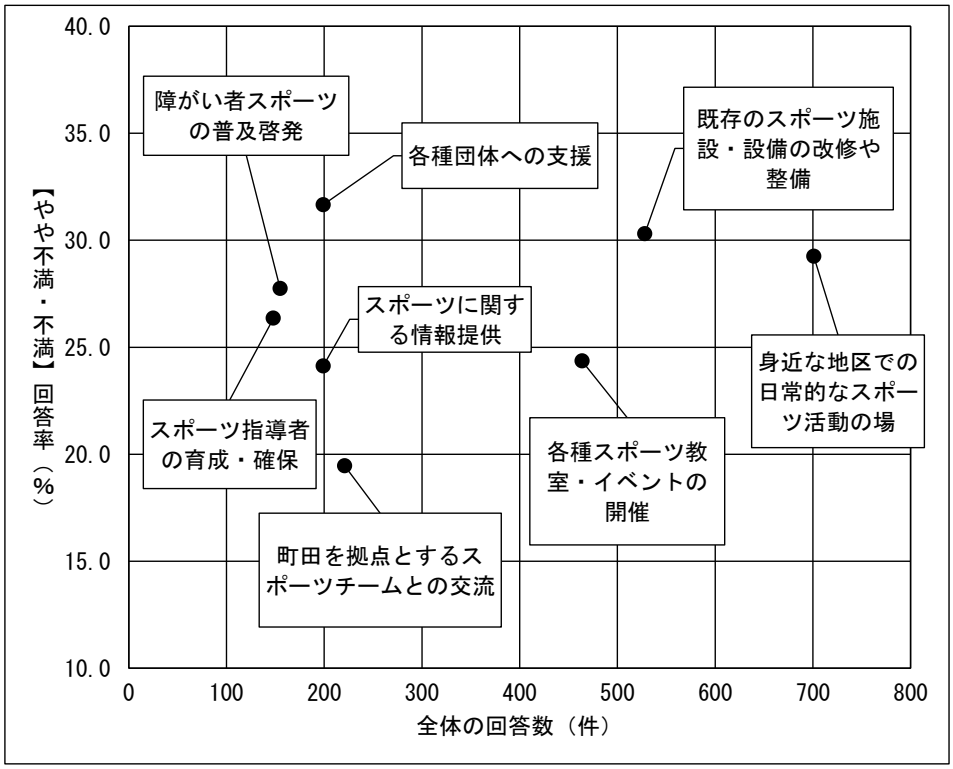
スポーツ振興に対する現在の満足度		スポーツ指導者の育成・確保	スポーツに関する情報提供	町田を拠点とするスポーツチームとの交流	障がい者スポーツの普及啓発	その他
全体		148(9.9%)	199(13.4%)	221(14.9%)	155(10.4%)	61(4.1%)
満足度	満足	9(16.4%)	7(12.7%)	14(25.5%)	4(7.3%)	0(0.0%)
	まあ満足	59(10.4%)	76(13.4%)	105(18.5%)	61(10.7%)	13(2.3%)
	わからない	38(8.7%)	64(14.6%)	55(12.6%)	45(10.3%)	6(1.4%)
	やや不満	30(11.2%)	36(13.4%)	27(10.0%)	30(11.2%)	15(5.6%)
	不満	9(6.6%)	12(8.8%)	16(11.7%)	13(9.5%)	25(18.2%)
	無回答	3(14.3%)	4(19.0%)	4(19.0%)	2(9.5%)	2(9.5%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、スポーツ振興施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－64　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方のスポーツ振興施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとにスポーツ振興施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

基盤整備・環境

⑰道路整備

市では、幹線道路等のネットワークの有効性を検証し、整備効果の高い路線から整備を進めるとともに、歩道の設置や改良、通行の妨げとなる行為の防止などに取り組んでいます。

－今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「日常生活で利用する身近な生活道路の整備」の回答数が最も多くなっている－

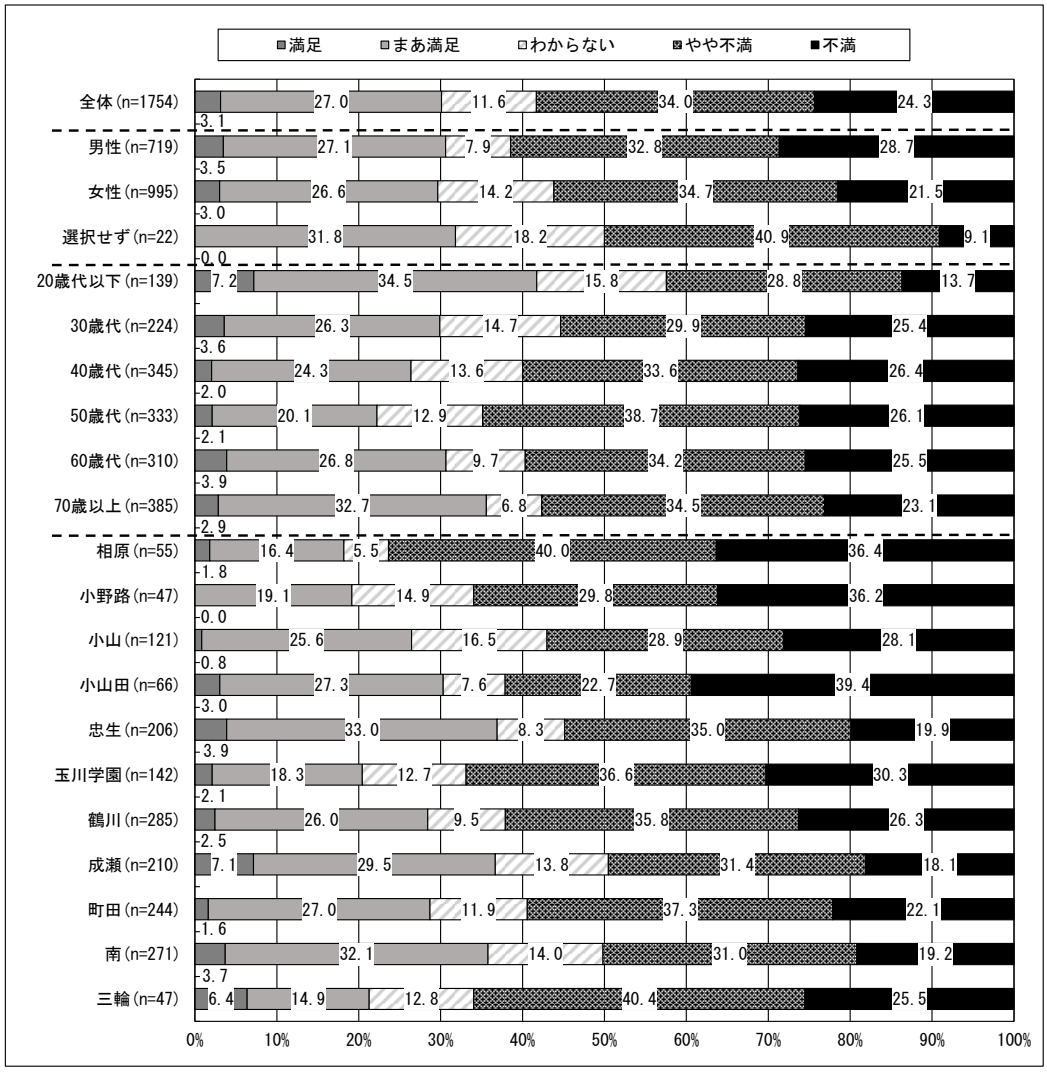
＜満足度＞

○ 全体では、不満（やや不満＋不満）の割合が 58.3%と半数と超えており、満足（満足＋まあ満足）の 30.1%を大きく上回っています。

○ 年代別にみると、不満（やや不満＋不満）は、いずれの年代も概ね 50%を超えており、その中でも「50 歳代」が 64.8%で最も割合が高く、以下、「40 歳代」の 60.0%、「60 歳代」の 59.7%と 40～60 歳代で割合が高い傾向にあります。

○ 地域別にみると、不満（「やや不満」＋「不満」）は 11 地域中、「相原(76.4%)」、「小野路（66.0%)」、「小山田（62.1%)」、「玉川学園（66.9%)」、「鶴川（62.1%)」、「三輪（65.9%)」の 6 地域では、割合が 60%を超えています。

図表Ⅲ－２－65　道路整備施策に対する現在の満足度



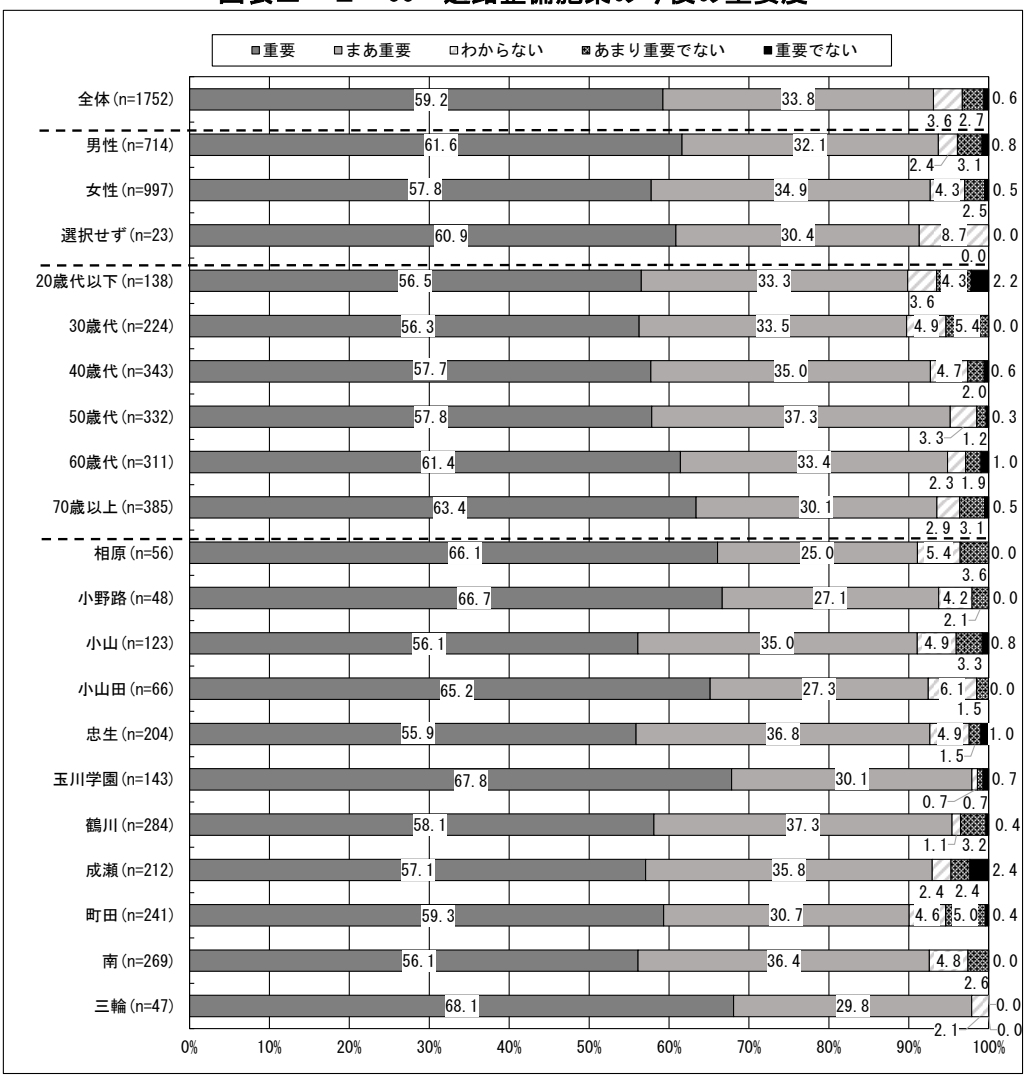
＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 93.0%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 3.3%、「わからない」が 3.6%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの年代も割合が概ね 90%台となっており、その中では「50 歳代」が 95.1%で最も割合が高く、以下、「60 歳代」の 94.8%、「70 歳以上」の 93.5%の順となっています。

○　地域別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの地域も割合が 90%を超えています。

図表Ⅲ－２－66　道路整備施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「日常生活で利用する身近な生活道路の整備」が 43.4%で選ばれた割合が最も高く、次いで「カーブミラーや路面標示などの交通安全設備の整備」の 30.0%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「日常生活で利用する身近な生活道路の整備」がそれぞれ 49.0%、43.9%で最も高くなっています。

○　また、２番目に多い取組みについて、「やや不満」で選ばれた割合は「カーブミラーや路面標示などの交通安全設備の整備」の 32.4%、「不満」で選ばれた割合は「市内各所を結ぶ幹線道路の整備」の 29.7%となっています。

図表Ⅲ－２－67　道路整備施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

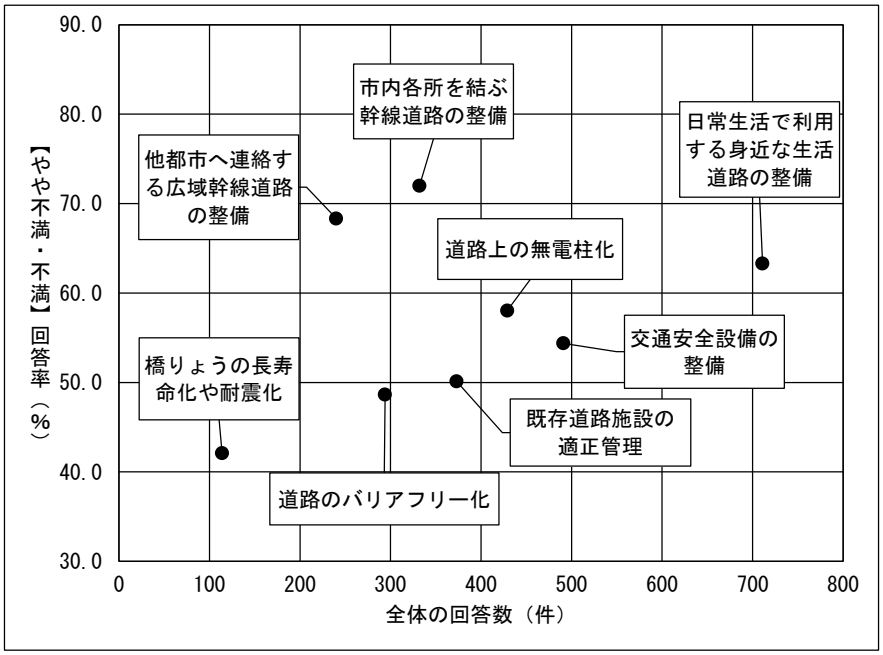
道路整備に対する現在の満足度	回答数	他都市へ連絡する広域幹線道路の整備	市内各所を結ぶ幹線道路の整備	日常生活で利用する身近な生活道路の整備	舗装や照明など既存道路施設の適正管理
全体	1,639	240(14.6%)	332(20.3%)	711(43.4%)	373(22.8%)
満足	50	9(18.0%)	8(16.0%)	11(22.0%)	19(38.0%)
まあ満足	432	47(10.9%)	67(15.5%)	178(41.2%)	116(26.9%)
わからない	173	18(10.4%)	15(8.7%)	65(37.6%)	43(24.9%)
やや不満	565	72(12.7%)	122(21.6%)	277(49%)	121(21.4%)
不満	394	92(23.4%)	117(29.7%)	173(43.9%)	66(16.8%)
無回答	25	2(8.0%)	3(12.0%)	7(28.0%)	8(32.0%)

道路整備に対する現在の満足度	道路のバリアフリー化	道路上の無電柱化	カーブミラーや路面標示などの交通安全設備の整備	橋りょうの長寿命化や耐震化	その他
全体	294(17.9%)	429(26.2%)	491(30.0%)	114(7.0%)	106(6.5%)
満足	12(24.0%)	11(22.0%)	17(34.0%)	4(8.0%)	0(0.0%)
まあ満足	99(22.9%)	118(27.3%)	143(33.1%)	37(8.6%)	8(1.9%)
わからない	36(20.8%)	44(25.4%)	55(31.8%)	23(13.3%)	6(3.5%)
やや不満	83(14.7%)	150(26.5%)	183(32.4%)	33(5.8%)	34(6.0%)
不満	60(15.2%)	99(25.1%)	84(21.3%)	15(3.8%)	55(14.0%)
無回答	4(16.0%)	7(28.0%)	9(36.0%)	2(8.0%)	3(12.0%)

注１）「カッコ内の%」は、道路整備施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－68　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の道路整備施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに道路整備施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

⑱公共交通の整備・自転車対策

市では、子どもから高齢者まで誰もが利用できる移動手段の確保や、環境負荷低減のため、鉄道交通網や路線バスの機能強化などに取り組んでいます。

―今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「自転車走行空間の整備」や「バス路線の充実や再編」のように市内を移動するための交通手段に関する取組みの回答数が多くなっている―

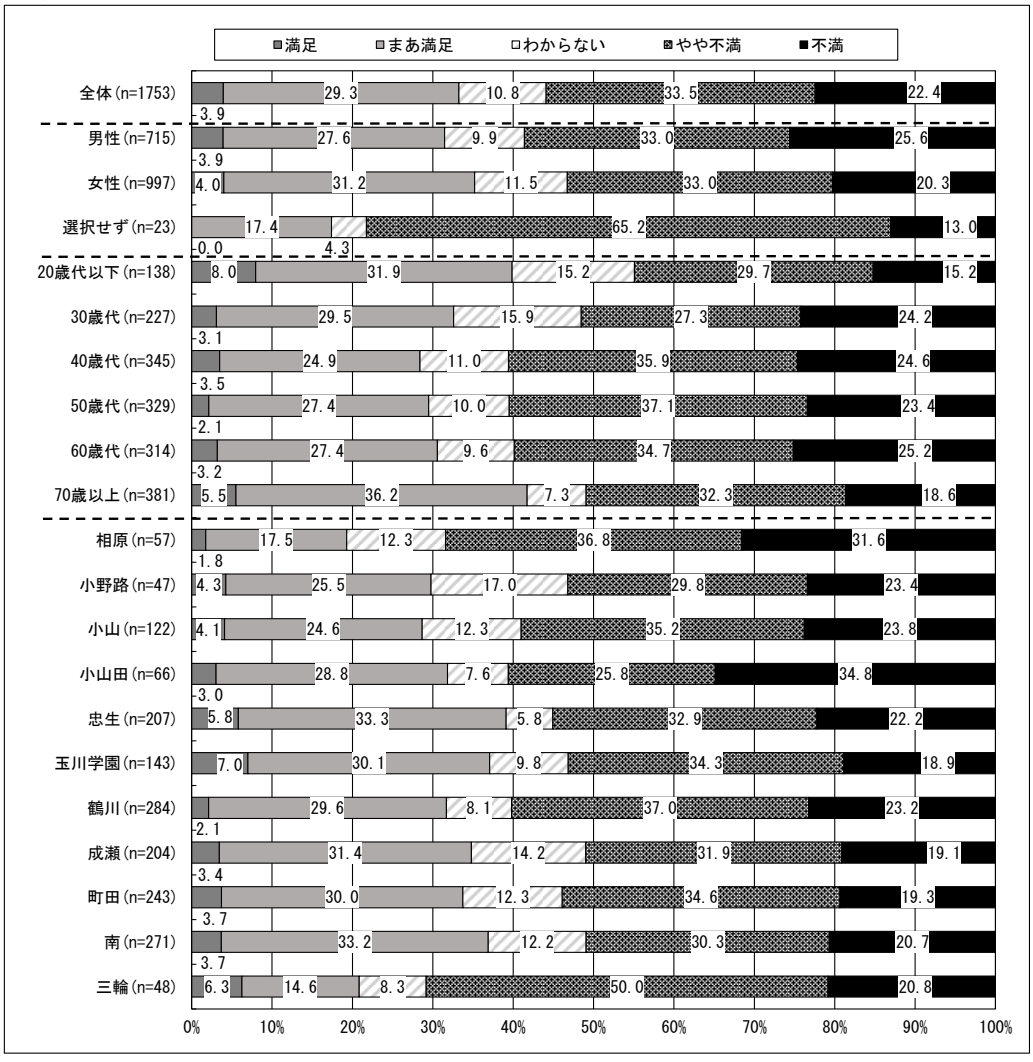
＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）しているが 33.2%であり、不満（「やや不満」＋「不満」）の 55.9%を大きく下回っているほか、「わからない」が 10.8%となっています。

○ 年代別にみると、不満（「やや不満」＋「不満」）は、「30 歳代」以上で 50%を超えており、「40 歳代」と「50 歳代」が 60.5%で最も割合が高くなっています。

○ 地域別にみると、不満（「やや不満」＋「不満」）は 11 地域中、「相原(68.4%)」、「小山田(60.6%)」、「鶴川（60.2%)」、「三輪（70.8%)」の４地域で割合が 60%を超えています。

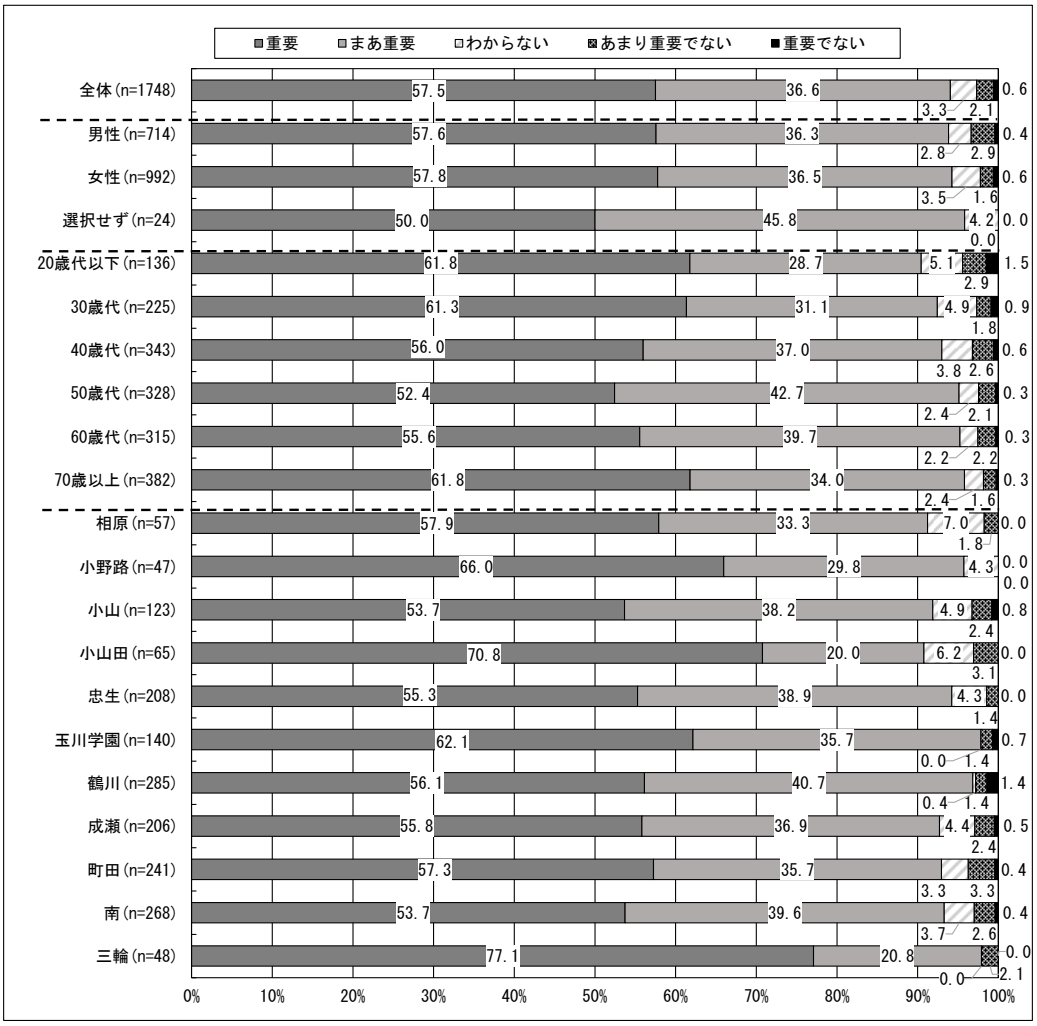
図表Ⅲ－２－69　公共交通の整備・自転車対策に係る施策に対する現在の満足度



＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 94.1%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 2.7%、「わからない」が 3.3%となっています。また、年代別及び地域別にみても、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれも割合が 90%台となっており、地域別では「小野路（95.8%）」、「玉川学園（97.8%）」、「鶴川（96.8%）」及び「玉川学園（97.8%）」で 95%を超えています。

図表Ⅲ－２－70　公共交通の整備・自転車対策に係る施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「自転車走行空間の整備」が 39.8%で選ばれた割合が最も高く、次いで「バス路線の充実や再編」の 33.7%の順となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「自転車走行空間の整備」がそれぞれ 42.8%、41.6%で最も高く、「バス路線の充実や再編」が 37.1%、39.7%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－71　公共交通の整備・自転車対策に係る施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

公共交通の整備・自転車対策に対する現在の満足度	回答数	多摩都市モノレールの多摩センター駅から町田方面への延伸	ホームドアの設置など駅の安全対策	快適で安全な駅前歩行空間の確保	バス路線の充実や再編
全体	1,667	448(26.9%)	429(25.7%)	268(16.1%)	562(33.7%)
満足	66	25(37.9%)	17(25.8%)	10(15.2%)	18(27.3%)
まあ満足	490	145(29.6%)	153(31.2%)	86(17.6%)	143(29.2%)
わからない	161	38(23.6%)	60(37.3%)	24(14.9%)	43(26.7%)
やや不満	552	138(25.0%)	125(22.6%)	98(17.8%)	205(37.1%)
不満	368	94(25.5%)	67(18.2%)	45(12.2%)	146(39.7%)
無回答	30	8(26.7%)	7(23.3%)	5(16.7%)	7(23.3%)

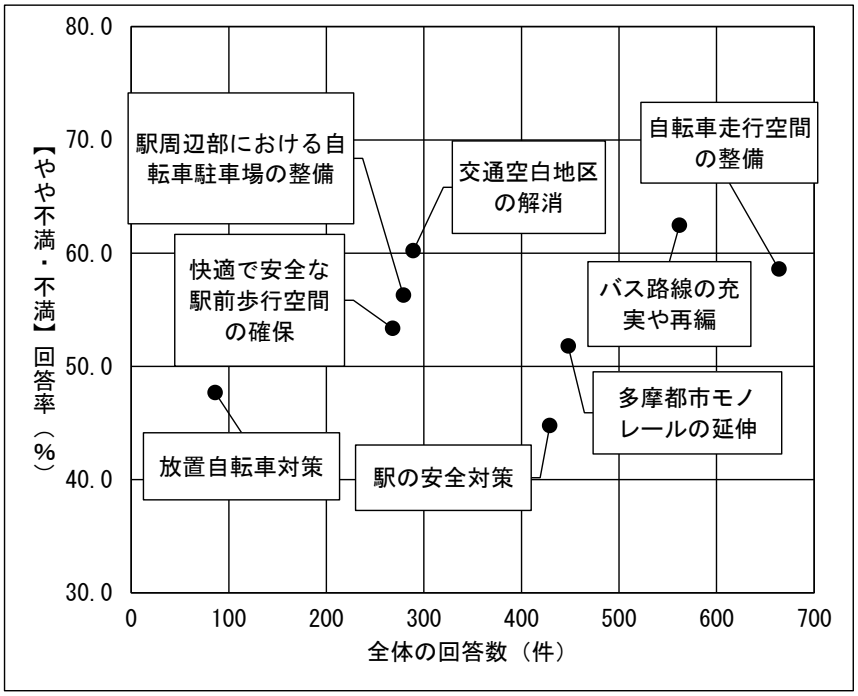
公共交通の整備・自転車対策に対する現在の満足度	鉄道や路線バスが運行されていない交通空白地区の解消	自転車走行空間の整備	駅周辺部における自転車駐車場の整備	放置自転車対策	その他
全体	289(17.3%)	664(39.8%)	279(16.7%)	86(5.2%)	94(5.6%)
満足	9(13.6%)	18(27.3%)	16(24.2%)	2(3.0%)	2(3.0%)
まあ満足	81(16.5%)	182(37.1%)	77(15.7%)	30(6.1%)	14(2.9%)
わからない	22(13.7%)	61(37.9%)	23(14.3%)	10(6.2%)	7(4.3%)
やや不満	99(17.9%)	236(42.8%)	103(18.7%)	28(5.1%)	17(3.1%)
不満	75(20.4%)	153(41.6%)	54(14.7%)	13(3.5%)	50(13.6%)
無回答	3(10.0%)	14(46.7%)	6(20.0%)	3(10.0%)	4(13.3%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、公共交通の整備・自転車対策に係る施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－72　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の公共交通の整備・自転車対策に係る施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに公共交通の整備・自転車対策に係る施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

⑲住環境の整備

市では、住宅の改修支援や住宅に関する情報提供、各地域の交通拠点の徒歩圏内で日常生活が送れるまちづくり、計画的な土地利用などに取り組んでいます。

－今後力を入れてほしい取組みでは、「空き家・空き地の適正管理」が最も回答数が多い－

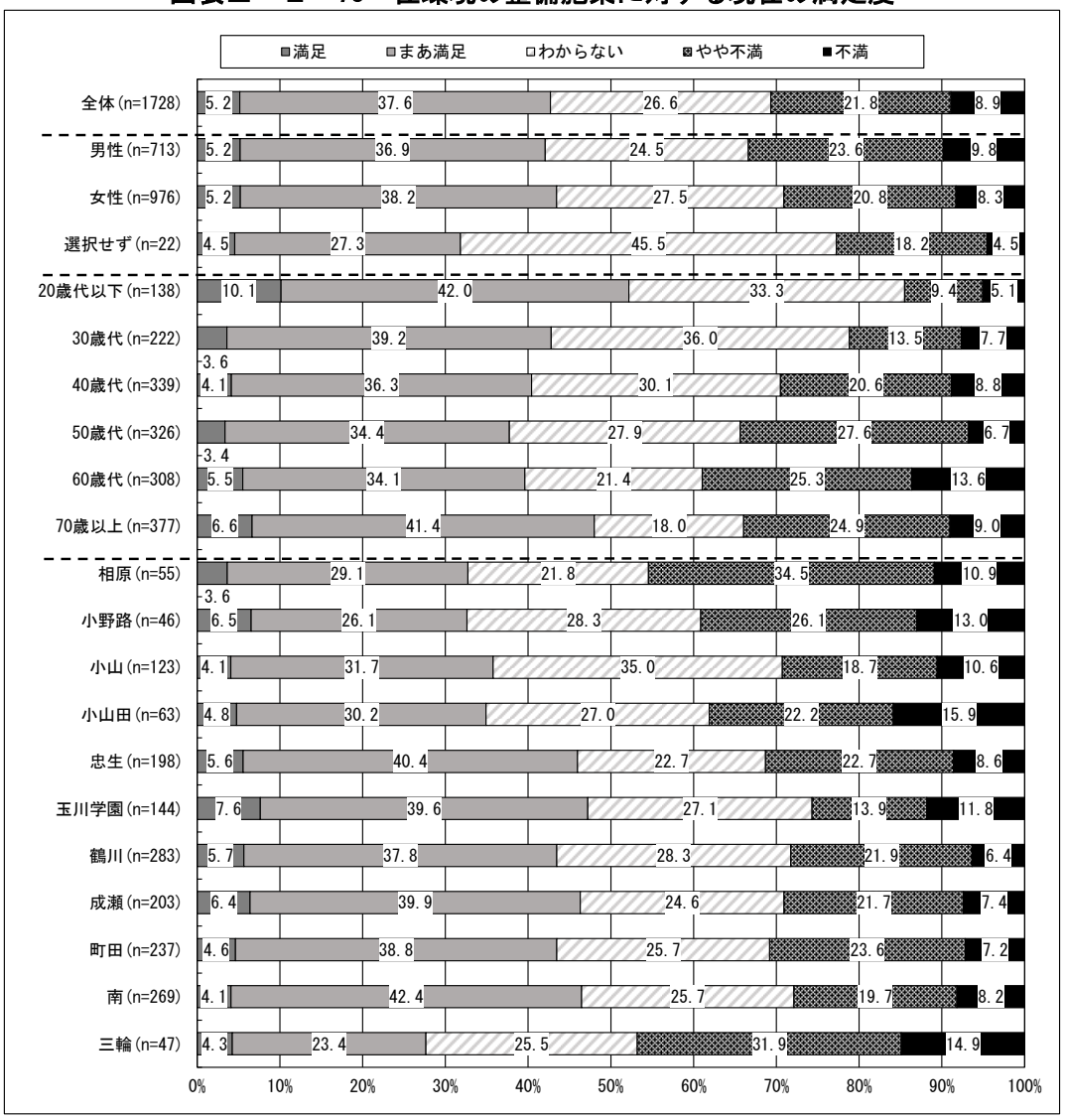
＜満足度＞

○　全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）しているが 42.8%、不満（「やや不満」＋「不満」）が 30.7%、「わからない」が 26.6%となっています。

○　年代別にみると、満足（「重要」＋「まあ重要」）は、」「20 歳代以下」が 52.2%で最も割合が高く、「70 歳以上」が 48.0%でこれに次いでいます。

○　地域別にみると、不満（「やや不満」＋「不満」）は 11 地域中、「相原（45.4%）」、「三輪（46.8%）」の２地域で割合が 40%を超えています。

図表Ⅲ－２－73　住環境の整備施策に対する現在の満足度

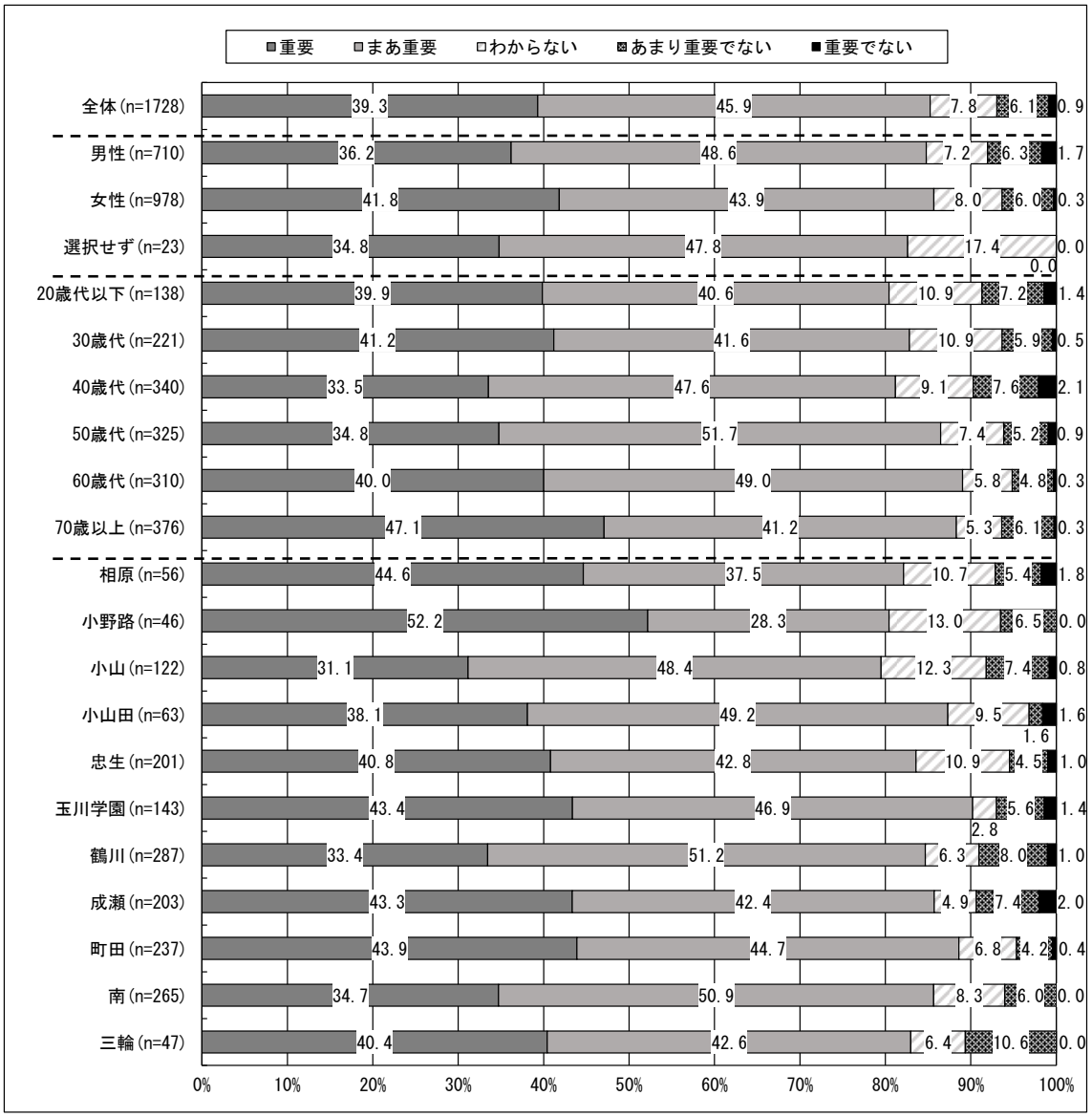


＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 85.2%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 7.0%、「わからない」が 7.8%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの年代も割合が概ね 80%を超えていますが、地域別では「玉川学園」が 90.3%で最も高く、「小山」が 79.5%で最も低くなっています。

図表Ⅲ－２－74　住環境の整備施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○ 全体では、「空き家・空き地の適正管理」が 47.9%で選ばれた割合が最も高く、次いで「地域の交通拠点周辺の利便性向上」の 36.2%となっています。

○ 満足度別にみても、「やや不満」で選ばれた割合は、「空き家・空き地の適正管理」が 44.6%で最も高く、「地域の交通拠点周辺の利便性向上」が 43.5%でこれに次いでいます。また、「不満」で選ばれた割合は、「地域の交通拠点周辺の利便性向上」が 46.4%で最も高く、「空き家・空き地の適正管理」が 39.7%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－75　住環境の整備施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

住環境の整備に対する現在の満足度	回答数	空き家・空き地の適正管理	老朽化した住宅団地の建て替え・改修	地域の交通拠点周辺の利便性向上	周辺の住環境と調和のとれた土地利用や開発の誘導	住宅の耐震化への支援
全体	1,658	794(47.9%)	438(26.4%)	601(36.2%)	517(31.2%)	535(32.3%)
満足	83	44(53.0%)	26(31.3%)	23(27.7%)	27(32.5%)	29(34.9%)
まあ満足	620	296(47.7%)	158(25.5%)	214(34.5%)	197(31.8%)	190(30.6%)
わからない	382	199(52.1%)	104(27.2%)	122(31.9%)	109(28.5%)	122(31.9%)
やや不満	370	165(44.6%)	101(27.3%)	161(43.5%)	127(34.3%)	122(33.0%)
不満	151	60(39.7%)	38(25.2%)	70(46.4%)	43(28.5%)	52(34.4%)
無回答	52	30(57.7%)	11(21.2%)	11(21.2%)	14(26.9%)	20(38.5%)

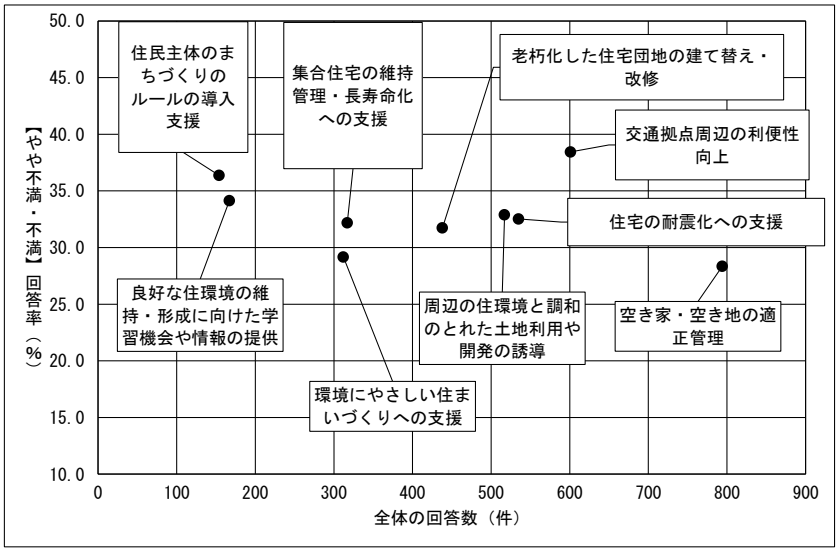
住環境の整備に対する現在の満足度	環境にやさしい住まいづくりへの支援	集合住宅の維持管理・長寿命化への支援	住民が主体となったまちづくりのルールの導入支援	良好な住環境の維持・形成に向けた学習機会や情報の提供	その他
全体	312(18.8%)	317(19.1%)	154(9.3%)	167(10.1%)	52(3.1%)
満足	15(18.1%)	16(19.3%)	8(9.6%)	8(9.6%)	0(0.0%)
まあ満足	125(20.2%)	124(20.0%)	59(9.5%)	69(11.1%)	10(1.6%)
わからない	71(18.6%)	65(17.0%)	26(6.8%)	25(6.5%)	5(1.3%)
やや不満	67(18.1%)	75(20.3%)	40(10.8%)	47(12.7%)	12(3.2%)
不満	24(15.9%)	27(17.9%)	16(10.6%)	10(6.6%)	21(13.9%)
無回答	10(19.2%)	10(19.2%)	5(9.6%)	8(15.4%)	4(7.7%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、住環境の整備施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－76　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の住環境の整備施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに住環境の整備施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

⑳公園・緑地等の整備

市では、公園や緑地等の整備などにより、まちなかの緑を増やすとともに、市内に残された貴重な緑地や農地の保全などに取り組んでいます。

－今後、特に力を入れてほしい取組みでは、「日常生活で利用する身近な公園・緑地の整備」、「良好な自然環境の保全・再生」の回答数が特に多い－

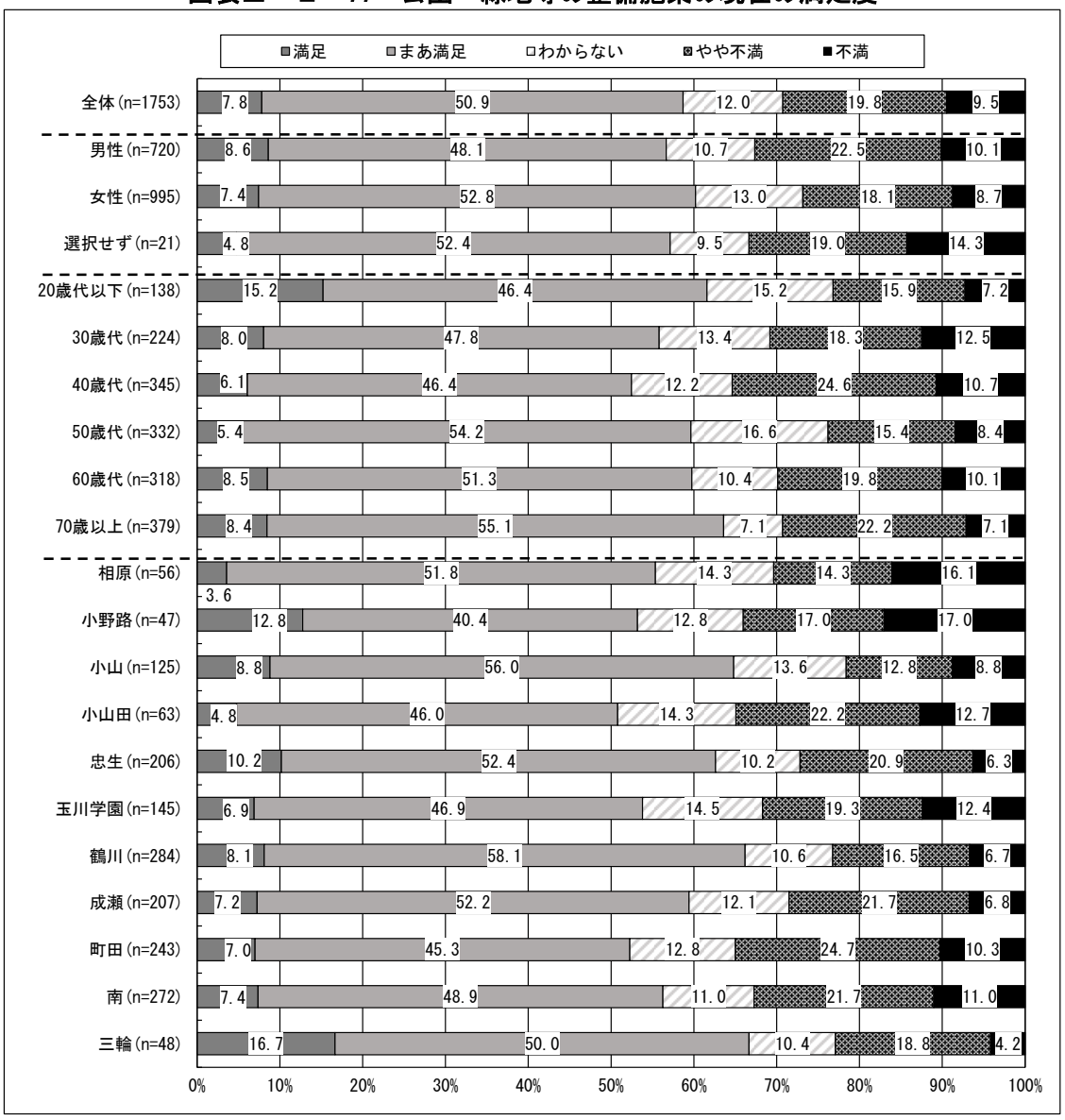
＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）しているが 58.7%であり、不満（「やや不満」＋「不満」）の 29.3%を大きく上回っているほか、「わからない」が 12.0%となっています。

○ 年代別にみると、いずれの年代も半数以上が満足（「満足」＋「やや満足」）となっており、その中でも「70 歳以上」が 63.5%で最も割合が高くなっています。

○ 地域別にみると、いずれの地域も半数以上が満足（「満足」＋「やや満足」）となっており、その中でも「小山」、「忠生」、「鶴川」、「三輪」で割合が 60%を超えています。

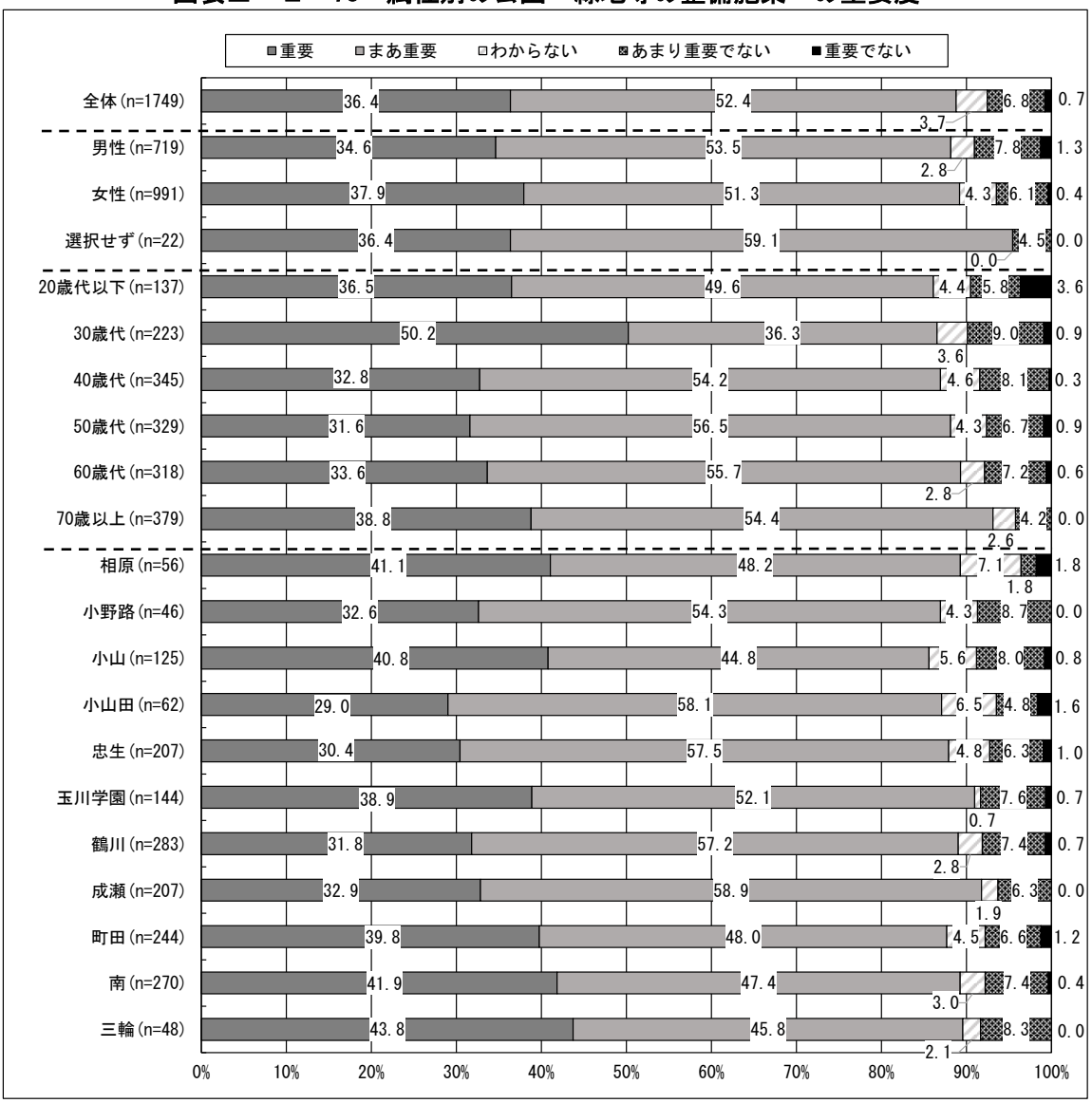
図表Ⅲ－２－77　公園・緑地等の整備施策の現在の満足度



＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 88.8%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 7.5%、わからないが 3.7%となっています。また、年代別及び地域別にみても、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれも割合が 80%を超えているほか、地域別では「玉川学園（91.0%）」と「成瀬（91.8%）で割合が 90%台となっています。

図表Ⅲ－２－78　属性別の公園・緑地等の整備施策への重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「日常生活で利用する身近な公園・緑地の整備」が 63.0%で選ばれた割合が最も高く、次いで「良好な自然環境の保全・再生」の 50.8%の順となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「日常生活で利用する身近な公園・緑地の整備」がそれぞれ 67.4%、61.6%で最も高く、「良好な自然環境の保全・再生」が 46.8%、37.2%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－79　公園・緑地等の整備施策への満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

公園・緑地等の整備に対する現在の満足度	回答数	日常生活で利用する身近な公園・緑地の整備	大規模な公園・緑地の整備	良好な自然環境の保全・再生	緑道・街路樹などの整備による緑の連続性の確保	気軽に水辺と親しめる環境づくり
全体	1,671	1053(63.0%)	390(23.3%)	849(50.8%)	604(36.1%)	327(19.6%)
満足	125	80(64.0%)	28(22.4%)	70(56.0%)	41(32.8%)	27(21.6%)
まあ満足	850	521(61.3%)	172(20.2%)	458(53.9%)	322(37.9%)	148(17.4%)
わからない	167	105(62.9%)	33(19.8%)	89(53.3%)	59(35.3%)	28(16.8%)
やや不満	340	229(67.4%)	91(26.8%)	159(46.8%)	121(35.6%)	75(22.1%)
不満	164	101(61.6%)	59(36.0%)	61(37.2%)	52(31.7%)	45(27.4%)
無回答	25	17(68.0%)	7(28.0%)	12(48.0%)	9(36.0%)	4(16.0%)

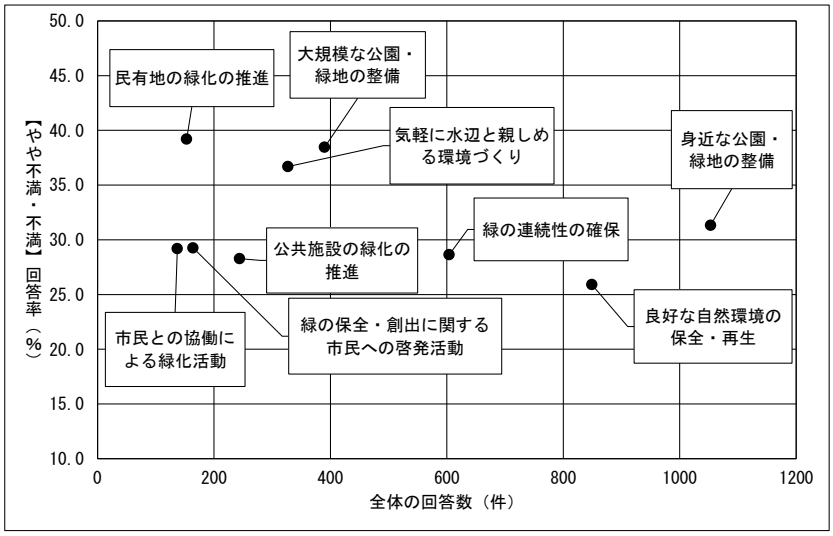
公園・緑地等の整備に対する現在の満足度	公共施設の緑化の推進	民有地の緑化の推進	市民との協働による緑化活動	緑の保全・創出の重要性に対する市民への啓発活動	その他
全体	244(14.6%)	153(9.2%)	137(8.2%)	164(9.8%)	93(5.6%)
満足	9(7.2%)	12(9.6%)	9(7.2%)	14(11.2%)	2(1.6%)
まあ満足	139(16.4%)	65(7.6%)	72(8.5%)	85(10.0%)	27(3.2%)
わからない	24(14.4%)	15(9.0%)	13(7.8%)	13(7.8%)	4(2.4%)
やや不満	56(16.5%)	41(12.1%)	28(8.2%)	35(10.3%)	22(6.5%)
不満	13(7.9%)	19(11.6%)	12(7.3%)	13(7.9%)	37(22.6%)
無回答	3(12.0%)	1(4.0%)	3(12.0%)	4(16.0%)	1(4.0%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、公園・緑地の整備施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－80　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の公園・緑地等の整備施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに公園・緑地等の整備施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

㉑環境の保全

市では、二酸化炭素排出量やエネルギー使用量の削減、大気や水質などの人の生活を取り巻く環境の改善などに取り組んでいます。

ー今後、特に力を入れてほしい取組みでは「騒音や悪臭などの身近な公害の苦情処理体制」のような日常の生活環境に直結する取組みの回答数が多いー

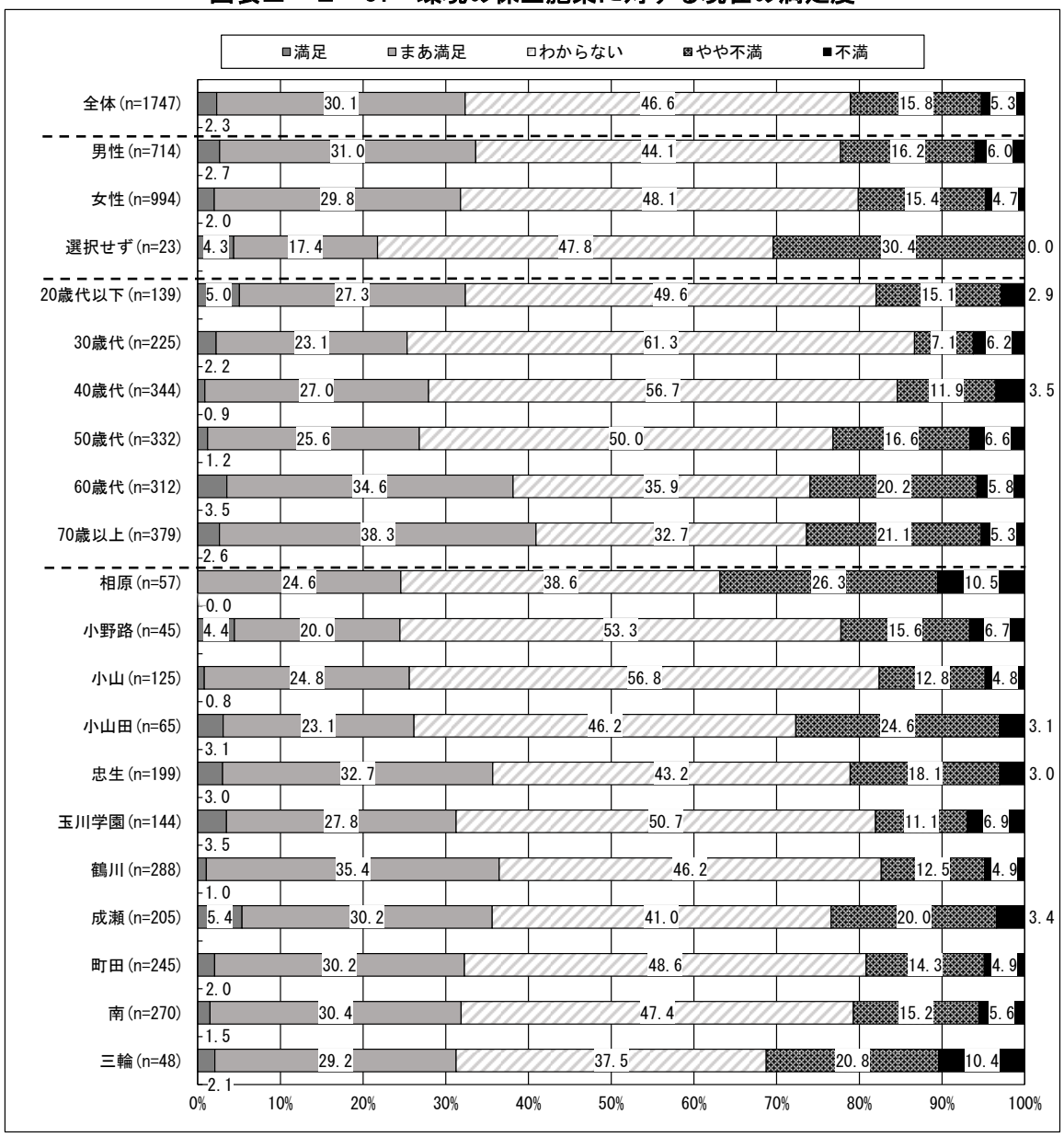
＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 32.3%で、不満（「やや不満」＋「不満」）の 21.1%を上回っていますが、「わからない」が 46.6%で最も割合が高くなっています。

○ 年代別にみると、満足（「満足」＋「やや満足」）は、「70 歳以上」が 40.9%で最も割合が高く、「60 歳代」が 38.1%でこれに次いでいます。

○ 地域別にみると、不満（「やや不満」＋「不満」）は 11 地域中、「相原（36.8%）」、「三輪（31.2%）」の２地域では 30%を超えています。

図表Ⅲ－２－81　環境の保全施策に対する現在の満足度



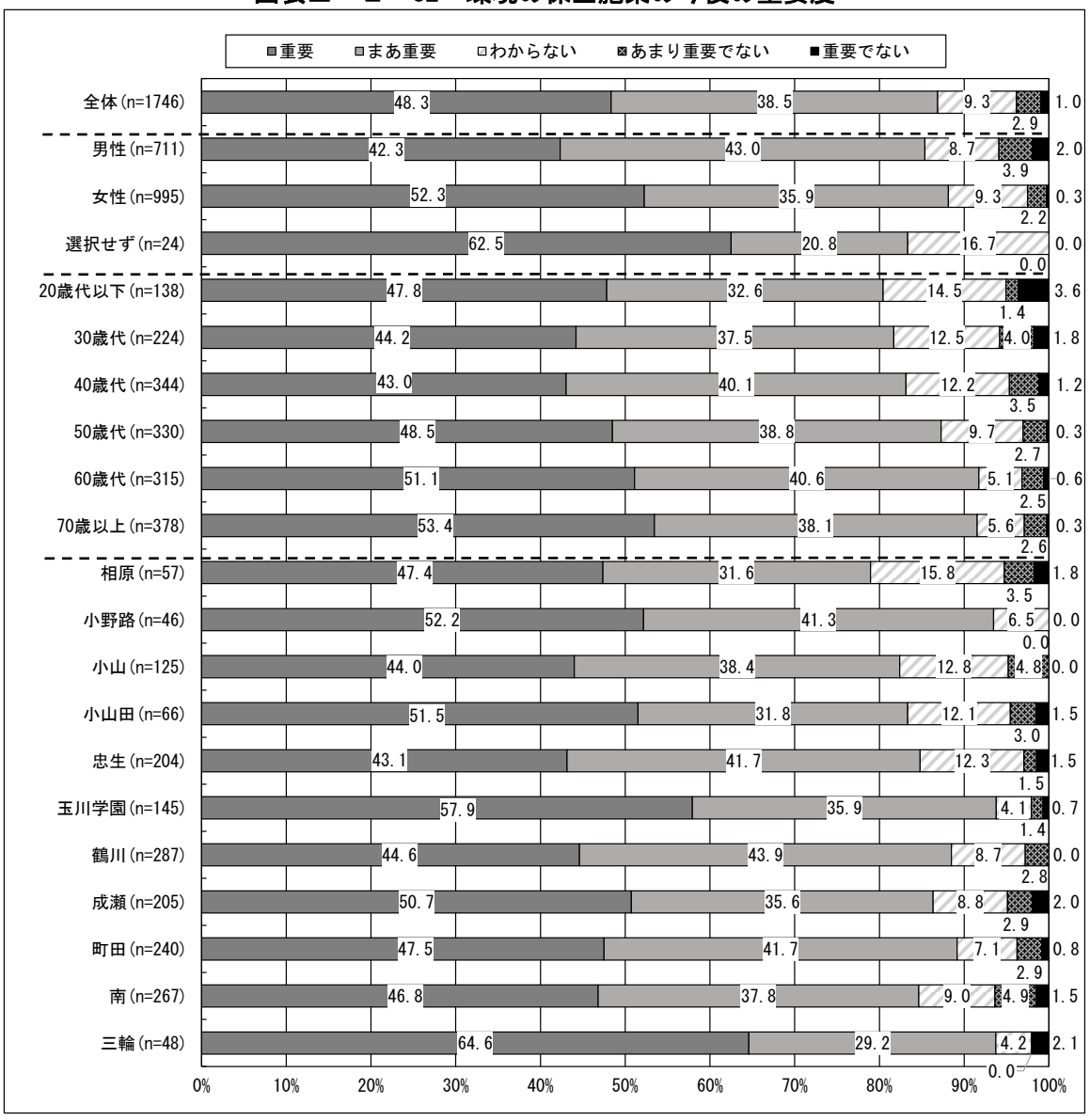
＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 86.8%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 3.9%、わからないが 9.3%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの年代も割合が 80%を超えており、その中でも「60 歳代」が 91.7%で最も高く、「70 歳以上」が 91.5%でこれに次いでいます。

○　地域別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、「玉川学園」と「三輪」が 93.8%で最も割合が高く、「小野路」が 93.5%でこれらに次いでいます。

図表Ⅲ－２－82　環境の保全施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「騒音や悪臭などの身近な公害の苦情処理体制」が 37.7%で選ばれた割合が最も高く、次いで「太陽光発電など自然エネルギーの普及促進」の 33.1%の順となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「騒音や悪臭などの身近な公害の苦情処理体制」がそれぞれ 39.4%、45.9%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－２－83　環境の保全施策への満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

環境の保全に対する現在の満足度	回答数	行政主導による温室効果ガス排出の抑制	市民・事業者が取り組める地球温暖化対策に関する啓発活動	太陽光発電など自然エネルギーの普及促進	大気や水質などの環境監視体制
全体	1,557	382(24.5%)	376(24.1%)	515(33.1%)	496(31.9%)
満足	34	7(20.6%)	12(35.3%)	10(29.4%)	8(23.5%)
まあ満足	481	124(25.8%)	127(26.4%)	146(30.4%)	161(33.5%)
わからない	674	152(22.6%)	151(22.4%)	242(35.9%)	208(30.9%)
やや不満	254	66(26.0%)	64(25.2%)	79(31.1%)	83(32.7%)
不満	85	28(32.9%)	15(17.6%)	28(32.9%)	24(28.2%)
無回答	29	5(17.2%)	7(24.1%)	10(34.5%)	12(41.4%)

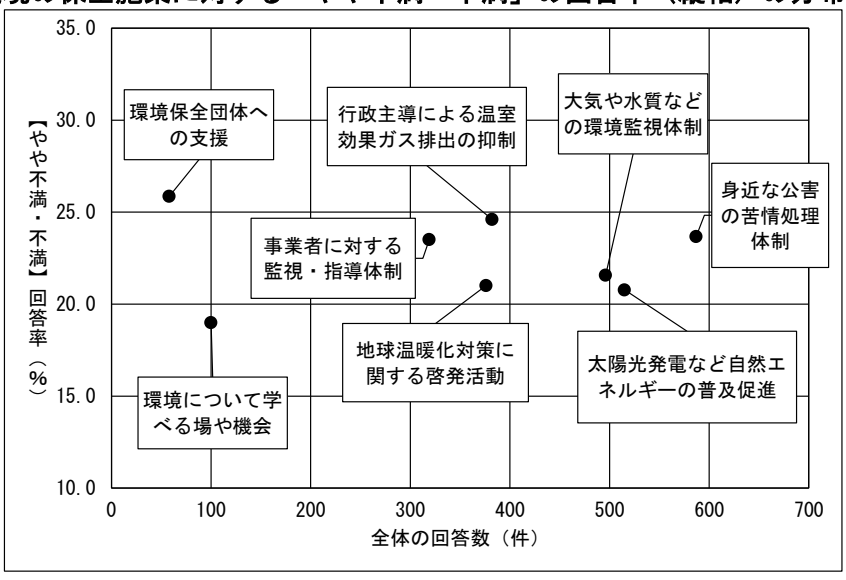
環境の保全に対する現在の満足度	事業者に対する監視・指導体制	騒音や悪臭などの身近な公害の苦情処理体制	環境について学べる場や機会	環境保全団体への支援	その他
全体	319(20.5%)	587(37.7%)	100(6.4%)	58(3.7%)	22(1.4%)
満足	4(11.8%)	15(44.1%)	3(8.8%)	3(8.8%)	0(0.0%)
まあ満足	95(19.8%)	162(33.7%)	36(7.5%)	18(3.7%)	5(1.0%)
わからない	140(20.8%)	262(38.9%)	39(5.8%)	21(3.1%)	8(1.2%)
やや不満	54(21.3%)	100(39.4%)	16(6.3%)	11(4.3%)	4(1.6%)
不満	21(24.7%)	39(45.9%)	3(3.5%)	4(4.7%)	4(4.7%)
無回答	5(17.2%)	9(31.0%)	3(10.3%)	1(3.4%)	1(3.4%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、環境の保全施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（P15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－84　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方の環境の保全施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとに環境の保全施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（P17 を参照）

㉒ごみ処理

市では、循環型社会の構築に向け、ごみの発生抑制や資源化などに取り組んでいます。

－今後力を入れてほしい取組みでは、「ごみの減量や資源化に関する市民への啓発活動」の回答数が最も多い―

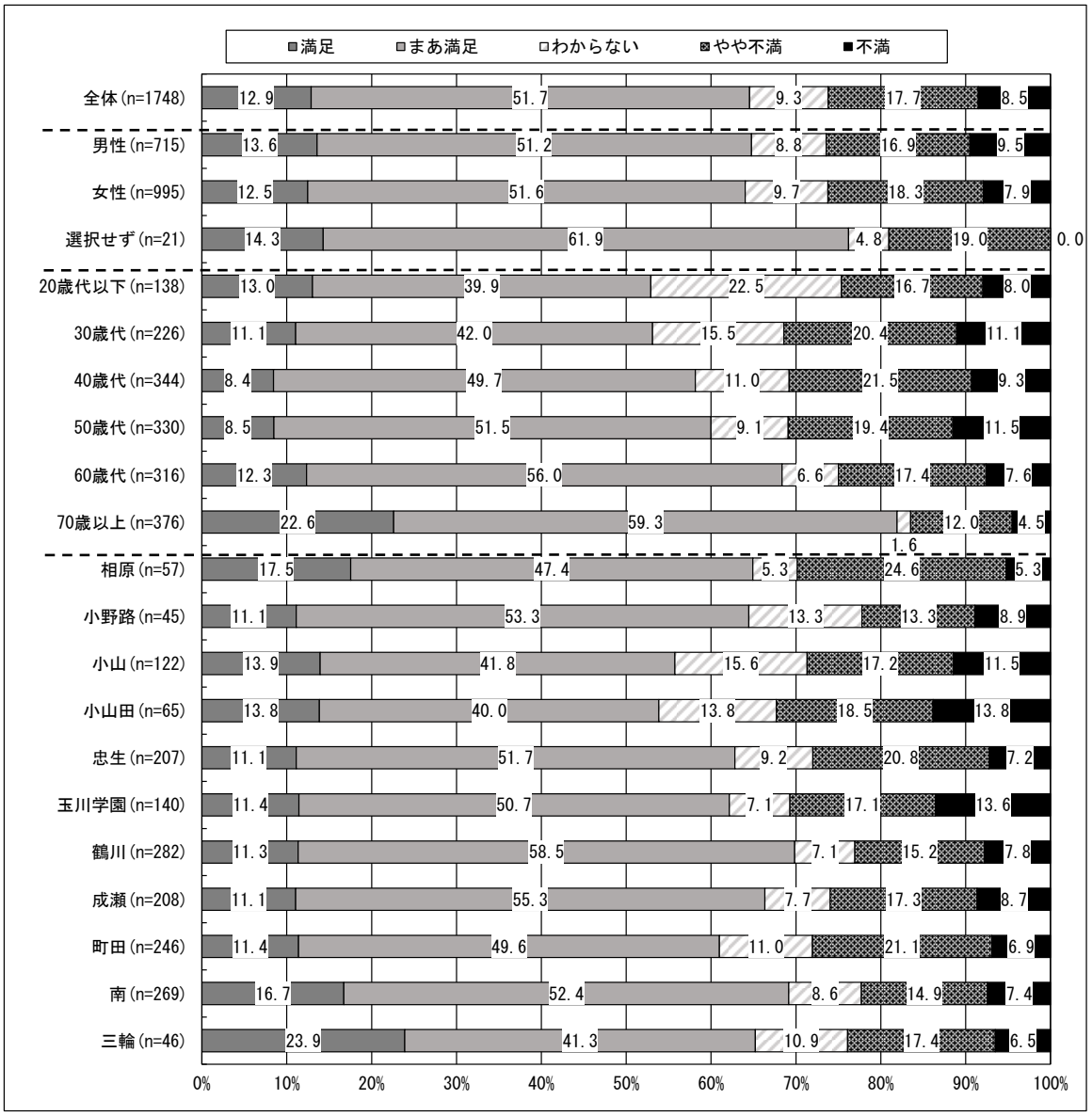
＜満足度＞

○ 全体では、満足（「満足」＋「やや満足」）が 64.6%であり、不満（「やや不満」＋「不満」）の 26.2%を大きく上回っているほか、「わからない」が 9.3%となっています。

○ 年代別にみると、いずれの年代も満足（「満足」＋「やや満足」）が半数を超えており、年代が上がるほど割合が高くなっています。

○ 地域別にみると、いずれの地域においても満足（「満足」＋「まあ満足」）が 50%を超えています。

図表Ⅲ－２－85　ごみ処理施策に対する現在の満足度



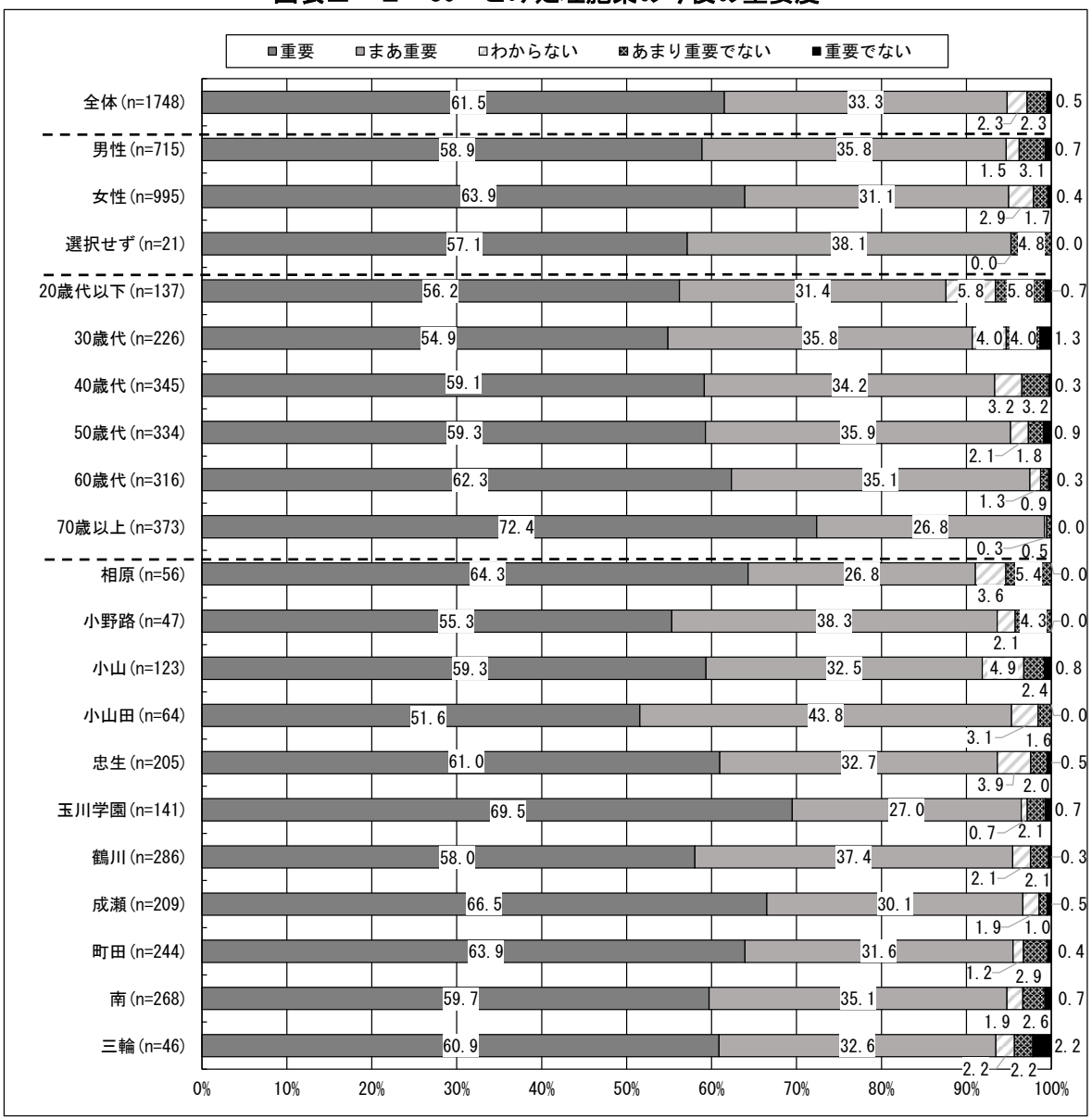
＜重要度＞

○　全体では、重要（「重要」＋「まあ重要」）が 94.8%、重要ではない（「あまり重要でない」＋「重要でない」）が 2.8%、「わからない」が 2.3%となっています。

○　年代別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの年代も割合が概ね 90%を超えていますが、「70 歳以上」が 99.2%で最も高く、「20 歳代以下」が 87.6%で最も低くなっています。

○　地域別にみると、重要（「重要」＋「まあ重要」）は、いずれの地域でも割合が 90%を超えており、「成瀬」が 96.6%で最も高く、「玉川学園」が 96.5%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－２－86　ごみ処理施策の今後の重要度



＜今後、特に力を入れてほしい取組み＞

○　全体では、「ごみの減量や資源化に関する市民への啓発活動」が 46.9%で選ばれた割合が最も高く、次いで「分別方法や排出方法の見直し」が 36.4%となっています。

○　満足度別にみても、「やや不満」及び「不満」で選ばれた割合は、「分別方法や排出方法の見直し」がそれぞれ 50.7%、55.3%で最も高くなっています。また、２番目に多い取組みについて、「やや不満」で選ばれた割合は「ごみの減量や資源化に関する市民への啓発活動」の 34.8%となっています。

図表Ⅲ－２－87　ごみ処理施策の満足度別、今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数・回答率

ごみ処理に対する現在の満足度	回答数	ごみの減量や資源化に関する市民への啓発活動	ごみの減量や資源化に取り組む市民活動団体への支援	分別方法や排出方法の見直し
全体	1,545	724(46.9%)	341(22.1%)	562(36.4%)
満足	178	108(60.7%)	49(27.5%)	41(23.0%)
まあ満足	788	430(54.6%)	204(25.9%)	228(28.9%)
わからない	117	50(42.7%)	21(17.9%)	55(47%)
やや不満	296	103(34.8%)	47(15.9%)	150(50.7%)
不満	141	25(17.7%)	15(10.6%)	78(55.3%)
無回答	25	8(32.0%)	5(20.0%)	10(40.0%)

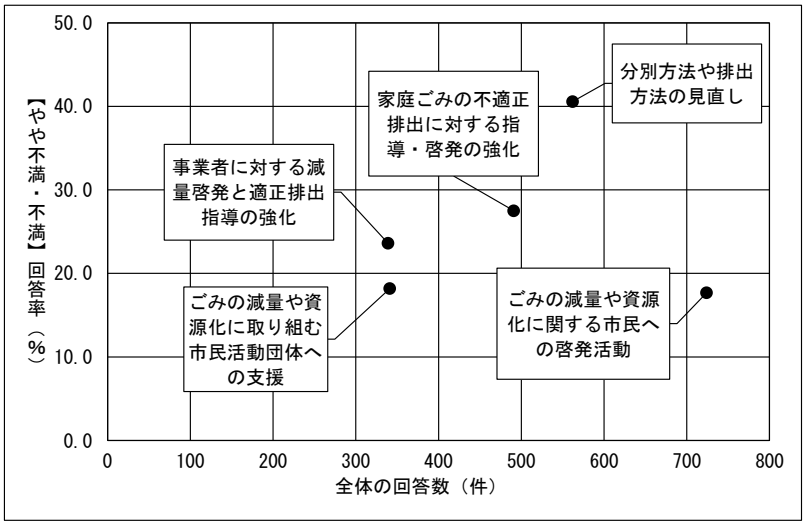
ごみ処理に対する現在の満足度	事業者に対する減量啓発と適正排出指導の強化	家庭ごみの不適正排出に対する指導・啓発の強化	その他
全体	339(21.9%)	491(31.8%)	147(9.5%)
満足	37(20.8%)	68(38.2%)	4(2.2%)
まあ満足	180(22.8%)	249(31.6%)	38(4.8%)
わからない	37(31.6%)	27(23.1%)	9(7.7%)
やや不満	64(21.6%)	97(32.8%)	39(13.2%)
不満	16(11.3%)	38(27.0%)	53(37.6%)
無回答	5(20.0%)	12(48.0%)	4(16.0%)

（単位：件）

注１）「カッコ内の%」は、ごみ処理施策に関する取組みごとの回答数（件）を満足度別の回答数（回答した人数）で除した数値になります。（Ｐ15・16 を参照）

２）濃い塗りつぶしは、満足度別に最も多く選択された取組みであり、薄い塗りつぶしは、満足度別に２番目に多く選択された取組みになります。

図表Ⅲ－２－88　今後、特に力を入れてほしい取組みの回答数（横軸）とその取組みを選んだ方のごみ処理施策に対する「やや不満・不満」の回答率（縦軸）の分布図



注）横軸の「全体の回答数（件）」は各取組みに回答した件数の総数、縦軸の「【やや不満・不満】回答率（%）」は取組みごとにごみ処理施策に対して「やや不満」及び「不満」と回答した割合を示しています。（Ｐ17 を参照）

3 「現在のまちのイメージ」と「今後あるべきまちのイメージ」【問 23】

（1）順位別で見たまちのイメージ

ー現在は、「買い物が便利で、緑豊かな住環境に恵まれたまち」、今後は、「医療が充実し、防犯・防災体制が整ったまち」が上位ー

① 現在のまちのイメージ

○ 第１位に選ばれたまちのイメージは、「商業施設が充実した買い物が便利なまち」が 27.7%で割合が最も高く、次いで「緑豊かな住環境に恵まれたまち」が 18.3%となっています。

○ 第２位に選ばれたまちのイメージは、「商業施設が充実した買い物が便利なまち」が 16.0%で割合が最も高く、次いで「緑豊かな住環境に恵まれたまち」が 14.1%となっています。

○ 第３位に選ばれたまちのイメージは、「緑豊かな住環境に恵まれたまち」が 14.4%で割合が最も高く、次いで「鉄道・バスなどの公共交通が充実しているまち」が 11.7%となっています。

図表Ⅲ－３－１　現在のまちのイメージ

順位	全体（件）	子育て施設・サービスが充実しているまち	小・中学校における教育が充実しているまち	医療施設が充実しているまち	高齢者や障がい者（児）にやさしいまち	地域活動や市民活動の活発なまち	防災・防犯体制が整ったまち	商業施設が充実した買い物が便利なまち	ものづくり産業が盛んなまち	農業が盛んなまち	学習文化施設や活動が充実しているまち	スポーツ関連施設や活動が充実しているまち	都市基盤が充実しているまち	緑豊かな住環境に恵まれたまち	公共交通が充実しているまち	環境にやさしいまち
1位	1,610	7.3	3.5	2.8	17.6	2.5	1.5	27.7	0.3	1.6	5.3	1.9	1.6	18.3	6.9	1.2
2位	1,559	5.5	4.2	3.7	7.8	4.5	2.6	16.0	1.1	3.5	13.2	4.9	3.8	14.1	13.1	2.1
3位	1,510	4.4	4.1	3.9	8.1	4.8	2.3	9.7	1.1	5.2	11.4	7.2	6.0	14.4	11.7	5.8

単位：%

② 今後あるべきまちのイメージ

○ 第１位に選ばれたまちのイメージは、「医療施設が充実しているまち」が 17.0%で割合が最も多く、次いで「子育て施設・サービスが充実しているまち」が 16.3%となっています。

○ 第２位に選ばれたまちのイメージは、「医療施設が充実しているまち」が 13.7%で割合が最も多く、次いで「防災・防犯体制が整ったまち」が 12.2%となっています。

○ 第３位に選ばれたまちのイメージは、「医療施設が充実しているまち」が 11.5%で割合が最も多く、次いで「防災・防犯体制が整ったまち」が 11.2%となっています。

図表Ⅲ－３－２　今後あるべきまちのイメージ

順位	全体（件）	子育て施設・サービスが充実しているまち	小・中学校における教育が充実しているまち	医療施設が充実しているまち	高齢者や障がい者（児）にやさしいまち	地域活動や市民活動の活発なまち	防災・防犯体制が整ったまち	商業施設が充実した買い物が便利なまち	ものづくり産業が盛んなまち	農業が盛んなまち	学習文化施設や活動が充実しているまち	スポーツ関連施設や活動が充実しているまち	都市基盤が充実しているまち	緑豊かな住環境に恵まれたまち	公共交通が充実しているまち	環境にやさしいまち
1位	1,725	16.3	7.2	17.0	12.0	1.0	9.2	6.7	0.9	0.3	2.8	2.4	3.6	10.3	6.7	3.5
2位	1,717	8.0	9.0	13.7	11.5	2.3	12.2	6.6	1.2	1.5	5.1	3.5	6.4	6.5	8.7	3.8
3位	1,706	5.6	5.0	11.5	8.8	2.9	11.2	7.2	2.2	2.2	5.9	4.3	6.3	10.6	9.8	6.4

単位：%

（２）相対的に見たまちのイメージ

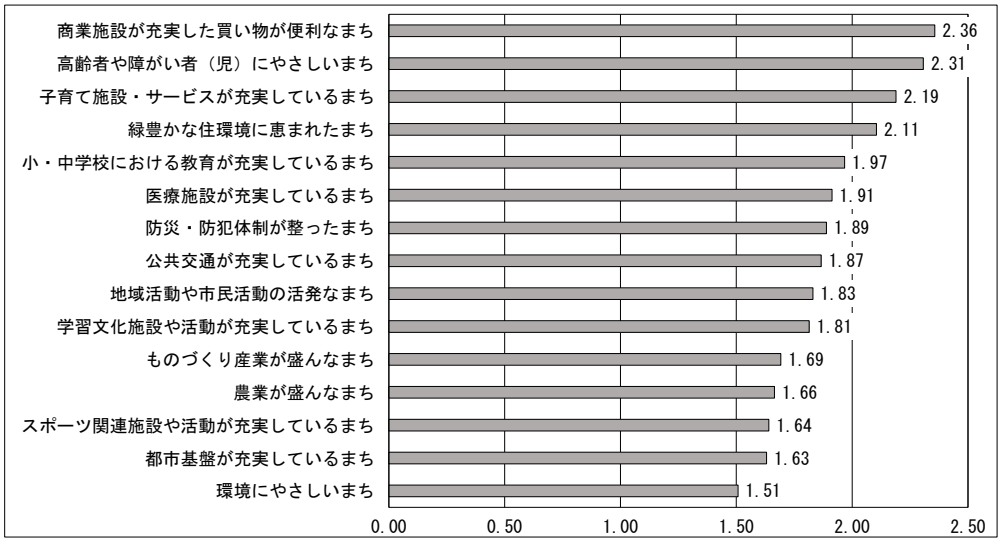
ー環境、医療、都市基盤は、現在のまちのイメージと今後あるべきまちのイメージの差が比較的大きいー

①現在のまちのイメージ

○　加重平均値※により、相対的に見たまちのイメージについて、上位１位から 10 位までを抽出した結果、「商業施設が充実した買い物が便利なまち」が最も高く、以下「高齢者や障がい者（児）にやさしいまち」、「子育て施設・サービスが充実しているまち」の順となっています。

※本項の加重平均値は、１位、２位、３位にそれぞれ３点、２点、１点という点数を設定し、「加重平均値＝（３点×Ｗ１＋２点×Ｗ２＋１点×Ｗ３）／（Ｗ１＋Ｗ２＋Ｗ３）（Wは各順位に回答した人数）」の計算式で算出しています。

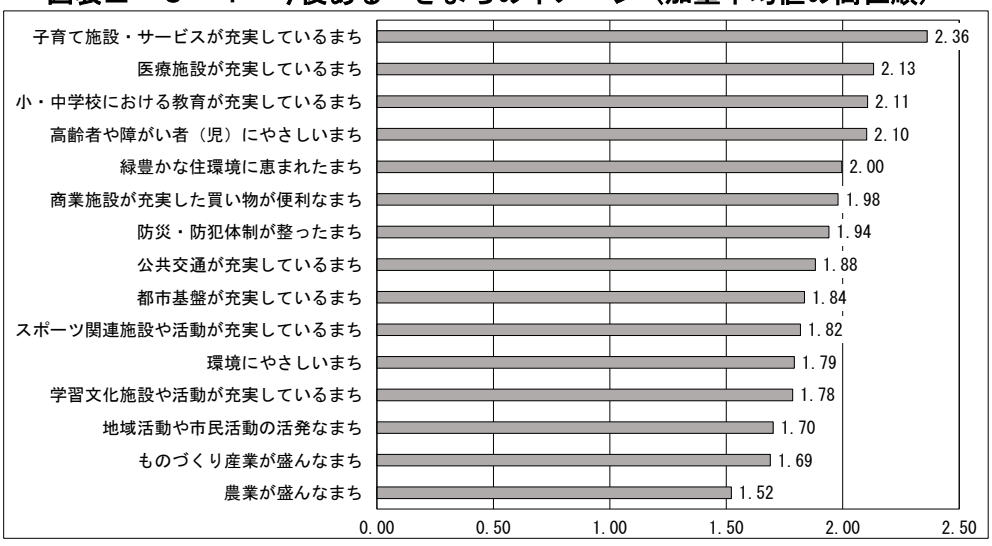
図表Ⅲ－３－３　現在のまちのイメージ（加重平均値の高位順）



③今後あるべきまちのイメージ

○　「子育て施設・サービスが充実しているまち」の加重平均値が最も高く、以下「医療施設が充実しているまち」、「小・中学校における教育が充実しているまち」の順となっています。

図表Ⅲ－３－４　今後あるべきまちのイメージ（加重平均値の高位順）



③ 現在のまちのイメージと今後あるべきまちのイメージの比較

○ 図表Ⅱ－３－５は、上段に現在のまちのイメージの加重平均値、下段に今後あるべきまちの加重平均値を配したグラフです。また、図表Ⅱ－３－６は、現在と今後の加重平均値の差と順位の変化を比較したものです。

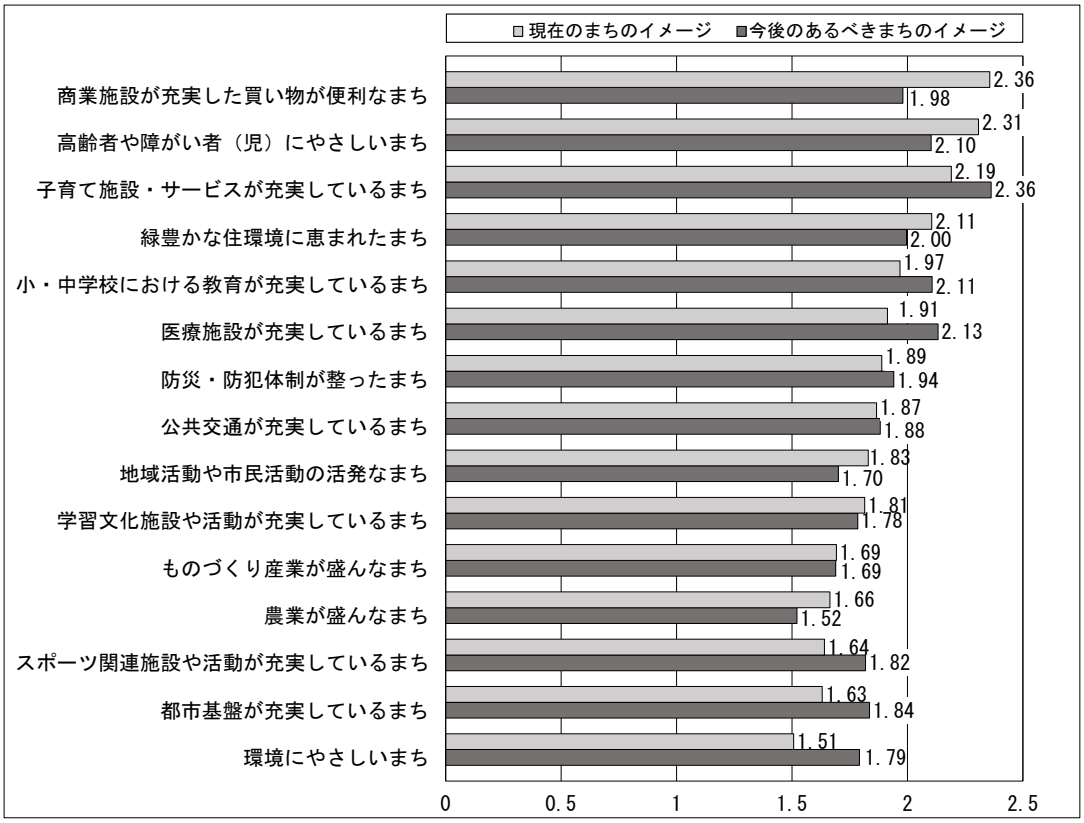
○ これらのイメージの中で、現在に比べ今後の順位が下がったものや変わらなかったものは、市民の期待や関心の変化が相対的に少ないことを示しています。

○ また、現在に比べ今後の順位が上がったものや加重平均値のプラスの差が大きい場合は、市民の期待や関心が相対的に高いことを示しています。

○ 現在と今後の加重平均値のプラスの差が最も大きかったまちのイメージは、「環境にやさしいまち（＋0.29)」であり、以下「医療施設が充実しているまち（＋0.22)」、「都市基盤が充実しているまち（＋0.21)」の順となっています。

○ 「子育て施設・サービスが充実しているまち」は、現在のまちのイメージでは３位ですが、今後あるべきまちのイメージでは１位となっています。

図表Ⅲ－３－５　現在のまちのイメージと
今後あるべきまちのイメージの加重平均値の差（現在のイメージの加重平均値高位順）



図表Ⅲ－３－６　現在のまちのイメージと
今後あるべきまちのイメージの加重平均値の差（現在のイメージの加重平均値高位順）

	現在のまちのイメージ		今後あるべきまちのイメージ		現在のまちのイメージと今後あるべきまちのイメージの差	
	順位	加重平均値	順位	加重平均値	順位	加重平均値
商業施設が充実した買い物が便利なまち	1	2.36	6	1.98	↘	▲ 0.38
高齢者や障がい者(児)にやさしいまち	2	2.31	4	2.10	↘	▲ 0.21
子育て施設・サービスが充実しているまち	3	2.19	1	2.36	↗	0.17
緑豊かな住環境に恵まれたまち	4	2.11	5	2.00	↘	▲ 0.11
小・中学校における教育が充実しているまち	5	1.97	3	2.11	↗	0.14
医療施設が充実しているまち	6	1.91	2	2.13	↗	0.22
防災・防犯体制が整ったまち	7	1.89	7	1.94	→	0.05
公共交通が充実しているまち	8	1.87	8	1.88	→	0.01
地域活動や市民活動の活発なまち	9	1.83	13	1.70	↘	▲ 0.13
学習文化施設や活動が充実しているまち	10	1.81	12	1.78	↘	▲ 0.03
ものづくり産業が盛んなまち	11	1.69	14	1.69	↘	0.00
農業が盛んなまち	12	1.66	15	1.52	↘	▲ 0.14
スポーツ関連施設や活動が充実しているまち	13	1.64	10	1.82	↗	0.18
都市基盤が充実しているまち	14	1.63	9	1.84	↗	0.21
環境にやさしいまち	15	1.51	11	1.79	↗	0.28

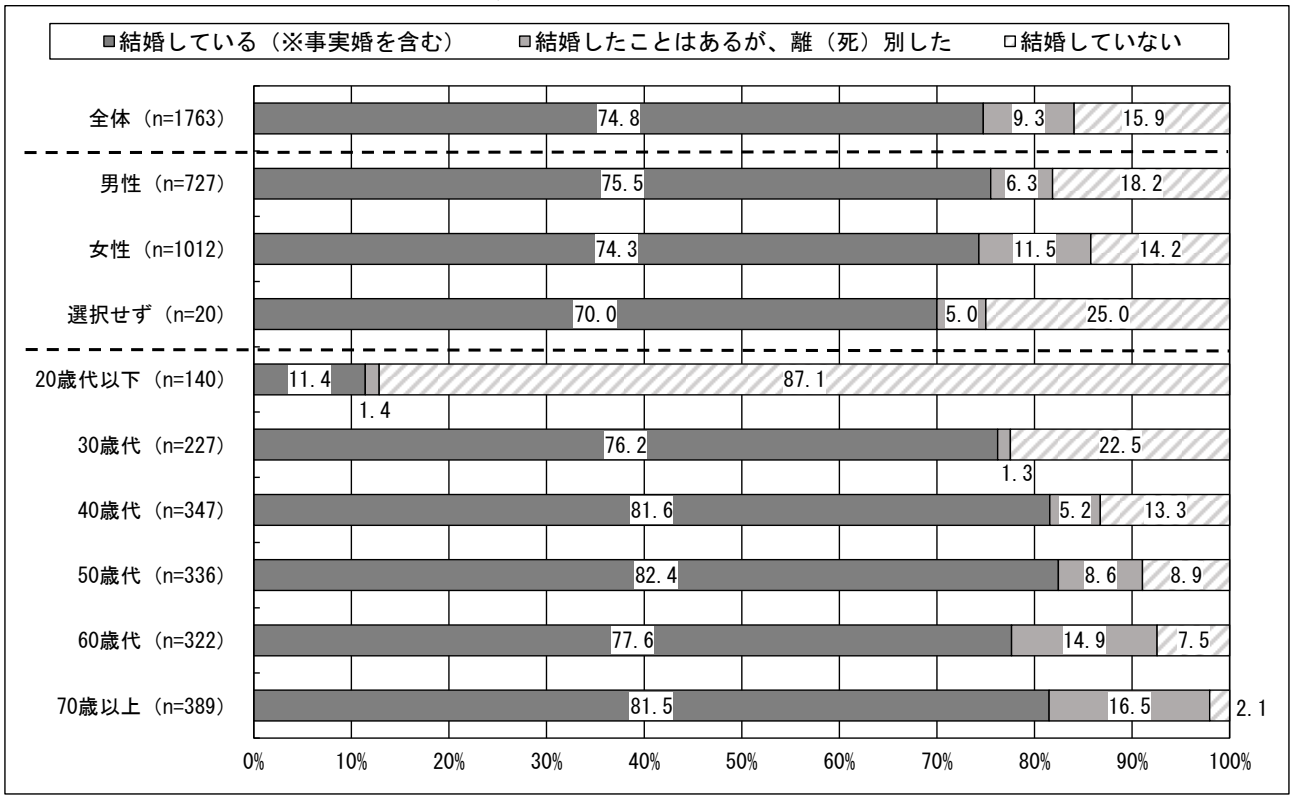
4　結婚、子どもの数【問 31～32】

（１）結婚の状況

○　全体では、「結婚している（※事実婚を含む）」が 74.8%、「結婚していない」が 15.9%となっています。

○　年代別にみると、「結婚している（※事実婚を含む）」は、「20 歳代以下」が 11.4%と低い一方で、「30 歳代」以上ではいずれも 75%を超えており、特に「40 歳代」、「50 歳代」及び「70 歳以上」では 80%台となっています。

図表Ⅲ－４－１　結婚の状況



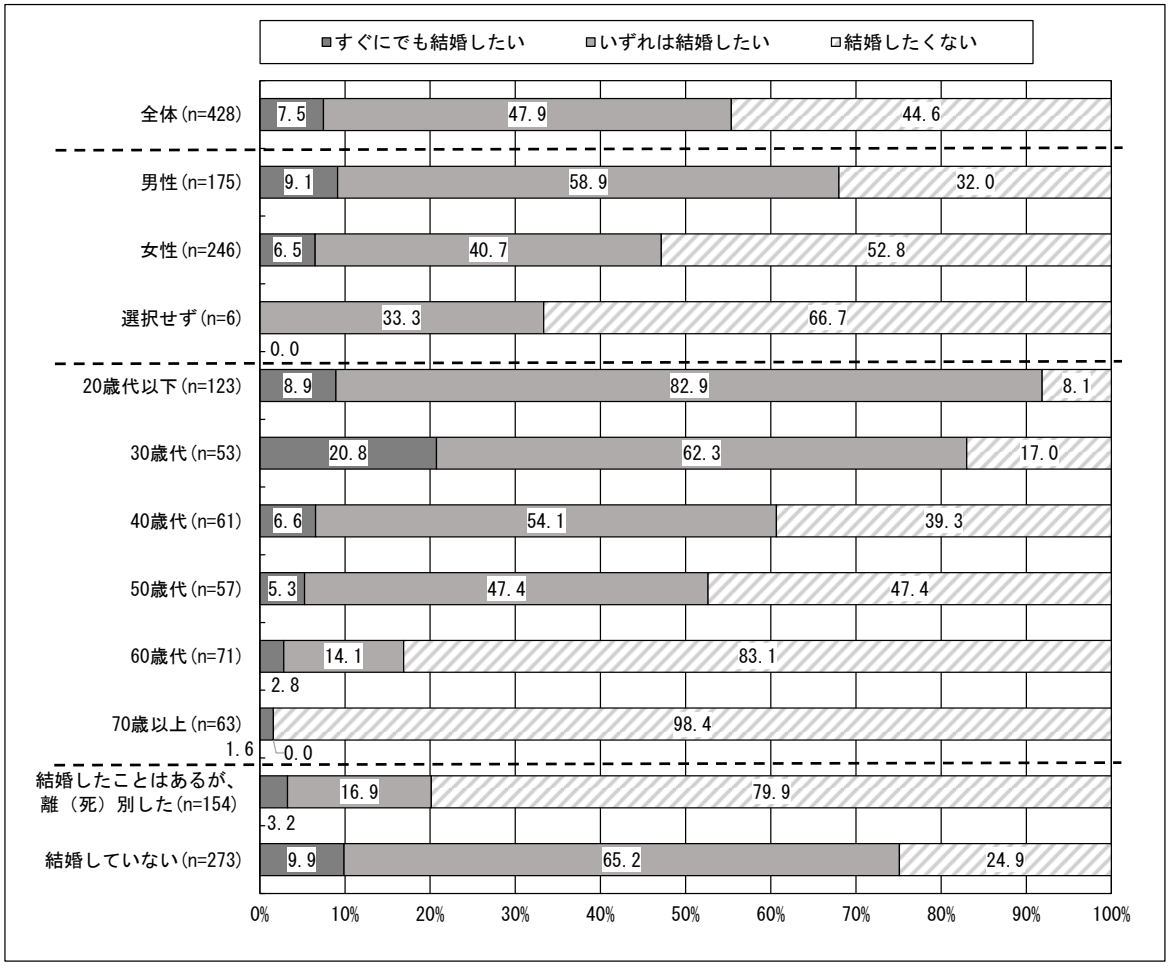
（２）結婚の意向

○　男女別にみると、結婚したい（「すぐにでも結婚したい」＋「いずれは結婚したい」）は男性の 68.0%が、女性の 47.2%を 20.8 ポイント上回っている。

○　年代別にみると、結婚したいは、「20 歳代以下」が 91.8%、「30 歳代」が 83.1%と高くなっています。

○　結婚の状況で、結婚していない（「結婚したことはあるが、離（死）別した」を除く）回答者に今後の結婚の意向を質問した結果、75.1%が結婚したい（「すぐにでも結婚したい」＋「いずれは結婚したい」）と考えています。

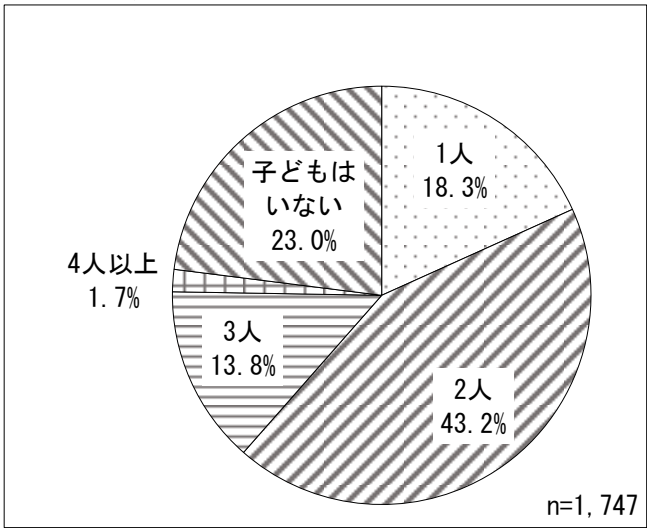
図表Ⅲ－４－２　「結婚したことはあるが離（死）別」、「結婚していない」とした回答者の結婚に対する希望



（３）現在の子どもの数

○現在の子どもの数では、「２人」が 43.2%で最も多く、以下「子どもはいない」の 23.0%、「１人」の 18.3%の順となっています。

図表Ⅲ－４－３　現在の子どもの数

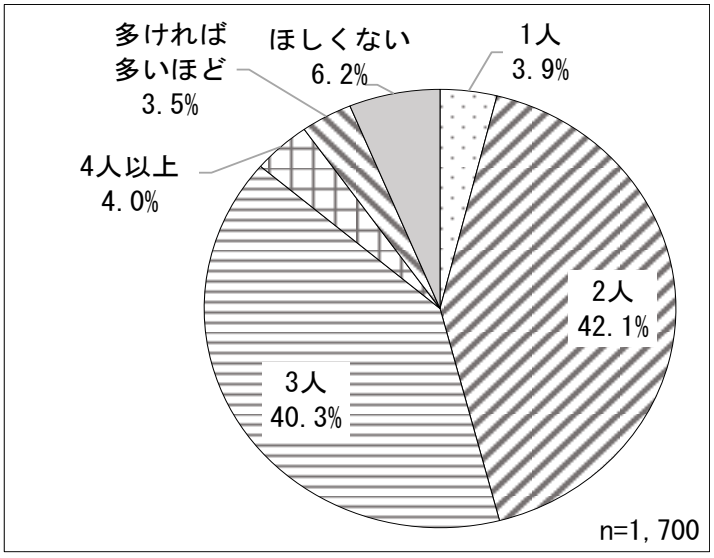


（４）理想の子どもの数

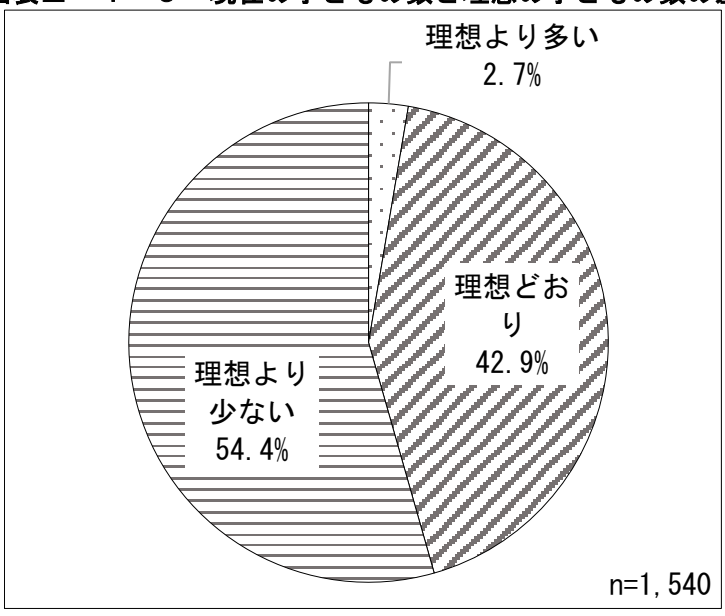
○できれば持ちたい理想の子どもの数を質問した結果、最も多かったのは「２人」の 41.1%、次いで「３人」の 40.3%であり、両者の合計が全体の 81.4%を占めています。

○さらに、現在いる子どもの数について、理想の子どもの数に比べてどう思うかを質問したところ、「理想より少ない」が 54.4%と半数を超え、「理想どおり」の 42.9%を 11.5 ポイント上回っています。

図表Ⅲ－４－４　希望する子どもの数



図表Ⅲ－４－５　現在の子どもの数と理想の子どもの数の差



（５）希望出生率

○　「希望出生率」とは、若い世代における、結婚、子どもの数に関する希望がかなうとした場合に想定される出生率です。

～希望出生率の算出方法～

希望出生率＝（①有配偶者割合×②夫婦の予定子ども数
＋③独身者割合×④独身者のうち結婚を希望する者の割合×⑤独身者の希望子ども数）
×⑥離別等の影響※1

出典：「将来の人口動向等について」平成 31 年 4 月 22 日（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局）をもとに作成

＜町田市の希望出生率＞

○　本市では、上記の計算式に準拠し、希望出生率を算出しています。

図表Ⅲ－４－６　町田市の数値の根拠

項目	数値	根拠
町田市の希望出生率	1.91	－
①有配偶者割合	26.4%	総務省統計局「国勢調査」（平成 27 年）における町田市の 18～34 歳女性の有配偶者割合
②夫婦の予定子ども数	2.39	今回の市民意識調査の回答者のうち、10 歳代から 40 歳代の有配偶女性が予定する子どもの数※2（285 人が回答）
③独身者割合	73.6%	１－有配偶者割合
④独身者のうち結婚を希望する者の割合	90.1%	今回の市民意識調査の回答者のうち、10 歳代から 30 歳代の女性で、「結婚していない」を選んだ人（91 人）の中で、「すぐにでも結婚したい」、「いずれは結婚したい」を選んだ人（82 人）の割合
⑤独身者の希望子ども数	2.06	上記④回答者が希望する子ども数※2（79 人が回答）
⑥離別等の影響※1	0.955	国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 29 年推計）」における出生中位の仮定に用いられた離死別等の影響

※１ 離婚や死別、再婚等を経験した女性の完結出生児数は、初婚同士の夫婦に比べて低い傾向にあるため、初婚夫婦同士に基づく出生児数を全ての既婚女性の平均出生児数に変換に用いる数値。

※２ ②及び⑤の子ども数について、「多ければ多いほど」の回答者は、便宜上、計算の対象外としている。

例）夫婦の予定子ども数【2.39】＝（「１人」の回答数【14 人】×１人＋「２人」の回答数【130 人】
×２人＋「３人」の回答数【117 人】×３人＋「４人以上」の回答数【14 人】
×４人＋「ほしくない」の回答数【10 人】×０人）÷285 人（回答総数）

＜国の希望出生率（参考）＞

図表Ⅲ－４－7　国の数値の根拠（参考）

項目	数値	根拠
国の希望出生率	1.79	－
①有配偶者割合	32.0%	総務省統計局「国勢調査」（平成 27 年）における 18～34 歳の有配偶者割合（女性）
②夫婦の予定子ども数	2.01	国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査（第 15 回、平成 27 年）」における夫婦の平均予定子ども数
③独身者割合	68.0%	１－有配偶者割割合
④独身者のうち結婚を希望する者の割合	89.3%	上記「出生動向基本調査」における 18～34 歳の独身者のうち「いずれ結婚するつもり」と答えた者の割合（女性）
⑤独身者の希望子ども数	2.02	上記「出生動向基本調査」における 18～34 歳の独身者（「いずれ結婚するつもり」と答えた者）の平均希望子ども数（女性）
⑥離別等の影響	0.955	国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 29 年推計)」における出生中位の仮定に用いられた離死別等の影響

出典：「将来の人口動向等について」平成 31 年 4 月 22 日（内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局）をもとに作成

５　自由回答の件数まとめ

＜自由回答ご意見件数一覧＞

○　有効回収数 1,791 件中、自由回答への記入件数は 770 件（43.0%）です。

○　これらの意見を【子育て・教育分野】、【健康福祉、市民生活分野】、【経済、文化・スポーツ分野】、【都市基盤、環境分野】、【行政経営改革分野】、【その他】に分類し、それぞれをさらにいくつかの項目に分類すると、延べ意見数は 2,064 件となります。

（件）

０１　子育て・教育分野	
０１　保育園・幼稚園	２２
０２　子育て支援	６０
０３　小学校・中学校教育	７５
０４　学童保育	２１
０５　青少年の健全育成	１３
０６　生涯学習	１４
０７　図書館	１９
０８　その他	１５
０２　健康福祉、市民生活	
０１　健康づくり	１４
０２　医療体制	６３
０３　高齢者福祉	５５
０４　介護保険	５
０５　障がい者福祉	２５
０６　生活支援	９
０７　市民活動	６７
０８　防災対策	３３
０９　防犯対策	６８
１０　その他	１４
０３　経済、文化・スポーツ	
０１　商業活性化	６９
０２　農業振興	１５
０３　文化芸術振興	２６
０４　スポーツ振興	４７
０５　シティプロモーション	２３
０６　その他	３

（件）

０４　都市基盤、環境	
０１　道路整備	１１６
０２　歩道整備	７５
０３　駅周辺整備	７１
０４　交通安全	６５
０５　公共交通（電車）	５２
０６　公共交通（バス）	１０３
０７　自転車利用環境	３３
０８　住宅環境	３２
０９　生活利便性	５１
１０　公園整備	７１
１１　緑地保全	８６
１２　ごみ	５２
１３　まちの景観	２６
１４　生活環境	７２
１５　その他	６
０５　行政経営改革	
０１　市政運営	１２４
０２　市民意見	４５
０３　職員	１５
０４　議会	５
０５　財政運営	４４
０６　本庁舎	７
０７　市民病院	１６
０８　公共施設	３６
０９　情報発信	５８
１０　その他	０
０６　その他	
０１　他官公庁への意見	２
０２　その他	２６

Ⅳ　資料（アンケート調査票）

町田市の新たなまちづくりに向けた市民意識調査
～アンケート調査にご協力ください～

市民の皆様には平素から市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

現在、町田市では、２０２２年度からの目指すべきまちの将来像とその実現に向けた目標を示す、新たな基本構想・基本計画の策定作業を進めています。

今回のアンケート調査は、町田市がこれまで取り組んできた施策に対する満足度や今後、力を入れるべき施策などについて、皆様のご意見を伺い、新たな基本構想・基本計画の策定検討における重要な基礎情報とするために実施するものです。

本調査の対象として、市内にお住まいの５，０００人の方を無作為に選びましたところ、あなたに回答をお願いすることになりました。本調査は無記名で行い、回答結果は統計的に処理するため、記入者が特定されることはありません。

お忙しい中、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

２０１９年６月

町田市長　石阪　丈一

＊＊＊ご回答に際してのお願い＊＊＊

・封筒の宛名に表示のあるご本人がお答えください。
　※ご本人の記入が難しい場合は、ご家族の方に代筆いただいても構いません。
　　ご本人が回答できない場合は、お手数ですが、同封のアンケート調査票は
　　破棄してください。
・おおむね最近１年間程度の状況でお答えください。
・同封のアンケート調査票に黒のボールペンまたは鉛筆で、直接ご記入ください。
・回答は、あてはまる項目の番号に○をつけてください（問２３・２９を除く）。
　質問ごとに指定された数だけ○をつけてください。指定数よりも「○」の数が多い場合、集計上無効になってしまいますので、お気をつけください。
　なお、「その他」を選択した場合には、(　　)内に具体的な内容をご記入ください。
・回答に迷う場合は、あなたの考えにできるだけ近いものをお選びください。
・回答を修正する場合は、二重線で消したうえでご記入ください。

ご記入いただいたアンケート調査票は同封の返信用封筒に入れて

２０１９年７月８日（月）までに

お近くのポストへご投函ください。（※ 無記名で、切手は不要です）

＜アンケート調査票＞

１ 「市がこれまで取り組んできた施策」に対する現在の満足度と今後の重要度

今後、特に力を入れてほしい取組みについて、うかがいます。

問１ 「子育て支援」についてうかがいます。

市では、母子保健の充実、多様な保育・幼児教育の充実、身近なところで子育てに関する相談や子育て家庭同士の交流ができる機会の提供などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は３つまで）

１ 母親と子どもの健康づくり
２ 多様な保育・幼児教育の充実
３ 障がい児への発達支援
４ 育児に対する経済的負担の軽減
５ ひとり親家庭への支援
６ 子育てに関する相談・支援体制
７ 児童虐待の防止対策
８ 保育園の待機児童対策
９ 親子が集える交流の場や機会の創出
10 近隣で身近に支え合える環境づくり
11 不妊や不育症など出産の悩みを抱える夫婦に対する取組み
12 その他（　　）
13 特にない

問２ 「学校教育」についてうかがいます。

市では、確かな学力、豊かな心、健やかな体をはぐくむための教育の推進、学校施設の充実、地域ぐるみで児童・生徒を育てる体制の整備などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は３つまで）

１　児童・生徒の学力向上のための取組み
２　英語教育や授業におけるICT（情報通信技術）の活用など、新たな時代に必要な資質・能力を育むための取組み
３　児童・生徒の体力向上、健康づくりのための取組み
４　いじめ・不登校防止対策
５　特別な支援を必要とする児童・生徒への支援
６　家庭・地域と連携した教育活動
７　地域への誇りや愛情を育む教育
８　専門的な人材の配置など、学校の機能強化に向けた取組み
９　教員の指導力向上に向けた取組み
10　学校施設・設備の適切な保全と計画的な更新
11　その他（　　）
12　特にない

問３　「青少年育成」についてうかがいます。

市では、豊かな体験・交流ができる機会の充実、若者の社会的自立の支援などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　学童保育クラブの待機児童対策
２　放課後の充実した活動・居場所づくり
３　様々な体験や世代間交流ができる機会
４　思春期の悩みを相談しやすい体制
５　青少年が被害者となる犯罪・事故対策
６　非行防止対策
７　貧困家庭に対する支援
８　ひきこもりの防止対策
９　その他（　　）
10　特にない

問４　「健康・医療」についてうかがいます。

市では、健康診断の受診推進、健康に関する相談窓口の強化、地域保健体制の強化、感染症や食中毒などの予防、地域医療体制の充実などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は３つまで）

１　市民の自主的な健康づくりを促すための啓発活動
２　がんや脳卒中など生活習慣病の予防対策
３　健康増進のための施設整備
４　うつ病などのメンタルヘルス対策
５　保健・医療サービスに関する情報の提供
６　緊急時の救急医療体制
７　在宅医療の支援体制
８　市民病院の機能強化
９　救急車の適正利用を促すための啓発活動
10　その他（　　）
11　特にない

問５　「高齢者福祉」についてうかがいます。

市では、高齢者の活動の場の充実、介護予防の促進、元気な高齢者が活躍できる環境づくり、高齢者支援センターの機能の充実、介護施設の整備などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は３つまで）

１　高齢者の就労支援
２　高齢者の生きがいづくり
３　高齢者の心身の健康づくり
４　支援が必要な高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援体制
５　介護人材の確保・育成
６　介護サービスの充実
７　ごみ出しなどの生活支援サービスの提供
８　高齢者が住みやすい住宅の確保
９　高齢者を地域で支え合う体制づくり
10　介護予防・認知症対策
11　新しい介護施設の整備
12　その他（　　）
13　特にない

問６　「障がい者福祉」についてうかがいます。

市では、障がい者の就労支援、一時預かりの充実、介護者同士の交流の場の設置、障がい者支援センターの運営などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　障がい者の就労支援
２　在宅での福祉サービス
３　障がい者やその家族からの相談体制
４　障がい者の虐待防止対策
５　障がいの早期発見、早期治療、療育体制
６　外出時の支援
７　障がい者への理解の促進及び差別解消の推進
８　障がい者の日中活動の場づくり
９　その他（　　）
10　特にない

問７　「地域福祉」についてうかがいます。

市では、地域福祉の担い手を増やすため、地域で支え合うことができる福祉の促進などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　地域課題の解決に取り組んでいる市民活動団体への支援
２　ボランティアの育成・活動の支援
３　市民活動団体やボランティア団体に関する情報提供
４　生活困窮者の自立支援
５　市民後見人の育成・活動の支援
６　地域での見守り・声かけ活動の支援
７　地域での困りごとの相談体制
８　その他（　　）
９　特にない

問８　「地域コミュニティ」についてうかがいます。

市では、地域の活動に参加するきっかけづくり、市民活動の相談窓口の充実、地域の人々が集まって活動できる場の確保などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　町内会・自治会が取り組む各種活動への支援
２　若い世代が市民活動に参加するためのきっかけづくり
３　ボランティア・NPO と行政との連携強化
４　町内会・自治会やボランティア・NPO などの団体間の連携強化
５　市民が集まって活動できる場所の確保
６　市民活動に関する情報提供の充実
７　その他（　　）
８　特にない

問９　「防災」についてうかがいます。

市では、市民の防災意識の向上、減災対策の推進、市民と防災情報を共有する仕組みづくり、災害時の都市復興マニュアルの策定などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は３つまで）

１　地域での自主的な防災活動をけん引する自主防災リーダーの育成
２　自主防災組織の育成・活動の支援
３　市民の防災意識を高めるための啓発活動
４　実践的な防災訓練
５　避難所の運営体制の整備
６　住宅の耐震化への支援
７　道路や下水道などのインフラの耐震化
８　防災拠点、避難場所などの整備
９　河川改修などによる水害防止対策
10　局所的な集中豪雨に対する雨水排水対策
11　その他（　　）
12　特にない

問１０　「防犯」についてうかがいます。

市では、防犯対策の推進や迷惑行為の防止などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　地域団体が行う自主防犯活動への支援
２　市民の防犯意識を高めるための啓発活動
３　実践的な防犯訓練・防犯教育
４　防犯カメラの設置などによる犯罪が起こりにくい環境づくり
５　駅周辺部などにおけるパトロール活動
６　犯罪発生に関する迅速な情報提供
７　その他（　　）
８　特にない

問１１　「産業振興」についてうかがいます。

市では、事業者の成長ステージに応じた経営支援や、多様な働き方ができる環境の整備などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　起業・創業者のニーズに応じた支援
２　独自性のある技術や製品の研究・開発、販路拡大に取り組む事業者への支援
３　地産商品のブランド化・販路拡大
４　円滑な事業承継の推進
５　テレワークや在宅ワークといった働き方の推進
６　インバウンドに対応するキャッシュレス化や多言語対応
７　その他（　　）
８　特にない

問１２　「中心市街地の活性化」についてうかがいます。

市では、多くの人が快適で楽しく過ごせるよう、駅前の空間・店舗の魅力向上や新たな賑わい機能の創出などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　商店街の魅力向上
２　子ども連れで楽しめる施設等の整備
３　歩きやすく快適な歩行空間の整備
４　広場や休憩場所等の整備
５　自然・緑のある空間の創出
６　街並みの美化
７　その他（　　）
８　特にない

問１３　「農業振興」についてうかがいます。

市では、意欲のある人が農業に積極的に携わり、多くの人が農業に親しめるよう、農業経営の支援や農業とふれあえる機会の提供などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　意欲のある農業者への農地の利用集積
２　農業経営の改善や規模拡大への支援
３　農業の担い手や後継者の育成・確保
４　地元農産物のブランド化・販路拡大
５　地産地消の推進
６　市民が農業とふれあえる機会の提供
７　地元農産物の収穫体験などのイベントの開催
８　その他（　　）
９　特にない

問１４　「観光振興」についてうかがいます。

市では、市内各地に多くの人が訪れるまちをつくるため、まちの魅力の創造と向上、その魅力を活かした観光の推進などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　市内の観光資源・施設に関する情報発信
２　国際会議、国際大会、キャンプ地などの誘致
３　市内で行われる映画・ドラマ撮影の誘致
４　観光ボランティアガイド等の育成・確保
５　市内観光に関する案内板や看板の設置
６　町田ならではの観光資源の発掘・活用
７　地域行事や祭事を活かした観光イベントの開催
８　その他（　　）
９　特にない

問１５　「文化芸術振興」についてうかがいます。

市では、誰もが文化芸術に親しむことができるよう、魅力ある文化芸術とふれあえる環境づくりや、多様な文化芸術活動の振興などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　多様な文化芸術にふれる機会・場の提供
２　子どもの感性や創造性を育む機会・場の提供
３　新たな文化芸術の創造・発展の支援
４　市固有の伝統芸能や文化財の保存・活用
５　自主的な文化芸術活動に取り組む市民等への支援
６　アーティストや文化芸術団体等への支援
７　文化芸術に関する情報提供
８　その他（　　）
９　特にない

問１６　「スポーツ振興」についてうかがいます。

市では、誰もがスポーツに親しむことができるよう、市民のスポーツ活動の振興や、トップレベルのスポーツを楽しめる環境づくりなどに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　身近な地区での日常的なスポーツ活動の場
２　既存のスポーツ施設・設備の改修や整備
３　スポーツ活動に取り組む各種団体への支援
４　各種スポーツ教室・イベントの開催
５　スポーツ指導者の育成・確保
６　スポーツに関する情報提供
７　町田を拠点とするスポーツチームとの交流
８　障がい者スポーツの普及啓発
９　その他（　　）
10　特にない

問１７　「道路整備」についてうかがいます。

市では、幹線道路等のネットワークの有効性を検証し、整備効果の高い路線から整備を進めるとともに、歩道の設置や改良、通行の妨げとなる行為の防止などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　他都市へ連絡する広域幹線道路の整備
２　市内各所を結ぶ幹線道路の整備
３　日常生活で利用する身近な生活道路の整備
４　舗装や照明など既存道路施設の適正管理
５　道路のバリアフリー化
６　道路上の無電柱化
７　カーブミラーや路面標示などの交通安全設備の整備
８　橋りょうの長寿命化や耐震化
９　その他（　　）
10　特にない

問１８　「公共交通の整備・自転車対策」についてうかがいます。

市では、子どもから高齢者まで誰もが利用できる移動手段の確保や、環境負荷低減のため、鉄道交通網や路線バスの機能強化などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　多摩都市モノレールの多摩センター駅から町田方面への延伸
２　ホームドアの設置など駅の安全対策
３　快適で安全な駅前歩行空間の確保
４　バス路線の充実や再編
５　鉄道や路線バスが運行されていない交通空白地区の解消
６　自転車走行空間の整備
７　駅周辺部における自転車駐車場の整備
８　放置自転車対策
９　その他（　　）
10　特にない

問１９　「住環境の整備」についてうかがいます。

市では、住宅の改修支援や住宅に関する情報提供、各地域の交通拠点の徒歩圏内で日常生活が送れるまちづくり、計画的な土地利用などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は３つまで）

１　空き家・空き地の適正管理
２　老朽化した住宅団地の建て替え・改修
３　地域の交通拠点周辺の利便性向上
４　周辺の住環境と調和のとれた土地利用や開発の誘導
５　住宅の耐震化への支援
６　環境にやさしい住まいづくりへの支援
７　集合住宅の維持管理・長寿命化への支援
８　住民が主体となったまちづくりのルールの導入支援
９　良好な住環境の維持・形成に向けた学習機会や情報の提供
10　その他（　　）
11　特にない

問２０　「公園・緑地等の整備」についてうかがいます。

市では、公園や緑地等の整備などにより、まちなかの緑を増やすとともに、市内に残された貴重な緑地や農地の保全などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は３つまで）

１　日常生活で利用する身近な公園・緑地の整備
２　大規模な公園・緑地の整備
３　良好な自然環境の保全・再生
４　緑道・街路樹などの整備による緑の連続性の確保
５　気軽に水辺と親しめる環境づくり
６　公共施設の緑化の推進
７　民有地の緑化の推進
８　市民との協働による緑化活動
９　緑の保全・創出の重要性に対する市民への啓発活動
10　その他（　　）
11　特にない

問２１　「環境の保全」についてうかがいます。

市では、二酸化炭素排出量やエネルギー使用量の削減、大気や水質などの人の生活を取り巻く環境の改善などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　行政主導による温室効果ガス排出の抑制
２　市民・事業者が取り組める地球温暖化対策に関する啓発活動
３　太陽光発電など自然エネルギーの普及促進
４　大気や水質などの環境監視体制
５　事業者に対する監視・指導体制
６　騒音や悪臭などの身近な公害の苦情処理体制
７　環境について学べる場や機会
８　環境保全団体への支援
９　その他（　　）
10　特にない

問２２　「ごみ処理」についてうかがいます。

市では、循環型社会の構築に向け、ごみの発生抑制や資源化などに取り組んでいます。

（１）あなたの「①現在の満足度」と「②今後の重要度」は、次のどれにあたりますか。

① 現在の満足度（○は１つだけ）

１ 満足　２ まあ満足　３ やや不満　４ 不満　５ わからない

② 今後の重要度（○は１つだけ）

１ 重要　２ まあ重要　３ あまり重要でない　４ 重要でない　５ わからない

（２）今後、特に力を入れてほしい取組みは、次のどれにあたりますか。（○は２つまで）

１　ごみの減量や資源化に関する市民への啓発活動

２　ごみの減量や資源化に取り組む市民活動団体への支援

３　分別方法や排出方法の見直し

４　事業者に対する減量啓発と適正排出指導の強化

５　家庭ごみの不適正排出に対する指導・啓発の強化

６　その他（　　）

７　特にない

２ 「現在のまちのイメージと今後あるべきまちのイメージ」について、うかがいます。

問２３　あなたが考える「現在の町田市のイメージ（Ａ欄）」と「今後の望ましい町田市のイメージ（Ｂ欄）」について、優先順位の高い順に第１位から第３位まで選び、下の欄にその番号を記入してください。

１　子育て施設・サービスが充実しているまち
２　小・中学校における教育が充実しているまち
３　医療施設が充実しているまち
４　高齢者や障がい者（児）にやさしいまち
５　地域活動や市民活動の活発なまち
６　防災・防犯体制が整ったまち
７　商業施設が充実した買い物が便利なまち
８　ものづくり産業が盛んなまち
９　農業が盛んなまち
10　図書館・生涯学習センター（公民館）などの学習文化施設や活動が充実しているまち
11　スポーツ関連施設や活動が充実しているまち
12　道路や下水道などの都市基盤が充実しているまち
13　緑豊かな住環境に恵まれたまち
14　鉄道・バスなどの公共交通が充実しているまち
15　リサイクルや省エネルギー対策などが進んだ環境にやさしいまち

Ａ欄 【現在の町田市のイメージ】			Ｂ欄 【今後の望ましい町田市のイメージ】		
第１位	第２位	第３位	第１位	第２位	第３位

３ 「あなたご自身のこと」について、うかがいます。

問２４　あなたの性別は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は１つだけ）

１　男性　　２　女性　　３　選択せず

問２５　現在、あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は１つだけ）

１　10 歳代　　２　20 歳代　　３　30 歳代　　４　40 歳代　　５　50 歳代
６　60 歳代　　７　70 歳以上

問２６　あなたの職業は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号に○をつけてください。なお、兼業の方は、あてはまる主な職業を１つだけ選んでください。（○は１つだけ）

１　勤め人（会社員、公務員など）　　２　非常勤（パート、アルバイトなど）
３　自営業　　４　家事専業
５　学生　　６　無職、その他

問２７　あなたご自身を含め、現在、同居されているご家族の構成は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号に○をつけてください。なお、「５ その他」を選んだ方は、カッコ内に該当する家族構成を記入してください。（○は１つだけ）

１　単身世帯　　２　夫婦のみ世帯　　３　親子２世代　　４　親・子・孫の３世代
５　その他（　　）

問２８　現在、あなたまたは同居する家族の中に、次の方はいますか。次の中からあてはまるもののすべてに○をつけてください。

１　妊娠中の方　　２　就学前（０～６歳）の児童　　３　小学生
４　中学生　　５　65 歳以上の方　　６　介護を必要とする方
７　該当する方はいない

問２９　あなたが現在お住まいの地域について、郵便番号を枠内に記入してください。

□□□－□□□□

問３０　あなたが、町田市にお住まいになって通算で何年になりますか。次の中からあてはまる　番号に○をつけてください。（○は１つだけ）

１　１年未満　　２　１年以上～５年未満　　３　５年以上～10 年未満
４　10 年以上～20 年未満　　５　20 年以上

４ 「結婚、お子さまの数」について、うかがいます。

問３１－１　現在あなたは、結婚していますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。（○は１つだけ）

１　結婚している（※事実婚を含む）
２　結婚したことはあるが、離（死）別した
３　結婚していない

問３１－２　今後、結婚したいと思いますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。（○は１つだけ）
※上記の問３１－１で、選択肢１を選んだ方は回答不要です。

１　すぐにでも結婚したい　　２　いずれは結婚したい　　３　結婚したくない

問３２－１　現在、あなたには、何人のお子さんがいますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。（○は１つだけ）
※お子さんが同一世帯でない方もお答えください。

１　１人　　２　２人　　３　３人　　４　４人以上　　５　子どもはいない

問３２－２　あなたが、できれば持ちたい“理想”の子どもの数は何人ですか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。（○は１つだけ）
※現在の子どもの有無にかかわらず、すべての方がお答えください。

１　１人　　２　２人　　３　３人　　４　４人以上　　５　多ければ多いほど
６　ほしくない

問３２－３　あなたに現在いる子どもの数は、理想と比べいかがですか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。（○は１つだけ）
※上記の問３２－２）で、選択肢６を選んだ方は回答不要です。

１　理想より多い　　２　理想どおり　　３　理想より少ない

最後に、今後のまちづくりに関する提案やアイデアなど、町田市のまちづくり全般に関してご意見などがありましたら、自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート調査票は、返信用封筒（切手不要）に入れ、
２０１９年７月８日（月）までに郵便ポストに投函してください。